

2020 コーポレート シティズンシップ・レポート

目次

CEO のメッセージ

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

サステナビリティと環境への影響

大気汚染物質
温室効果ガス 排出量
エネルギー使用量
水と廃水の管理
原料と化学物質の管理
製品の品質と信頼性

責任ある事業慣行

目標、価値基準、および行動規範
ガバナンス
サプライ・チェーンの責任
紛争鉱物
TI における労働と人権
リスク管理と事業継続性
情報保護
政策提言

職場環境

ダイバーシティ&インクルージョン
採用とグローバル・ローテーション
雇用の定着
能力開発
報酬
ワークライフ・バランスとリソース
安全と健康

寄付とボランティア活動

寄付
ボランティア活動



リッチ・テンブルトン、
会長、社長兼最高経営責任者 (CEO)

CEO のメッセージ

TI の創設者たちには、優れた企業を築き上げるには、長期的な成長に貢献する特別な文化が必要であるという知識や先見性がありました。長年にわたって、TI は 3 つの大きな目標を念頭に置いて事業を運営し、従業員とコミュニティへの投資を続けてきました。1. 私たちは、今後数十年にわたって会社を所有するオーナーと同様の立場で行動します2. 私たちは、絶えず変化を続ける世界に適応し、成功を収めます3. 私たちは、社員であることを誇りに思える会社、地域の隣人として望ましい会社であることを目指します私たちがこれらの目標の達成に成功すれば、TI の従業員、顧客、コミュニティ、ステークホルダーはいずれも有益な結果を得ることができます。

TI は、良好なコーポレート・シティズンシップを維持するために重要な、環境、社会、ガバナンス (ESG) そしてサステナビリティへの取り組みを誇りにしています。その取り組みは、2 つの方法でコミュニティと世界全体に影響を及ぼすことになります。

- 私たちの目標は TI が業務を遂行する方法の指針を示すと同時に、持続可能性があり、社会的に思慮深く、環境に責任を持てる方法で事業を確実に進めるための土台にもなります。これらの目標の核心にあるのは、すべてのステークホルダーに有益な結果をもたらすために、より強固な組織になるように、長期的に成長を続ける必要がある、という信念です。
- より良い世界を築き上げ、環境に及ぼす影響を低減するのに役立つ手段として、半導体は現在も今後も重要な役割を継続的に果たします。半導体は、電気モーターのスマート化を推進してエネルギー消費量を低減し、よりクリーンな環境に貢献する自動車の電動化を推進するとともに、水とガスや気体の漏洩をセンシングして天然資源を節減および温存することができます。TI は長年にわたり、半導体によって、エレクトロニクス製品をだれもが手に届く手ごろなものにし、より良い世界を作り上げる、という熱意をもって事業を継続してきました。TI は、半導体を通じて世の中をよくするために貢献する、というパッションを持っています。

2020 年は、COVID-19 の影響を受けた年でした。TI はすでに説明した会社の目標を指針として、従業員の安全と健康を重視し、お客様のニーズに対応するとともに、このパンデミックに対処する方法を通じてコミュニティに貢献することができました。TI の目標は、どのような環境においても私たちの方針決定の際の指針になりますが、多くの企業が不確定性を実感した昨年は、その効果が特に顕著でした。

コーポレート・シティズンシップや、環境、社会、ガバナンス (ESG) の優先順位に関する TI の進歩と継続的改善の特長を示した 2020 年の重要事項をここでいくつか紹介します。TI の特長：

- COVID-19 のパンデミック発生中に、TI 従業員に対する個人的支援と業務支援の両方を実現しました。その際に、拠点ごとの固有のニーズに対応できるように、個人的な事情に対処する必要が生じた従業員に対する 4 週間の追加有給休暇などの福利厚生との付与、検査で陽性になった従業員に対する休業補償の延長、従業員の精神的健康を維持するためのリソース追加等の対策を講じました。
- TI Foundation、TI 従業員や退職者との協力を含め、コミュニティのニーズに対応できるように 5,000 万ドル近い金額を寄付しました。その中には、教育分野への 1,600 万ドル以上の寄付や、COVID-19 の救助活動向けの 1,000 万ドル以上の寄付がありました。
- 2015 年から 2020 年にかけて、TI の温室効果ガス 排出量を 22.4% 減らしました。これは15% という当初の削減目標を上回る成果でした。また、今後 5 年にわたる温室効果ガス排出量削減の新しい目標を設定しました。
- 前年に比べて、水の使用量を 4.4% 低減しました。これは、節水に関する私たちの目標である 2.6% を上回る数値でした。
- 会社の廃棄物と余剰原材料のうち 90% 近くを再利用またはリサイクルしました。
- ヒューマン・ライツ・キャンペーン の Corporate Equality Index (会社別機会均等インデックス) で 100% の評価を 5 年連続で獲得しました。
- National Association of Female Executives (全米女性企業家協会) から、16 年連続で、女性のプロモーションのための取り組みが評価されました。

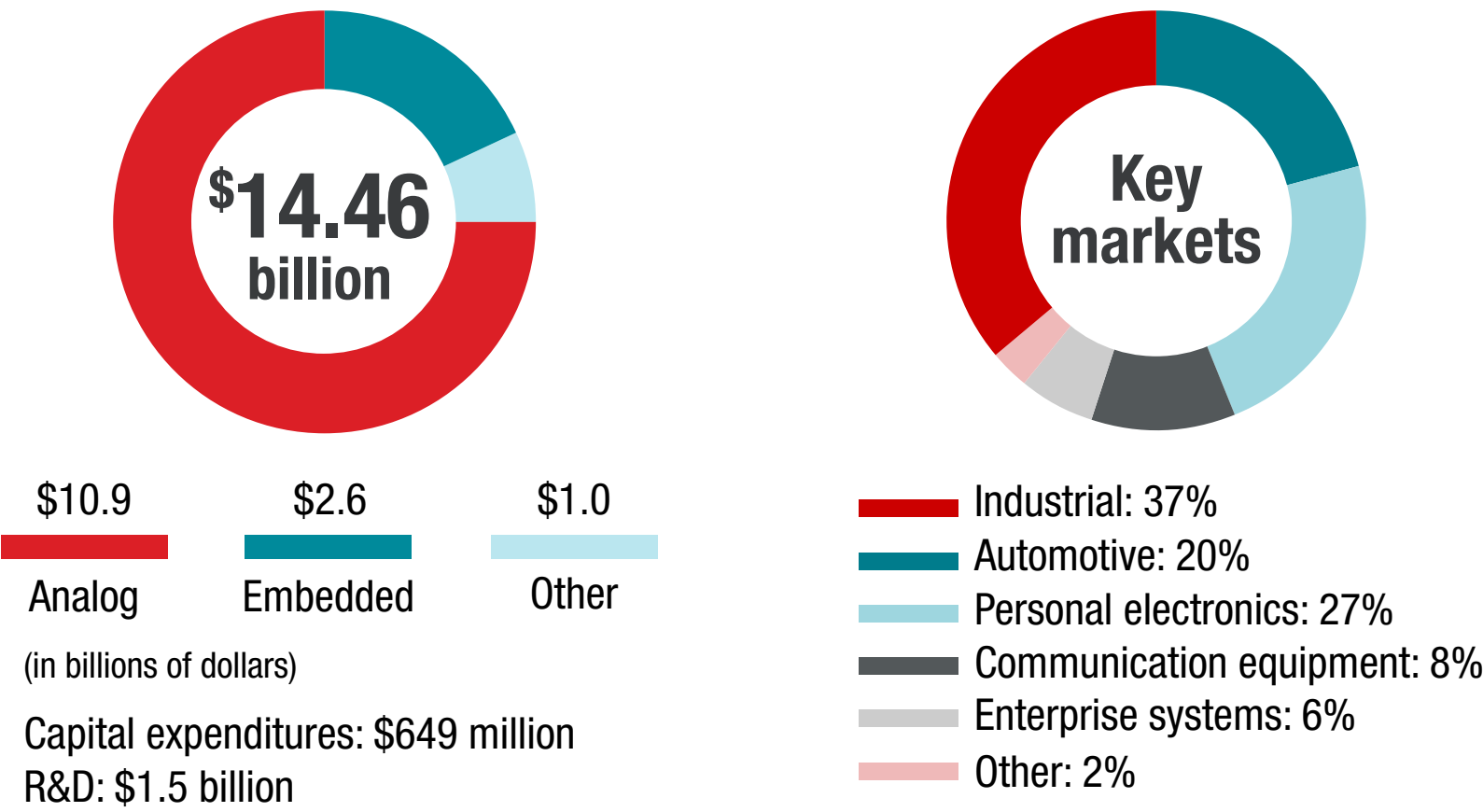
TI の 2020 コーポレート・シティズンシップ・レポートで公開している進捗状況は、企業市民であるという TI の揺るぎないコミットメントを強調しています。私たちの目標は、私たちの意思決定の指針であり、TI の製品はより良い世界を作り出すの一助となっています。私たちの企業努力は周囲に波及し、長期的に持続するものと確信しています。

リッチ・テンブルトン

会長、社長兼最高経営責任者 (CEO)

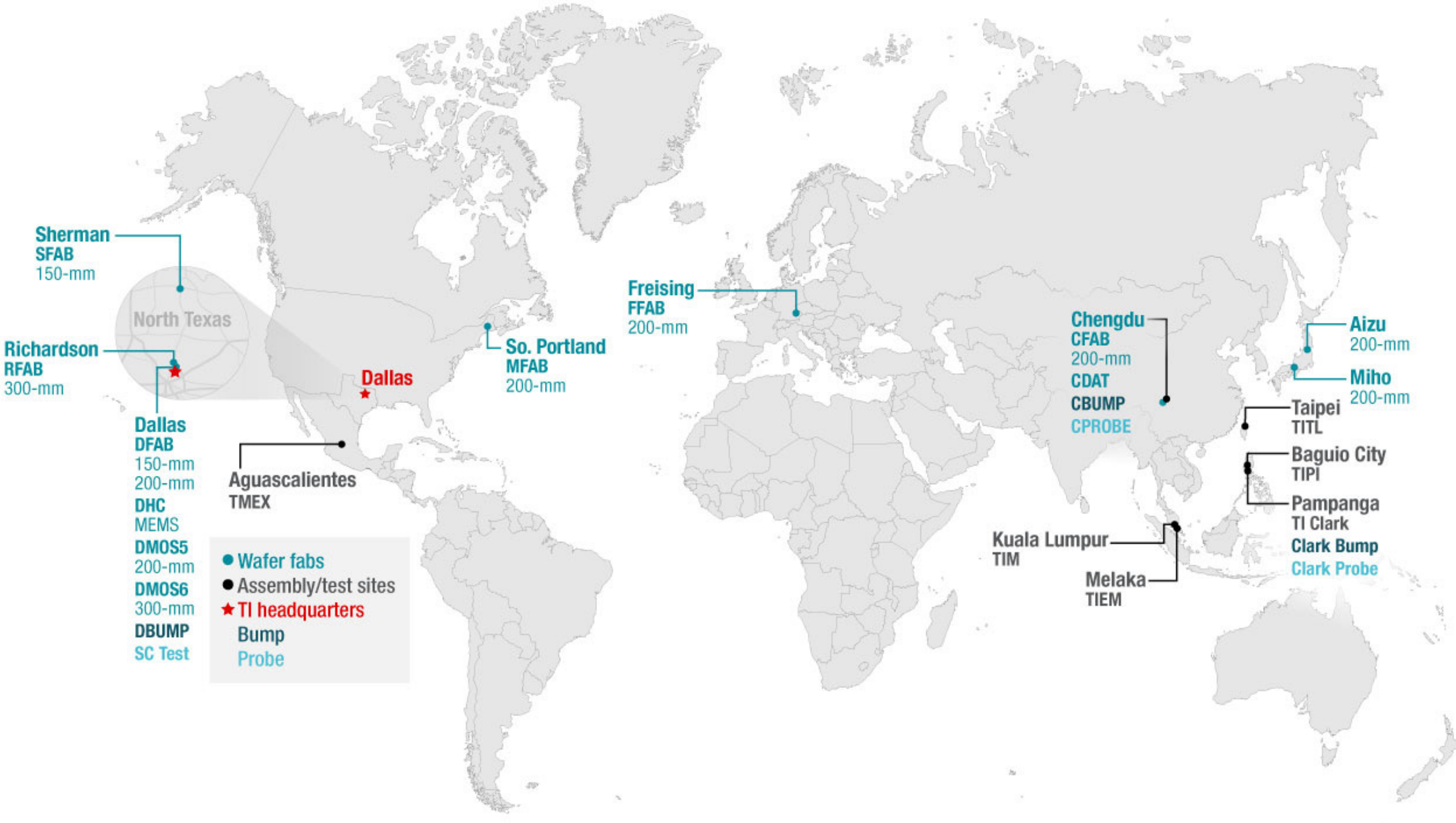
TI の概要

- 1930 年に創設。
- 本社は米国テキサス州ダラス
- 株式公開済み (Nasdaq:TXN)
- Richard K. Templeton は会長、社長兼最高経営責任者 (CEO) です。
- 約 30,000 人の従業員の内訳：
 - 12,000 人は南北アメリカ。
 - 16,000 人はアジア太平洋。
 - 2,000 人は欧州。
- 世界各地に合計 14 の製造拠点を置き、毎年数百億個のチップを製造。
- 100,000 社を上回るお客様向けに約 80,000 種類の製品を製造。
- TI 製品の主な市場は産業用と車載用であり、TI の 2020 年の売上の 57% を占めています。



世界の主要拠点¹

TI 本社 テキサス州ダラス	製造拠点 テキサス州ダラス メキシコ、アグアスカリエンテス 日本、福島県会津若松市 フィリピン、バギオ 中国、成都 (チェンドウ) ドイツ、フライジング マレーシア、クアラルンプール マレーシア、ムラカ (マラッカ) 日本、茨城県美浦村 台湾、新北市 (新北市、シンペイ) フィリピン、パンパンガ (クラーク) テキサス州リチャードソン	テキサス州シャーマン メイン州サウスポートランド
設計拠点 テキサス州ダラス インド、バンガロール カリフォルニア州サンタクララ 中国、上海 中国、深圳 (シンセン) テキサス州シュガーランド 台湾、台北 (タイペイ) 日本、東京 アリゾナ州ツーソン		



¹ TI が定義する主要運営拠点 とは、面積が 50,000 平方フィート (4,621 平方 m) 以上、または 2020 年 12 月 31 日時点で従業員数が 100 人を超える製造施設、設計拠点、および販売拠点のことです。

TI のコミットメントと

報告の概要TI (テキサス・インスツルメンツ) は、良好なコーポレート・シティズンシップを維持するための長期的な取り組みを誇りにしています。その中には、環境、社会、ガバナンスの優先順位と、サステナビリティの優先順位があります。

これまでと同様、TI の 2020 年コーポレート・シティズンシップ・レポートは、TI の事業に関連する ESG のさまざまな分野で TI がどのように考え、どのように行動しているか、を明らかにしています。私たちの目標は TI が業務を遂行する方法の指針を示すと同時に、社会的に思慮深く、環境に責任を持てる方法で事業を確実に進めるための土台にもなります。それらを以下のように規定しています。

- 私たちは、長年会社を所有するオーナーと同じ立場で行動します。
- 私たちは、絶えず変化を続ける世界に適応していきます。
- 私たちは、社員であることを誇りに思える会社、地域の企業として望ましい会社であることを目指します。

私たちがこれらの目標を達成することで、TI の従業員、お客様、コミュニティ、ステークホルダーからの信頼を得ることができます。

TI は長年にわたって、Global Reporting Initiative (GRI、グローバル報告構想)² および [CDP](#)³ が策定したレポート・フレームワークを使用して、ESG に関する戦略、プログラム、実績を開示してきました。2020 年に、TI は Task Force on Climate-Related Financial Disclosures (TCFD、気候関連財務情報開示作業部会)⁴ および Sustainability Accounting Standards Board (SASB、サステナビリティ会計基準委員会)⁵ の各レポート・フレームワークも採用しました。

TI は年間を通じて、定期的に社内外のステークホルダーに情報の提供を求めています。また、第三者によるサステナビリティの評価とベンチマークの開示事項のトレンド、そしてベスト・プラクティスを検討しています。そして、それらの入力を会社の優先順位と比較し、TI の年次コーポレート・シティズンシップ・レポートにどのトピックと開示事項を掲載するかを決定します。



² GRI (Global Reporting Initiative: グローバル報告構想) は国際的な独立機関であり、企業が自ら及ぼした影響に関する責任を負うことができるように、自らの影響を他者に伝達する際に使用できる、グローバルな共通言語や言い回しを企業に伝えます。

³ CDP (Carbon Disclosure Project: 炭素開示プロジェクト) は非営利団体であり、投資家、企業、市町村、州や都道府県、および地域向けにグローバル開示システムを運用し、それぞれが環境に及ぼす影響を管理できるようにしています。

⁴ Financial Stability Board (財務安定性委員会)は、機構に関連する、より効果的な開示の勧告を策定するための TCFD (Task Force on Climate-Related Financial Disclosures: 気候関連財務情報開示作業部会) を設立しました。TCFD はいっそう多くの情報に基づいて、投資、与信、保険の査定に関する決定を推進することができます。

⁵ SASB は独立系の非営利団体であり、企業が自社の投資家宛に持続可能性 (サステナビリティ) 情報を開示するための指針となる一連の規格を制定しています。

持続可能性 (サステナビリティ) と環境への影響

サステナビリティと環境への影響

TI は約 80,000 種類の製品を、毎年およそ 400 億個製造し、世界各地の 10 万社以上のお客様と取引をしています。TI は長年にわたって、持続性のあるスチュワードシッププログラムを策定するために投資を続けています。このプログラムは資源の節約、消費量の削減、私たちの事業が環境に与える影響を軽減することに役立ちます。

私たちの環境、安全、健康の実績を継続的に向上させるために、TI は製造プロセスの水使用効率やエネルギー効率に関する複数の目標を設定しており、全事業にまたがって原材料の再利用とリサイクルを実施しています。TI は毎年、個人用防護機器から、排出物削減や水処理技術までの制御手段に投資し、TI 従業員、コミュニティ、および環境を有害物質から保護しています。

TI の environment, safety and health (ESH) 管理システムは、ISO 14001 (環境管理システム基準) が設定した認証要件と、ISO 45001 (職場の健康と安全に対する管理システム基準) が設定した認証要件を満たしています。TI の管理システムを構成しているのは、プログラム、ポリシー、統制、プロセス、測定ツールであり、これらは業界のベスト・プラクティスと各種国際規格に基づいています。

TI は 2020 年に持続可能な業務慣行に関して以下の任命を受けました。

- バロンズ紙の「100 Most Sustainable Companies」(最も持続可能性の高い企業 100 社)
- Dow Jones Sustainability Index, North America. (ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス、北米)
- フォーチュン誌の Fortune's World's Most Admired Companies. (世界で最も賞賛される企業)
- ニューズウィーク誌の America's Most Responsible Companies. (米国で最も責任感のある企業)
- ウォール・ストリート・ジャーナルの Top 100 Sustainably Managed Companies. (持続可能性な方法で運営されている上位企業 100 社)



業界のベスト・プラクティスの実践、継続的な改善の推進、法規制上の要件への適合を実現できるように、TI は社内の ESH 担当部門に包括的なトレーニングやツールを提供しています。これらの活動の指針として、TI はあらゆる製造拠点やアセンブリ / テスト拠点にいる全従業員や請負業者⁶ に対して、TI の [ESH Policy and Principles](#) (環境、安全、健康に関するポリシーと原則) に従うことを求めています。TI のサプライヤ (下請け業者) 各社は、TI の [Supplier Code of Conduct](#) (サプライヤ行動規範) につき従う必要があります。この規定は [Responsible Business Alliance's \(RBA\) Code of Conduct](#) (責任ある事業同盟 (RBA) の行動規範) を土台として使用し、TI のサプライヤに特に適用できる各種環境基準も掲載しています。また、[TI's Living our values – TI's ambitions, values and code of conduct](#) (TI の価値基準に基づく行動 – TI の目標、価値基準、および行動規範) は、人々の健康と環境を保護するための指針を掲載しています。

ESH に関する TI のガバナンス、トレーニング、ポリシー、苦情メカニズムの詳細については、GRI Index の ESH Management Approach セクションをご覧ください。

⁶ 請負業者は、業務指示を TI のマネージャから受けています。

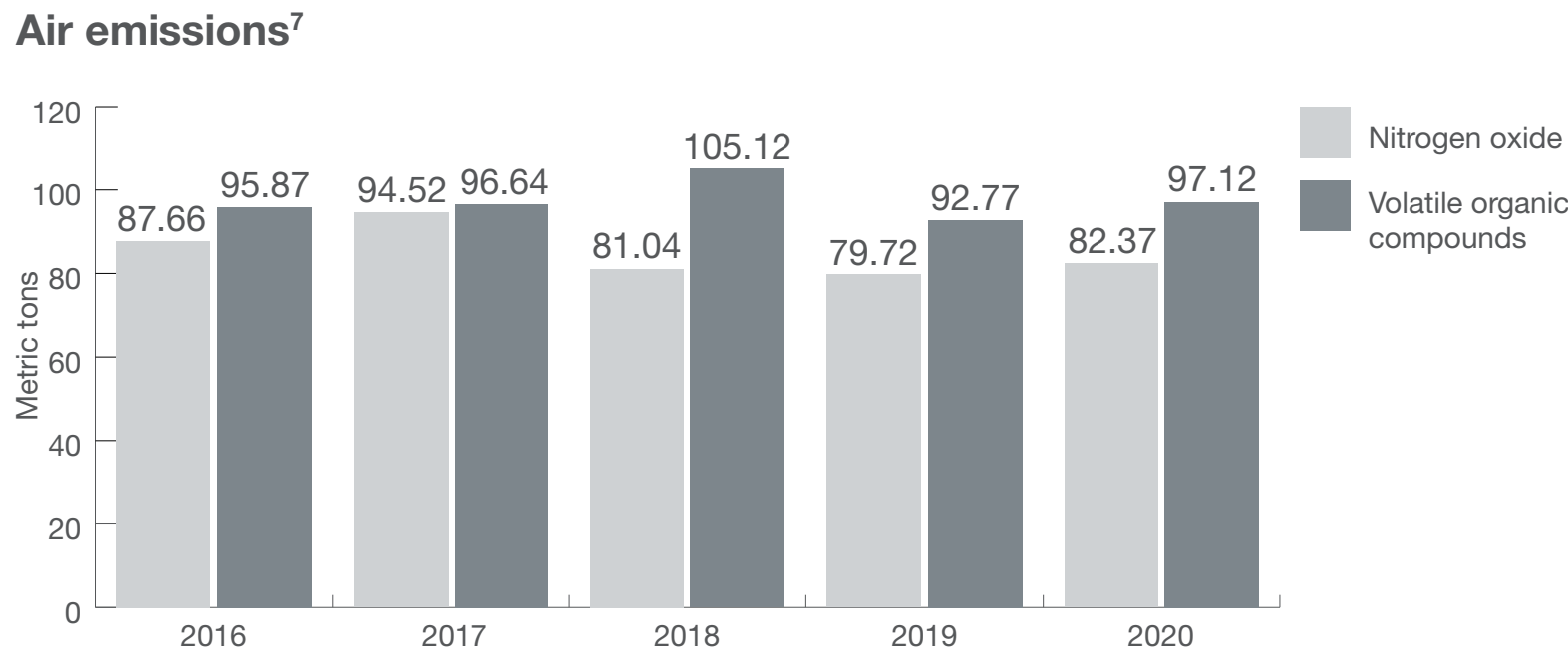
環境への配慮

	戦略	目標	プロGRESS
温室効果ガス排出量	排出物を削減するための TI の行動： - 代替可能な燃料や化学物質を使用します。 - 排出物を削減する機器を設置します。 - 再生可能エネルギーを購入します。 - 製品の配送と流通を最適化します。 - 不必要な出張を減らし、特定の拠点で従業員の通勤費用を補助します。	2020 年の目標:2015 年をベースラインとし、適用範囲 としているScope 1と2 の 温室効果ガスの絶対排出量 (総量) を 2020 年末までに 15% 低減します。 2025 年の目標:2015 年をベースライン (基準) とし、適用範囲 としているScope 1と2 の 温室効果ガスの絶対排出量 (総量) を 2025 年末までに 25% 低減します。	2020 年末までに、TI は温室効果ガス排出量を 22.4% 削減し、当初の目標を上回ることができました。 2005 年を基準とすると、TI はチップあたりの温室効果ガスを 69% 削減しました。
エネルギー	エネルギー消費量を削減するための TI の行動： - 効率を重視する目的で、ビルと製造拠点の設計と運用を実施します。 - ツールや設備などの入れ替えや更新を行います。 - 信頼性が高く、再生可能なエネルギー供給源を確保します。 - センサや自動化制御装置を使用します。 - 日常的にエネルギー節約プロジェクトを実施します。	2020 年の目標:2010 年をベースラインとし、TI は米国エネルギー省の「Better Buildings, Better Plants」(優れた建物、優れた工場) プログラムを通じて、米国の製造拠点でチップあたりのエネルギー原単位を 2020 年末までに 25% 削減するという目標を設定し、その後、50%削減 に上方修正しました。 2025 年の目標:2015 年をベースラインとし、世界全体でエネルギー原単位を 2025 年末までに 50% 削減します。	2010 年をベースラインとし、世界全体でチップあたりのエネルギー原単位レベルを 2020 年末までに 40.6% 削減しました。 2016 年から 2020 年にかけて、TI は 130 万 MMBtu (百万英熱量) のエネルギーを節約しました。これは、35,000 世帯以上の家庭に 1 年間電力を供給するのに等しい量です。
水	水の再利用、排水の再生利用、節水を実現するための TI の行動： - 熱処理機器に水循環装置を取り付け、都市水道の使用量を削減します。 - 冷却塔内の水のアルカリ度を制御し、カルシウムの蓄積とスケールの防止、費用の削減、ミネラル濃縮水を押し流すために使用する浄水の使用量の削減を実現します。 - 節水のための設備と浄水プラントへのプロジェクトを実施します。 - 冷却塔に放出する、凝縮、精密ろ過された水量を最大化します。 - 超純水システムの副産物として生成された)塩分やミネラルの含有量が多い水をトイレの洗浄用に再利用します。 - 公益プラントの冷却塔で水を再利用し、天然供給源から TI が取水する水の量を削減します。	2020 年の目標:世界全体で水の使用量を 2.6% 削減します。	2020 年末までに、TI は水の使用量を 4.4% 削減し、目標を上回りました。 直近 5 年間のうちに、TI は 14 億ガロン (5,299 キロリットル) を節水しました。これはオリンピックで使用する水泳プール 2,100 杯分を上回ります。 2005 年を基準とすると、TI はチップあたりの水の使用量を 58% 削減しました。
廃棄物と原材料の管理	TI は廃棄物と原材料の管理に関して 3 ステップのアプローチを適用しています。必要なものを検討し、可能なものを再利用し、許可されているものをリサイクルします。	2021 年の目標:埋め立て処分するはずだった原材料のうち 90% をリユースしました。	2020 年末までに、埋め立て処分するはずだった原材料のうち 89.9% を、再利用とリサイクルを通じてリユースしました。 2005 年を基準とすると、TI はチップあたりの水使用量を 65% 削減しました。
大気汚染物質	TI は大気品質を維持し、排出物を許容可能な限度以下および法規制の限度以下に維持するために、さまざまな制御手段を講じています。	TI は拠点固有の化学物質削減目標を自発的に設定し、気体排出物を許容可能な限度以下に維持しています。	2020 年に、TI は世界各地の気体排出物の限度への準拠を維持しました。

大気汚染物質

TI の製造プロセスは特定の大気汚染物質を生成します。大気中に放出する前にそれらの大気汚染物質を削減または処理するために、熱酸化装置、触媒、洗浄装置を使用しています。

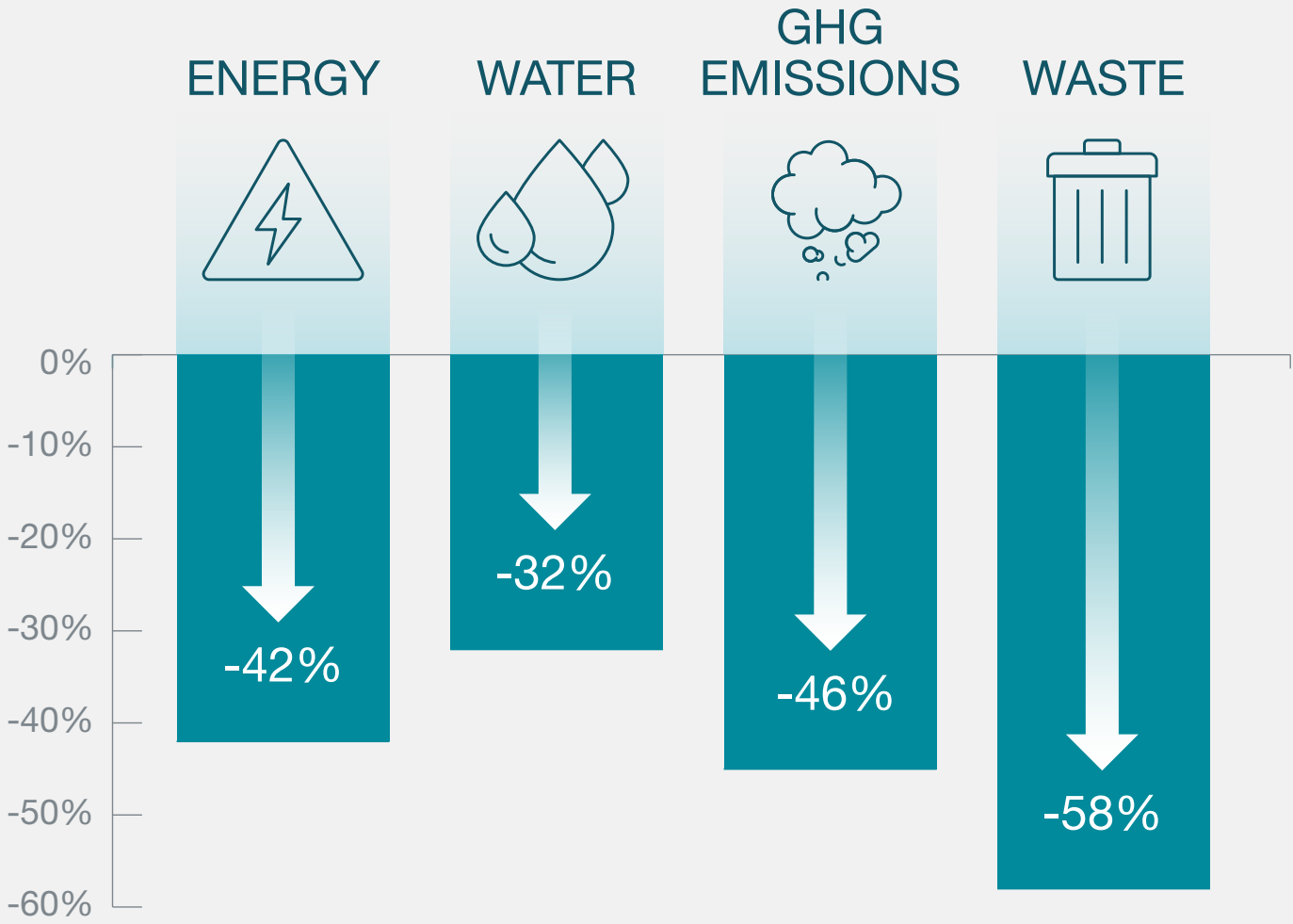
TI の大気汚染物質制御システムは、許容可能な限度および法規制の限度に従い、TI の大気汚染物質が発生する地域で大気品質を維持するのに役立ちます。TI は連邦と州それぞれの法規制と許容可能な限度、そして報告要件を遵守しています。TI の気体排出物管理方法の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の ESH Management Approach (環境、安全、健康の管理に関するアプローチ) セクションと Emissions Management Approach (排出物管理アプローチ) セクションをご覧ください。



温室効果ガス (GHG) 排出量

環境に及ぼす影響を少なくし、効率を改善するために、TI は温室効果ガス 排出量とエネルギーの節約に関する目標を自発的に設定しています。

2010-2020: Per-chip* efficiency improvements



TI has been working for years to drive efficiencies in its fabrication processes and equipment to reduce material consumption; water, chemical and energy use; and associated air and greenhouse gas (GHG) emissions. When comparing our per-chip data from 2010 to 2020, TI has reduced its manufacturing-related impacts and resource consumption.

Making chips more efficiently

Why is this important?

Being a manufacturer of billions of chips a year, it is critical that we do so efficiently and with a commitment to continued improvement. One way we measure our success is on a per-chip basis in four key areas of sustainability: energy, water, greenhouse gas emissions and waste.

In addition, TI is expanding our 300mm advanced analog manufacturing facilities to strengthen our

manufacturing and technology competitive advantage of lower cost and greater control of our supply chain. An important additional benefit of 300mm manufacturing is lower emissions and energy consumption versus older generation factories. Since 2011, when our Richardson 300mm wafer fabrication site came online, we've recognized efficiencies that will continue to positively impact our environmental footprint.

⁷ TI は、自社の大気汚染物質の計算に亜酸化窒素 (N₂O) を含めていません。TI は N₂O を温室効果ガス 排出データに含めているからです。

* 正規化データ、言い換えるとチップあたりの効率データは、毎年のチップ製造数を基準として、エネルギー、水、温室効果ガス、原材料使用量のベースラインを策定し、変化を追跡するための方法です。

温室効果ガスの種類と削減のための戦略

TI は長年にわたって、自社の事業、配送、流通、および自社のサプライ・チェーン全体で温室効果ガス排出量を削減するために行動してきました。TI は Scope 1 と Scope 2 の排出物の測定と報告を行い、Scope 3 の排出物に関する測定結果の評価を実施しています。

適用範囲 1

TI が自らの製造拠点、アセンブリとテスト拠点、大規模な設計拠点と営業拠点で直接排出した温室効果ガス排出物。TI はこれらの排出物を、以下の方法で低減しています。

- 効率的な製造技術の導入。
- 代替のガスを使用し、必須ではないフッ化ガスを排除。
- 半導体の製造に使用するガスの排気に対処する、使用時点熱排出物低減装置の導入。

適用範囲 2

TI が自らの製造または他の事業を目的として購入した電力や熱によって排出された間接的な温室効果ガス。TI は Scope 2 の排出物を、以下の方法で削減しています。

- TI の製造システム、ビル、設備の効率を向上。TI は 2020 年に合計 40 万ドル以上の LED 照明を設置しました。また、自社の Maine (メイン) 製造拠点で排熱を回収して、プロセスの発熱負荷を削減しました。ほかに、HVAC (エアコン) システムに電子整流式モーターを設置しました。
- 世界各地での再生可能エネルギーの探索と確保。

適用範囲 3

TI のサプライ・チェーン、従業員の出張や通勤、および製品の流通ネットワークで生成された、Scope 3 の間接的な温室効果ガス排出物。以下の方法で、これらの環境負荷を削減しています。

- サプライヤに対し、製造と運用の効率を最適化することを奨励。
- 物品を大量一括で、また地域ごとの流通センターから配送する方法で、配送回数を減らし、輸送に関連する排出量を削減。
- 業務上の出張を制限し、テレビ会議機能を採用。2020 年の他の企業と同様、在宅勤務による安全要件に伴い、TI は従業員の出張や通勤に伴う排出量を大幅に削減しました。
- 電気自動車 (EV) 充電ステーションを設置するほか、シャトル便を導入し、自転車向けのインフラを整備。
- 一部の拠点での公共交通機関の利用や自動車の相乗りに対する補助金を支給。

温室効果ガス排出量の削減目標

2015 ～ 2020 年: TI は、Scope 1 と Scope 2 の 温室効果ガスの総排出量 を 2020 年末までに 15% 削減するという、5 年間にわたる目標を 2015 年に設定しました。2020 年末までに、TI は温室効果ガス排出量を 22.4% 削減し、目標を上回りました。

2015–2025: TI は、Scope 1 と Scope 2 の温室効果ガスの総排出量を、2015 年に比べて 2025 年に 25% 低減するという新しい目標に向けて行動しています。

2015 ～ 2025 年の目標は、2015 年の値をベースライン (基準) として使用し、すべての製造拠点に加え、面積が 50,000 平方フィート (4,621 平方メートル) 以上である製造以外の拠点すべてを含めています。

温室効果ガス排出量の削減目標達成に向けて半導体業界各社と連携

排出物に関する指針を広め、科学に基づくターゲットに一致する方法で排出物の目標を策定するために、TI は業界の同業他社で構成された 1 つの作業部会に参加しています。

排出量ターゲットに関する半導体業界の基準との一致排出物に関する指針を広め、科学に基づくターゲットに一致する方法で排出物の目標を策定するために、TI は業界内で構成された作業部会に参加しています。

- 科学に基づくターゲットを採択するための、プロセスと詳細の理解
- 半導体業界向けの、セクター・ベース固有のアプローチの策定
- 進捗状況を前進させるための、マイルストーンの設定
- ベースラインを使用する方法と、過去および進行中の削減戦略に関する考え方を決定します。

このグループが新しい指針を策定して導入した時点で、TI は自社の現在の目標や将来の目標を再評価することを計画しています。

TI の温室効果ガス排出物低減戦略の詳細については、[TI's CDP Climate Change response](#) (TI の CDP を通じた気候変動への対応) をご覧ください。

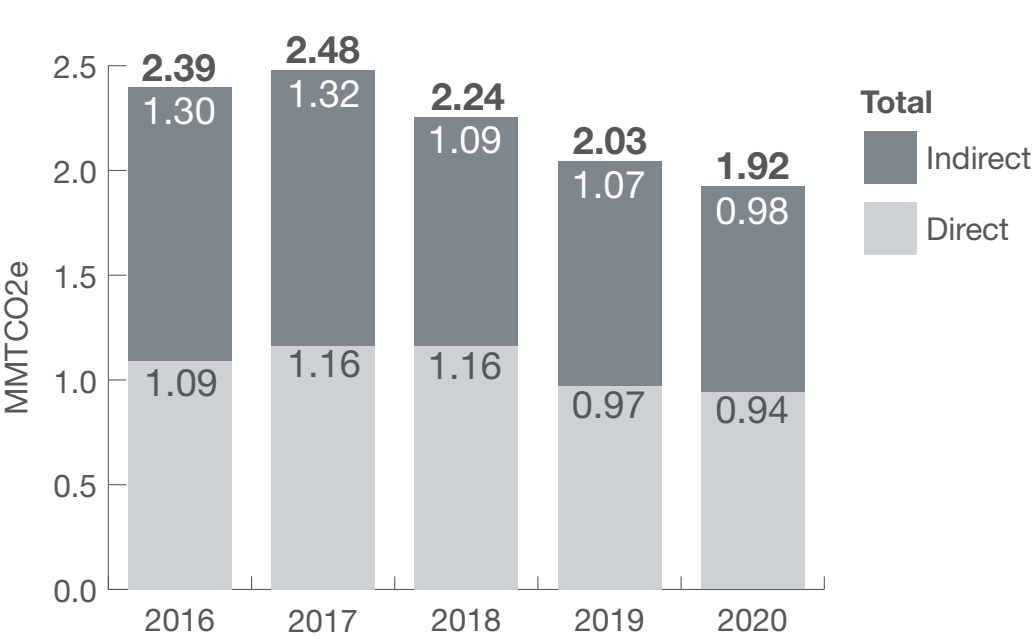
潜在的なリスクの監視

TI は、環境問題に関連する潜在的なリスクや好機に直面しています。環境に関連する TI のリスクと好機、ガバナンス、管理の戦略、排出物の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の [TI’s CDP Climate Change response](#) (TI の CDP を通じた気候変動への対応)、ESH Management Approach (環境、安全、健康の管理に関するアプローチ)、Emissions Management Approach (排出物管理アプローチ) の各セクション、および TI の TCFD Index (気候関連財務情報開示作業部会インデックス) をご覧ください。

温室効果ガス排出量削減の測定

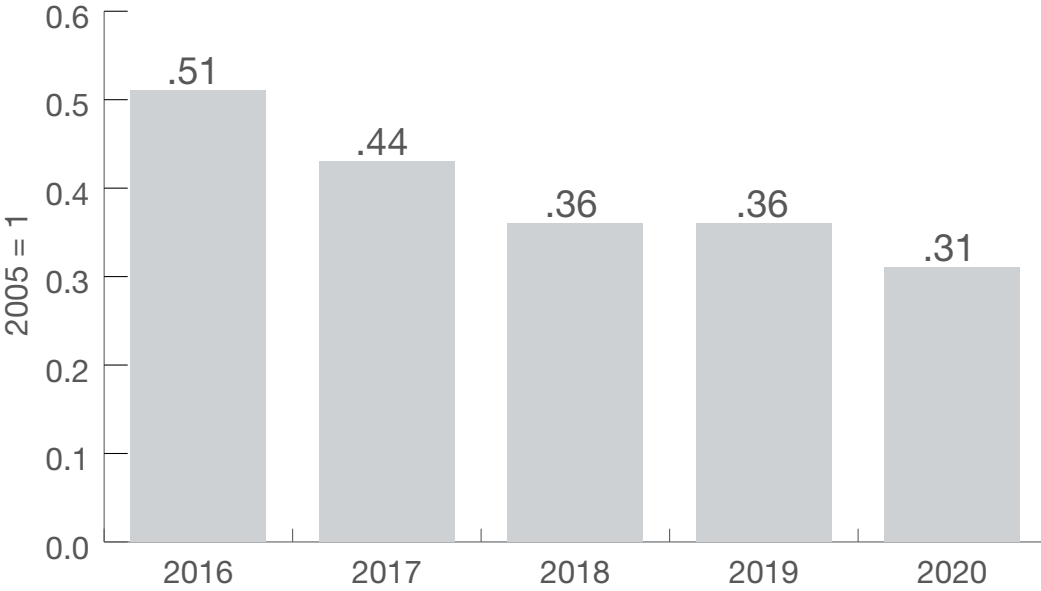
ウェハのサイズの拡大 (この結果、1 枚のウェハからより多くのチップを製造可能)、半導体製造機器の効率、化学物質の削減を通じて、TI は 2005 年以来、製造量が増加しているにもかかわらず、チップあたりの GHG (温室効果ガス) の正規化⁸ 排出量を 69.3% 削減できています。チップあたりの温室効果ガスの正規化排出量が変化した原因は、チップ製造の変動や、製造機器のアップグレードに伴う改良、およびエネルギー効率の改良にあります。2019 年に比べて、TI の正規化 温室効果ガス排出量は 2020 年に 15.4% 低下しました。

Total GHG emissions



TI の製造数は 2016 年から 2020 年の間に 34% 増加しました。

GHG emission per chip (normalized to 2005 = 1 baseline)¹⁰



⁸ データの正規化とは、ベースラインを策定して年ごとの計量の変化を追跡する手法のことを指します。

⁹ 2018 年のメタンおよび亜酸化窒素の増加は、排出係数の更新と、TI の複数のグローバル拠点からこのデータを収集したことに起因しています。

¹⁰ TI は、自社の製造プロセスの全体的な温室効果ガス効率を評価するために、GHG 排出原単位を測定しています。温室効果ガス排出量は、排出した 温室効果ガスの総量を指しており、この値は製造量によって異なります。GHG 排出原単位とは、単位出力あたりの GHG 排出量に注目し TI の GHG 排出量総量を合計生産数で割る)、使用量を正規化しようとする試みです。同じ定義を、チップあたりの水の原単位や廃棄物原単位にも適用します。

2021 年に TI は Apex Companies, LLC (Apex) と協力して、2020 年の温室効果ガス 排出量に関する独立性の高い検証を実施しています。その結果、TI の内部データ計算方法に対して、いくつかの調整を加えました。2020 年に識別された変更との一貫性を確保できるように、2015 年から 2019 年にかけての排出量データも改訂されました。このレポートに掲載しているデータは、Apex によって検証された、TI の Scope 1 と Scope 2 の市場ベースの排出量を反映しています。詳細については、TI の Verification Opinion Declaration from Apex (Apex からの検証意見の宣言) をご覧ください。

適用範囲 1 (Scope 1) の種類別 GHG (温室効果ガス) 排出量

(トン単位の二酸化炭素 (CO ₂) 換算量)	2016	2017	2018	2019	2020
二酸化炭素 (CO ₂)	77,541	76,574	79,622	78,731	75,190
メタン (CH ₄)	43	44	46	46	44
二酸化窒素 (N ₂ O)	20,742	20,872	24,438	23,440	28,452
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	36,369	42,059	39,982	36,552	37,532
ペルフルオロカーボン (PFC)	806,196	850,379	830,018	669,757	622,526
六フッ化硫黄 (SF ₆)	55,177	64,537	71,240	62,084	64,061
三フッ化窒素 (NF ₃)	92,100	108,869	113,839	94,853	110,701

Scope 2 種類別温室効果ガス排出量

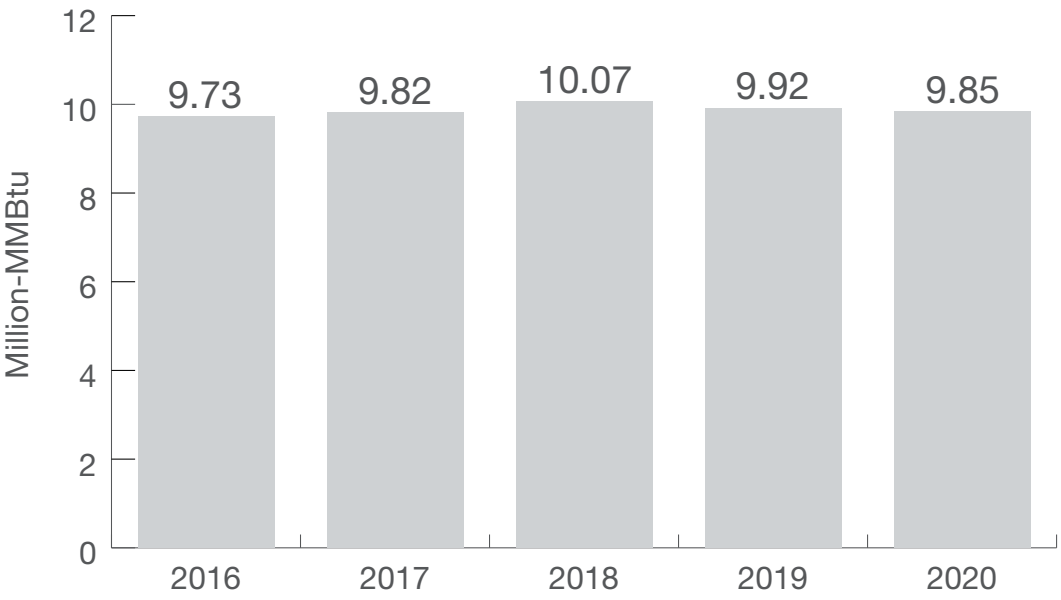
(トン単位の二酸化炭素 (CO ₂) 換算量)	2016	2017	2018	2019	2020
二酸化炭素 (CO ₂)	1,295,628	1,318,254	1,083,128	1,065,885	976,610
二酸化窒素 (N ₂ O)	2,487	2,595	1,679	1,673	1,386
メタン (CH ₄)	362	375	271	269	241

エネルギー使用量

運営、設計、製造、組み立て、テストにかかわる TI のグローバルの拠点は、毎年削減目標を設定し、効率プロジェクトを策定する方法で、エネルギー使用量とそれに関連する温室効果ガス排出量の削減に注目しています。TI が最も注目しているのは製造事業に関係するこの活動です。製造事業は、TI 全体のエネルギー消費の約 90% を占めているからです。TI が実施している省エネルギーの方法のいくつかを、以下に示します。

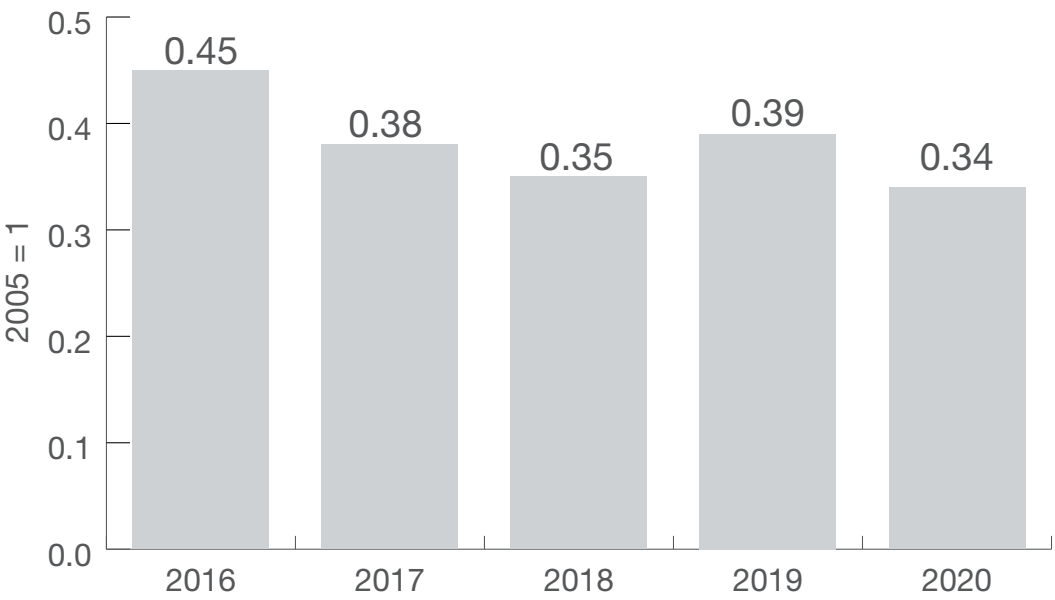
- 信頼性が高く、手ごろな再生可能エネルギー供給源の確保。
- ビルやウェハー製造工場の建造および改良による効率の最適化、より効率的な設備の使用。

Total energy (million-MMBtu) use

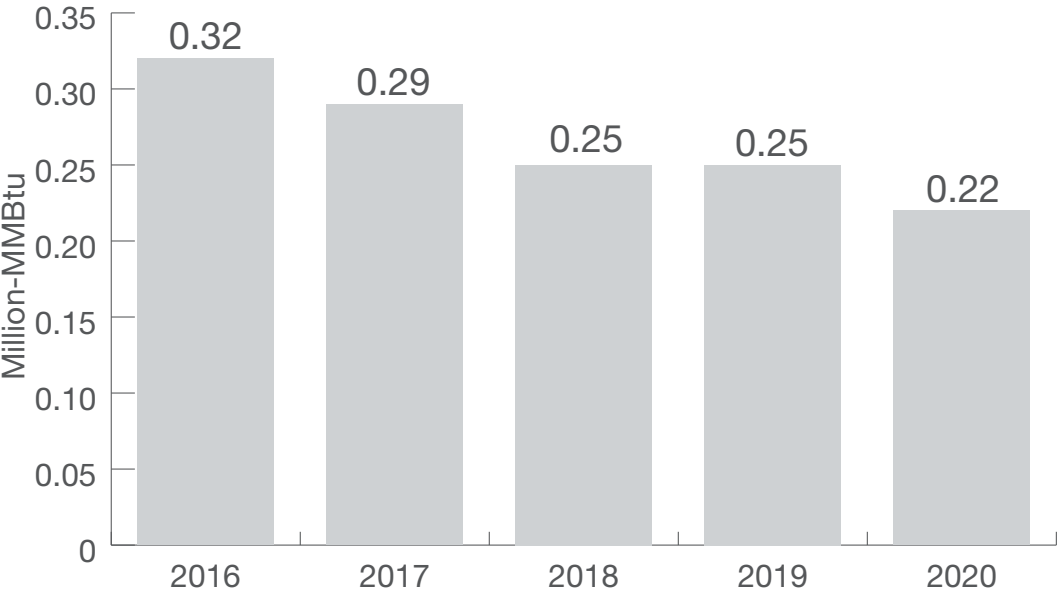


TI の製造数は 2016 年から 2020 年の間に 34% 増加しました。

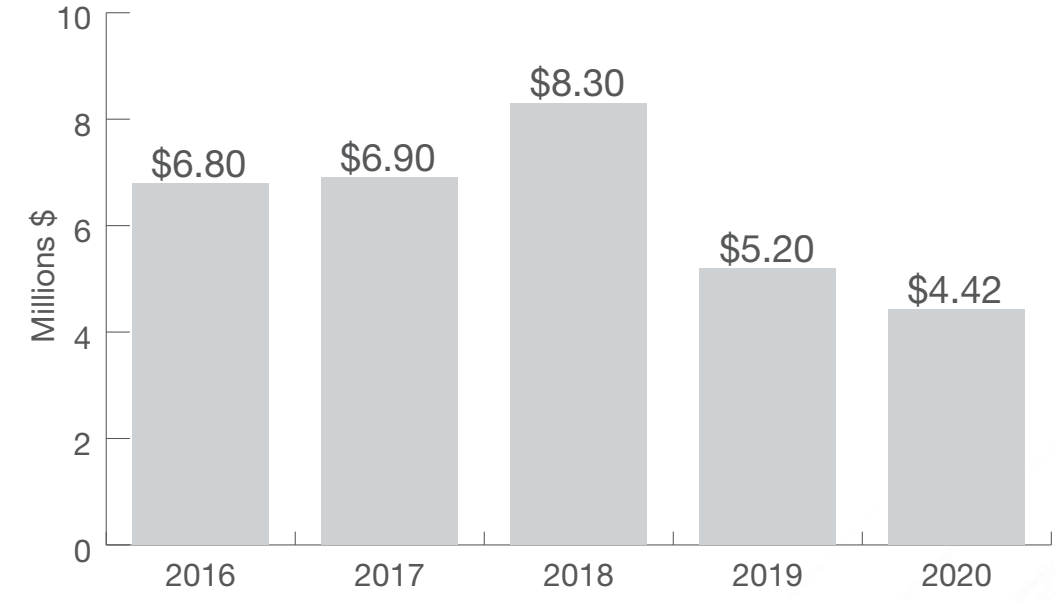
Energy use per chip (normalized to 2005 = 1 baseline)



Energy (million-MMBtu) savings



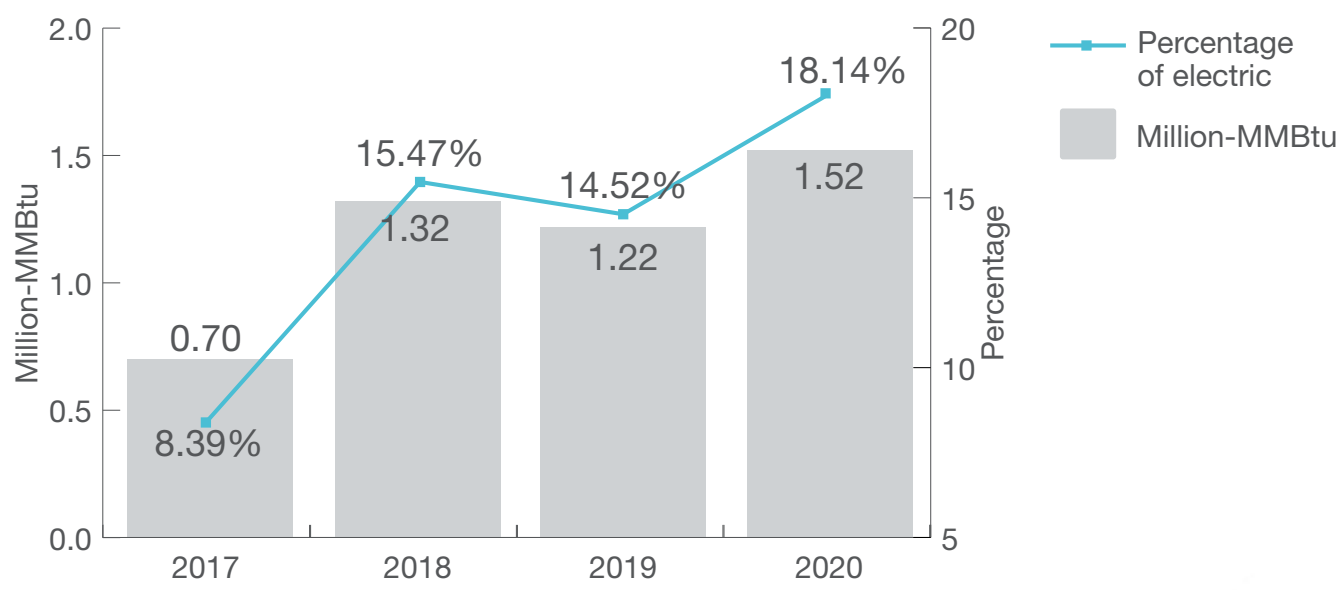
Energy cost savings



再生可能エネルギー

TI は、信頼性が高いエネルギー供給源を確保しています。その中には、入手可能でコスト効率が優れ、TI の業務上のニーズや目的に適合している場合の再生可能リソースが含まれています。たとえば、TI が最近確保した長期的な契約は、テキサス州に新しく建設されるプロジェクトから風力発電と太陽光発電の電力を合計 65MW 調達するもので、2023 年に事業開始の見込みです。

Renewable electricity as a percent of total electricity



エネルギー節約とコスト削減のための効率化

TI は毎年、温室効果ガス排出量の削減とエネルギー・コストの削減に役立つ 200 種類以上の効率化プロジェクトを実現しています。最近 5 年間で、TI は 130 万 MMBtu (百万英熱量) のエネルギーを節約してきました。これは、35,000 世帯以上の家庭に 1 年間電力を供給するのに等しい量です。

加えて、TI はこれと同じ期間のうちに 3,160 万ドルのエネルギー・コストを削減しました。

チップあたりのエネルギー使用量

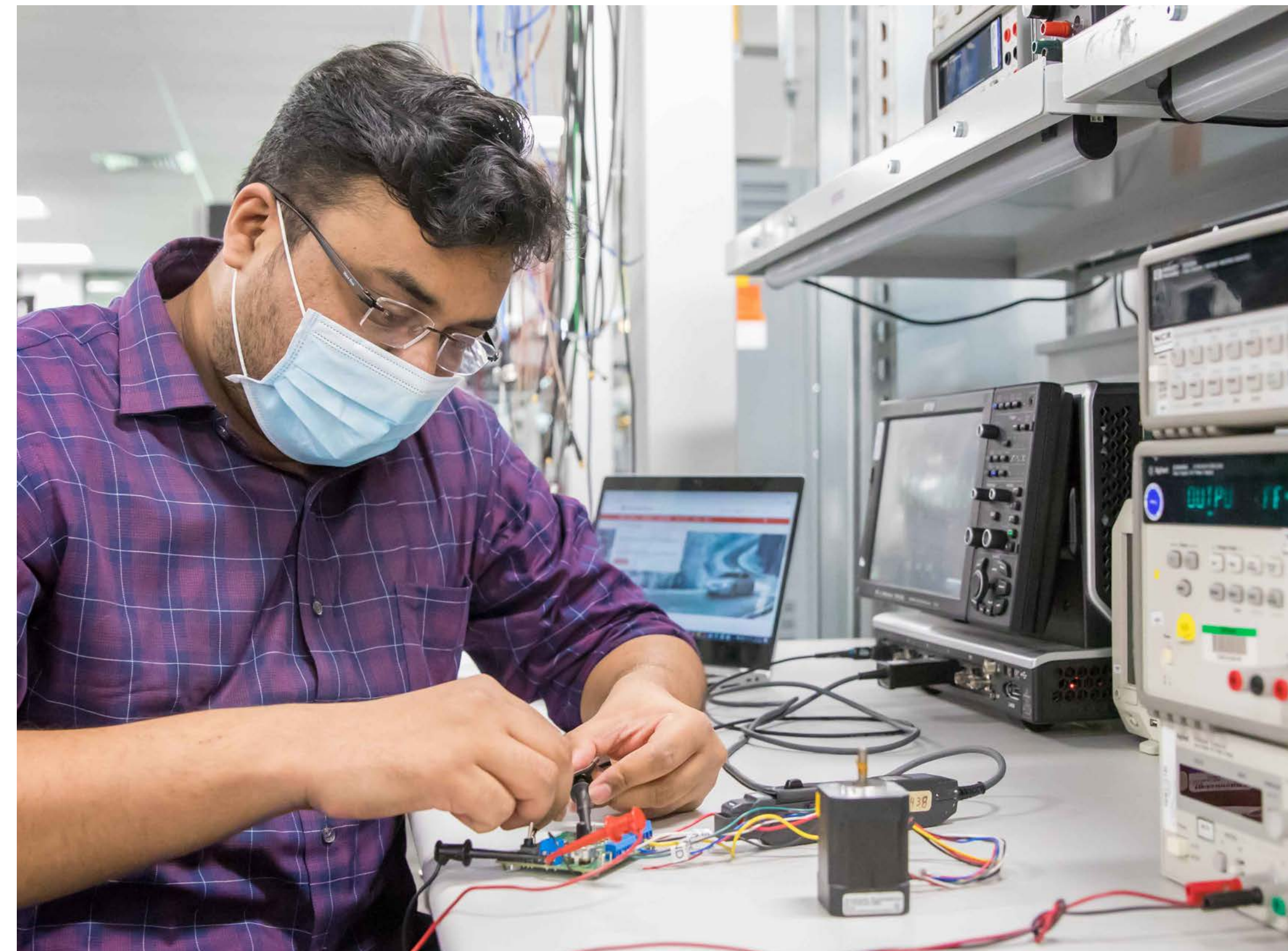
TI は 2010 年に米国の製造拠点のパターンを基準として、チップあたりの正規化済み 1 次¹¹ エネルギーを 2020 年までに 25% 削減するという目標を設定し、その後、50% に上方修正しました。この状況は、米国の各企業が 10 年間のうちにエネルギー原単位を自発的に削減することを求めた、米国エネルギー省 (DOE) の Better Buildings, Better Plants (建物や工場施設の改善) プログラムの目標に一致しています。2020 年未までに、TI はエネルギー原単位を 40.6% 削減しました。

TI は、自社の製造プロセスの全体的なエネルギー効率を評価するために、チップ生産数あたりのエネルギー使用量 (原単位) を測定しています。TI は、2015 年から 2025 年の間に世界各地の製造拠点で、チップあたりのエネルギー使用量を 50% 削減する、という新しい目標に向かって歩み続けています。

TI がエネルギー使用量を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の ESH Management Approach (環境、安全、健康の管理に関するアプローチ) セクションと Energy (エネルギー) セクションをご覧ください。

TI のマイコン活用で、消費者はエネルギー消費量をいっそう制御可能に

消費者が自らのエネルギー消費量と支出について意識するようになるにつれて、スマート・サーモスタットの使用が増加してきました。これらのサーモスタットは、リモート・アクセス、空気品質の監視、占有検出 (人が室内にいるかどうかの判定) を含め、従来のシステムに比べて多くの利点を実現しているので、最終的にエネルギー消費量を最大 40% 削減できます。



¹¹ 1 次エネルギーとは、石炭や他の有機原材料などの天然エネルギー源から取得されたうち、どの変換プロセスや変性プロセスの対象にもならなかったエネルギーの内包量です。TI は 米国エネルギー省 のこの目標をベースとし、80% の生産能力を想定したほか、自社の施設の設置と閉鎖に関連して計算を調整しました。

種類別のエネルギー使用量

(MMBtu)	2016	2017	2018	2019	2020
エネルギー使用量の合計	9,729,088	9,819,449	10,065,223	9,918,412	9,852,837
間接エネルギー使用量の合計	8,299,969	8,395,568	8,583,221	8,451,209	8,447,890
電力	8,245,749	8,340,181	8,531,280	8,403,250	8,399,402
地域暖房	54,220	55,387	51,941	47,959	48,488
直接エネルギー使用量の合計	1,429,119	1,423,881	1,482,002	1,467,202	1,404,947
天然ガス	1,245,657	1,243,928	1,298,548	1,285,129	1,240,015
燃料油 (米国の No. 6)	72,243	19,221	12,795	12,435	14,864
ディーゼル	46,842	40,000	44,655	33,158	25,169
プロパン	61,790	118,064	123,407	133,858	122,124
ガソリン	2,586	2,667	2,596	2,622	2,776

TI のワイヤレス BMS (バッテリー管理システム) は、電気自動車 (EV) の走行距離延長と信頼性向上に役立ちます。

EV はできるだけ多くのバッテリー・セルを搭載している状況が見受けられます。より多くのセルを搭載させると、充電容量が増加し、再充電までに走行できる走行距離が長くなるからです。代表的な EV は 100 個近いセルを搭載しています。これらをモニタに直列接続するために、一般的には大量かつ頑丈な銅線を使用します。これらすべての配線の重量は、EV の走行距離、信頼性、および価格に影響を及ぼします。

この課題に対処できる TI のワイヤレス・バッテリー管理システムを使用すると、より軽量、かつ 1 回の充電あたりの航続距離が長く、信頼性を高めるために最高クラスの各種機能安全規格に適合した EV を製作できます。その結果、消費者は信頼性の点で妥協せずに、より手ごろな価格設定で、より走行距離の長い EV を入手して運転することができます。



水と廃水の管理

水は半導体製造の重要な部分です。そのため、TI は責任ある方法で効率的に水を使用することを重視しています。再生水と飲料水を節減し、廃水の処理とリサイクルを実施すると、コスト削減、水質の保護、長期的に水が利用できる状況を維持することができます。

TI は法規制の限度および許容可能な限度に適合するように、自社の廃水処理システムの維持と最適化を行います。

水源

TI の給水源に該当するのは、地元の公益事業体から供給される地表水、および地下水です。TI の水使用量は、3 種類の水で構成されています。

- 製造以外 – トイレ、灌漑、噴水式水飲み器、カフェテリアで使用。
- 製造 – 化学処理または他の製造処理実施後のウェハー洗浄に使用。
- 製造の支援 – 排気低減システムと冷却システムで使用。

水の確保

TI はすべての拠点で、将来の水の入手状況を監視しています。特に、北米とアジアの拠点です。また、TI は国や地域、地元の機関やサプライヤ、および地元の公益事業体の管理部門や運用部門と連携し、新しいリスクや利用できる可能性のある緩和プラントについて話し合っています。たとえば、テキサス州にある TI の複数の拠点は、Texas Water Development Board に関与し、同組織の水使用調査活動に参加しています。こうした関与を通じて、TI は将来における同コミュニティの水供給の具体化を支援すること、将来の水の入手状況という課題に合わせて自社の事業を準備すること、または自社の水管理戦略を変更することができます。

水節減

水の節減と保護に関する TI の戦略に該当するのは、低減への投資、リサイクルと再利用を推進するプロジェクト、さらに、水質に影響を及ぼす可能性がある化学物質の制限、低減、監視です。TI の ESH (環境、健康、安全) 管理システムの要件として、水に関するリスク、水資源の確保、水質、地下水に及ぼす影響を毎年評価することを TI の各拠点に求めています。

水節減

2020 年に、TI は年間の水使用量を 4.4% 削減し、2.6% という自社の目標を上回りました。

グローバルに水を節減および温存するために TI が実施している具体的な行動には、以下が該当します。

- 熱処理機器に水循環装置を取り付けることによる、都市水道の使用量の低減。
- 冷却塔内の水のアルカリ度 (pH) を制御することによるカルシウムの蓄積とスケール (析出) の防止、費用の削減、ミネラル濃縮水を押し流すために使用する浄水の使用量の削減。
- 節水に役立つ、工具最適化プロジェクトと浄水プラント・プロジェクトの実施。
- 冷却塔に送り込む、凝縮と精密ろ過を実施した水の量の最大化。
- (TI の超純水システムの副産物として生成された) 塩分やミネラルの含有量が多い水をトイレの洗浄に再利用。
- TI の中心的な公益プラントの冷却塔で水を再利用。
- 製造に使用した水を浄化し、より高品質な水をリサイクルして、TI の超純水プラントの入力に戻す。

TI が生成した廃水の大半は、地元、州、または国や地域レベルの廃水放出要件に適合するように、拠点内で処理しています。TI は、溶剤、濃縮された金属、または酸性溶液を含有している廃水のあらゆるスラッジ (泥滓、ヘドロ) を収集し、法規制要件に従ってそれらをオフサイトで処分しています。一部の状況で、TI はそれらの化合物を廃物再生利用施設に転送し、他の業界で再利用できるようにしています。

TI の水と放出の管理戦略の詳細については、GRI Index の [TI's CDP Water Security response](#) (TI の CDP を通じた水の安全性への対応)、ESH Management Approach (環境、安全、健康の管理に関するアプローチ)、Water and Wastewater Management Approach (水と廃水の管理アプローチ) の各セクションをご覧ください。

廃水管理

TI の ESH 水管理基準は、TI のすべての拠点で水、廃水、雨水の水質と管理に関する最小限の要件を制定しています。TI のすべての廃水処理プラントは、法規制要件に適合しています。各種規制は、金属、有害な有機化合物、硝酸塩、硫化物のような物質を制限すること、または放水を行う前に廃水から除去することを求めています。

TI はまた、社内の規格、プログラム、手続きも制定済みであり、嵐が過ぎ去った時点でもすべての拠点が地元と国家または地域の放水要件を確実に満たせるようにしています。TI は必須である水のサンプル採取を定期的実施し、事業運営を確実に自社の許容限度内に収めています。マレーシア、フィリピン、日本の各拠点では、追加の予防措置も講じています。処理後の廃水の放出は、それらの国や地域では都市の処理施設に向かう代わりに、水域に直接向かうからです。

削減と節水

節水するために、TI は複数の削減プロジェクトを実施し、事業で水を再利用しています。たとえば、製造プロセスから取得した水を冷却塔、洗浄装置、灌漑の各システム内で再利用し、それらのシステムの動作に必要な都市水道の量を削減またはゼロにしています。

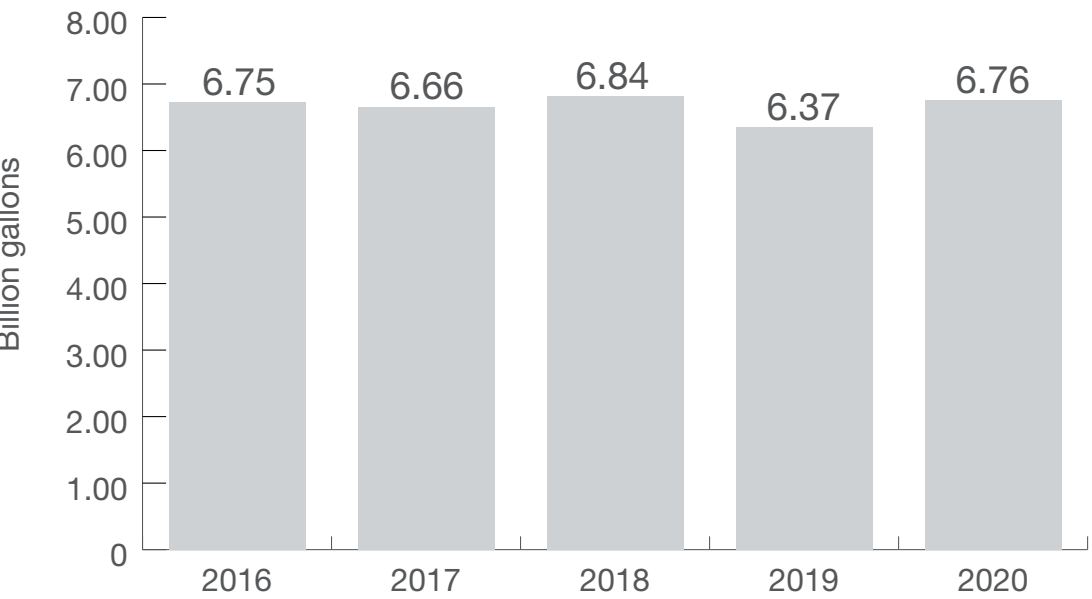
TI は 2020 年に複数の新しい削減プロジェクトを実施し、節水に関する自社の目標を上回ることができました。事業の成長に対応するために製造が 2019 年より増加した結果、全体の水使用量も 2019 年より 6.34% 増加しましたが、TI のチップあたりの正規化した水使用量は 0.42 でした。これは 2019 年のレートより 0.03 小さい数値であり、水の効率的な使用に関する TI の慣行を裏付ける材料になっています。また、TI は 2020 年に消費したすべての水のうち 27%、つまり 18.5 億ガロン (700.3 万立方メートル、700.3 万トン) の水を再利用しました。

節水し、コストを削減するための効率最適化

TI は毎年、水消費量を低減する複数の水効率プロジェクトを実施しています。2016 年以来、TI は 14 億ガロン (5,299 キロリットル) 近くを節水できました。これはオリンピックで使用する規模の水泳プール 2,100 杯分を上回ります。

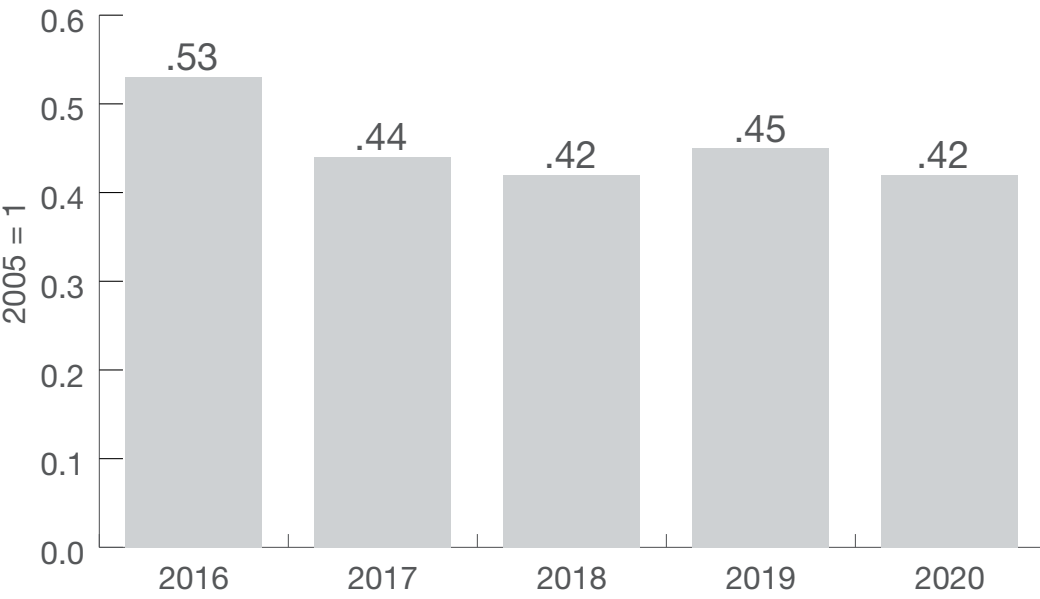
加えて、TI はこれと同じ期間のうちに公共事業から供給される水使用量のコストを 890 万ドル削減しました。

Total water (gallon) use

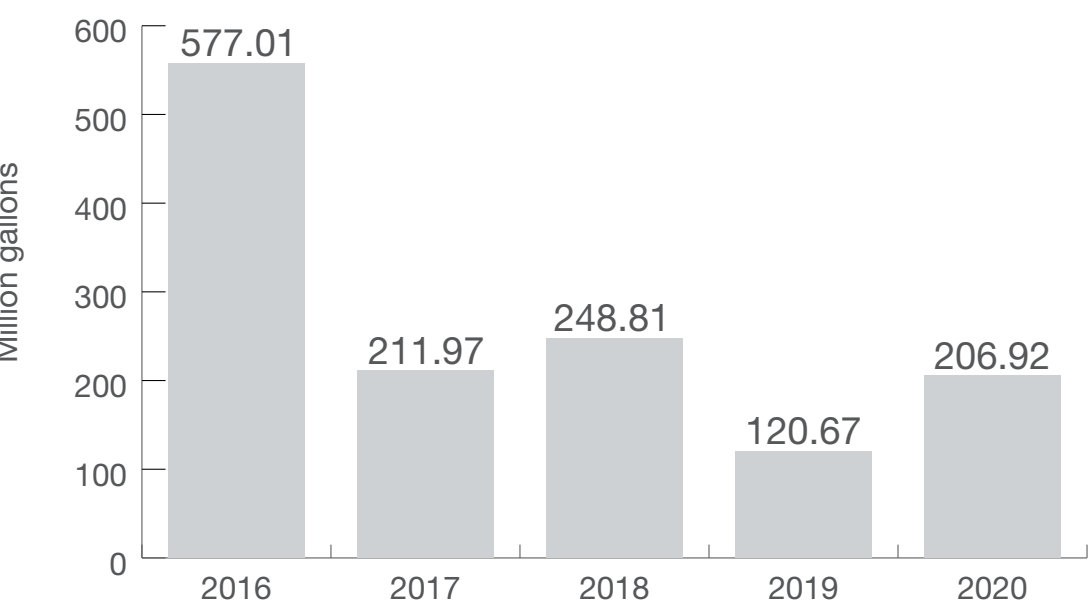


TI の製造数は 2016 年から 2020 年の間に 34% 増加しました。

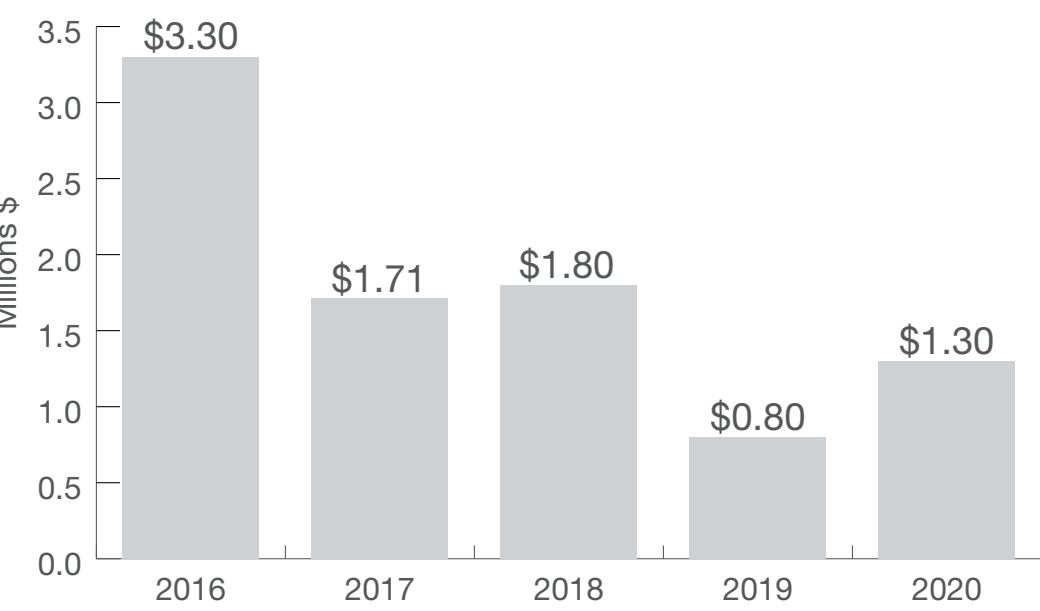
Water use per chip (normalized to 2005 = 1 baseline)



Water (gallon) savings



Water cost savings



種類別の水消費¹²

(10 億ガロン単位、つまり 3,785 キロリットル単位)	2016	2017	2018	2019	2020
合計	6.75	6.66	6.84	6.37	6.76
自治体	4.275	4.207	4.360	4.294	4.531
井戸	0.356	0.395	0.401	0.372	0.372
雨水 ¹³	0.022	0.023	0.035	–	–
再利用	2.092	2.032	2.042	1.690	1.856

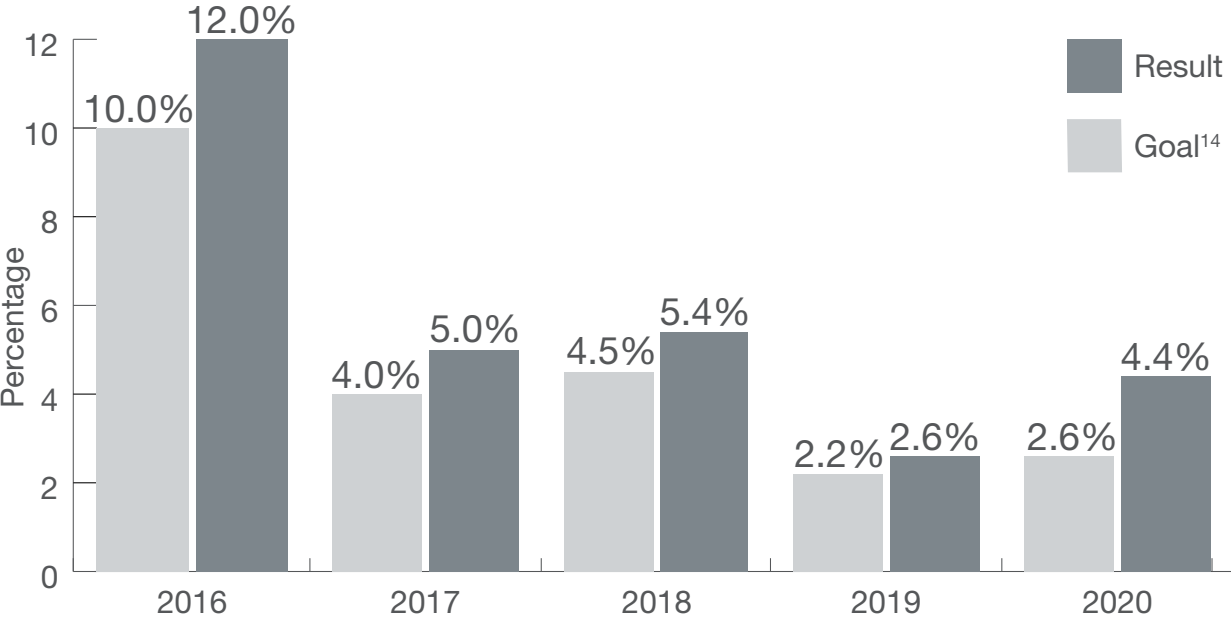
¹² 水使用量を計算するために、自治体の供給事業者からの請求データと TI の製造指標を使用しています。また、流出レートと体積を測定し、米国環境保護庁が制定した標準的な手法を使用して、産業用廃水と雨水のサンプルを分析しています。

¹³ 2019 年と 2020 年、雨水の収集量を報告しない方針を選択しました。これは、その合計が直接測定したものではなかったからです。以前に報告した数値は、地域の降水量データと取水実施面積に基づく推定値でした。

水使用量

	2018	2019	2020
貯水量の変化 (百万リットル、つまり 1,000 トン) ¹⁵	0	0	0
水の取水量 (合計、100 万リットル)	18,155	17,664	18,560
地表 ¹⁶	132	0	0
地下 ¹⁶	1,517	1,409	1,408
海	0	0	0
生成	0	0	0
サード・パーティー	16,506	16,255	17,152
真水 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下) ¹⁷	18,155	17,664	18,560
その他 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下) ¹⁷	0	0	0
水ストレスが発生している地域での水の取水量 (合計、100 万リットル)	3,352	2,674	2,692
地表 ¹⁶	0	0	0
地下 ¹⁶	40	44	35
海	0	0	0
生成	0	0	0
サード・パーティー	3,312	2,630	2,658
真水 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下) ¹⁷	3,352	2,674	2,692
その他 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下) ¹⁷	0	0	0
水の排出量 (合計、百万リットル)	15,410	14,711	15,735
地表 ¹⁶	1,235	1,098	1,124
地下 ¹⁶	0	0	0
海	0	0	0
サード・パーティー	14,175	13,613	14,611
真水 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下) ¹⁷	不明	不明	不明
その他 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下) ¹⁷	不明	不明	不明
水の排出量 (水ストレスが発生している地域、百万リットル)	2,860	2,278	2,310
真水 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下) ¹⁷	不明	不明	不明
その他 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下) ¹⁷	不明	不明	不明
水消費量 (合計、100 万リットル) ¹⁸	2,745	2,953	2,825
水消費量 (水ストレスが発生している地域) ¹⁸	491	396	382

Water use reduction



¹⁴ TI は 2016 ～ 2019 年の節水の目標を改訂し、2013 年をベースラインとする改善の代わりに、年ごとの改善を表記することにしました。

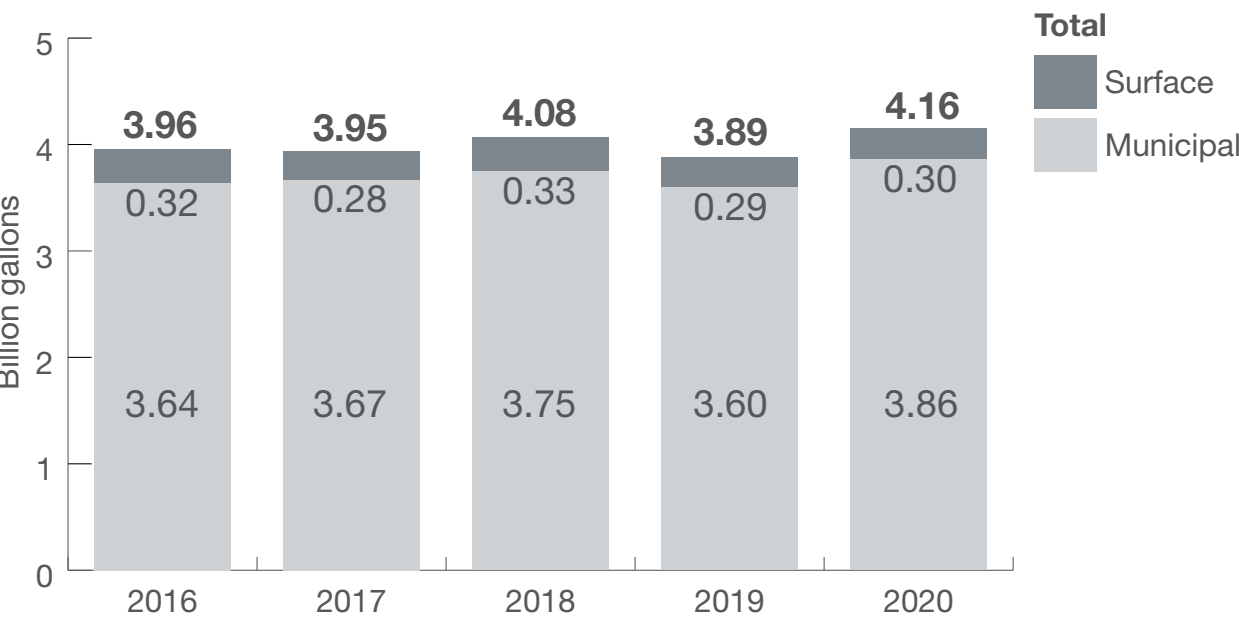
¹⁵ 複数の製造施設は (全体の使用量に比べると) 小規模な貯水を行っていますが、TI の年ごとの変化は顕著ではありません。

¹⁶ この中には、一度使用した後に再利用した冷却水は含まれていません。この水は、同じ帯水層に返されています。

¹⁷ TI はどの拠点でも、合計溶質重量の継続的な監視を実施していません。

¹⁸ TI は取水量から排水量を差し引く形で消費量を計算しています。

Wastewater discharges total and by type



原材料と化学物質の管理

TI は、原材料と化学物質の使用と廃棄を責任ある方法で管理することの重要性を確信しています。TI は、自社の事業を運営するために必要なものだけを購入するように、また、スクラップと廃棄物質をリサイクル、再利用、または販売するように、最大限努力しています。この慣行は、環境を保護し、埋め立てに回す原材料や物資の量を削減するのに役立ちます。

TI はまた、廃棄物を削減するために自らの役割を果たすことの重要性に従業員に教育しています。拠点によっては、ESH 担当者は、リサイクルの推進、食品ゴミのコンポストの推進、廃棄物管理に関するその他の慣行の奨励を率先することもあります。TI のプログラムとインフラは拠点によって異なりますが、廃棄物削減を目指す努力は共通です。

化学物質とガスや気体の管理

世界トップ・クラスの半導体の製造には、有害または有害ではない化学物質とガスの使用が関係します。この理由で、TI の製品管理システムは厳格な統制を実現しています。TI は継続的に以下を実施しています。

- TI 従業員、拠点のあるコミュニティ、および消費者を保護するために、最も安全で最もリスクの少ない原材料を特定し、使用します。可能な限り、TI は特定の洗浄用途で化学物質の代わりに高圧水を使用するか、化学物質を、環境との親和性が高い物質で置き換えます。
- 受け入れたすべての原材料や化学物質を、半導体製造プロセスに投入する前に受入検査を実施し、規制と顧客の要件の両方に準拠できるようにします。TI はまた、サプライヤとの契約の中で化学物質に関連する制約と規格を規定しています。
- 新しい科学情報が利用可能になり、新しい規制が有効になった時点で、各原材料が ESH に及ぼす潜在的な影響を継続的に評価します。
- 化学物質の購入、輸送、追跡、廃棄を安全かつ責任ある方法で実施するために、厳格な規格と条項に従います。
- 個人用保護機器の適切な使用を含め、化学物資または有害物質の使用、ラベル表記、保管、廃棄に関する具体的な手順とトレーニングを提供します。
- 通気制御機能、排出物削減システム、漏洩検出器、適切な処理技術を使用しています。



原材料と化学物質の管理に関して、TI は 3 ステップのアプローチを適用しています。

ステップ 1: TI が何を必要としているかを検討します。

TI が必要とする原材料の大半は、半導体の製造に必要なものです。原材料と化学物質を購入する場合、TI は結果として発生する廃棄物について考慮するほか、既存の原材料を再利用するか、リサイクル済み原材料や環境との親和性が高い品目を購入または使用するかを考慮します。

ステップ 2: 可能なものを再利用します。

TI は以下の方法で原材料と化学物質を再利用します。

- 固体、液体、廃水、その他の原材料から金属を回収する。
- 使用済みのプロセス化学物質、化学物質コンテナ、古くなった製造機器を再利用するか、再販売する。
- ウェハー・キャリアやフード・サービスの食器を再利用する。

ステップ 3: 許可されているものをリサイクルします。

TI のリサイクル可能な原材料と化学物質は、主に自社のオフィスと製造拠点に由来します。各地域の要件に従って、これらの管理と統制を実施します。

TI が受入検査を実施している段階で化学物質または他の原材料に関する懸念が発生した場合、会社の関連部門に所属しているエキスパートが集まり、Chemical and Material Review Board に、その懸念事項をエスカレーションします。発生頻度は低いのですが、ある化学物質または原材料が製造に必要であっても、依然として懸念事項が発生する場合、製造リーダーはその状況をレビューし、必要な場合は、より安全な代替物質を見つけるか、または使用に関するより厳格な統制を行います。

懸念物質の段階的な廃止

電子業界が直面している 1 つの課題は、事業にとって重要ではあっても有害な可能性のある化合物を低減または排除することです。以下のものが該当します。

- 臭素系または塩素系の難燃剤 (BFR/CFR) の各化合物は TI の製品の販売時点では何のリスクもありますが、不適切または安全ではない方法で廃棄することは懸念事項になります。過去 20 年にわたって、TI は自社製品の 99% からこれらの化学物質を積極的に除去してきました。
- ペルフルオロ化合物 (PFOS) と ペルフルオロオクタン酸 (PFOA) – これらは油や水をはじく撥油剤ですが、健康に影響を及ぼす可能性があります。TI は 2015 年に PFOS の使用を停止しました。また、2021 年に PFOA を製造プロセスから除外することを計画しています。TI と他のチップメーカーは、これらの化学物質に対する受け入れ可能な選択肢を考案するために、Semiconductor Industry Association と協力しています。

製品の使用物質の透明性

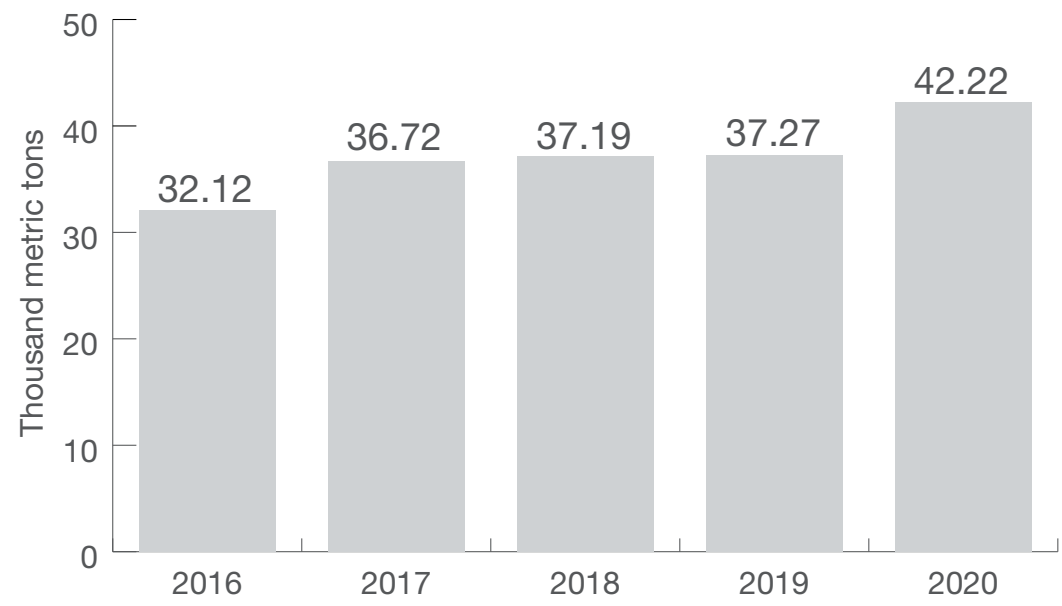
TI の消費者は、TI が実施した測定の概要を示す資料とツールを入手できるので、TI の各種パーツが原材料に関する以下のようなグローバルな制約と法規制に適合していることを確認できます。

- [規制対象である化学物質と原材料の仕様](#).
- [TI の制限化学物質と原材料の一覧](#).
- [環境と製品への責任に関する TI のアプローチ](#).
- [検索ツール](#)を使用して、RoHS、REACH、グリーン対応に関する製品のステータスや、含有物質の詳細を迅速に検索すること、または制限化学物質テスト・レポートをダウンロードすることができます。
- [品質、信頼性、パッケージに関するデータ](#).
- [鉛フリーへの転換](#).
- [Low Halogen \(Green\) Statement \(低ハロゲン \(グリーン対応\) に関する声明\)](#).
- [環境に関する FAQ](#).

原材料の使用

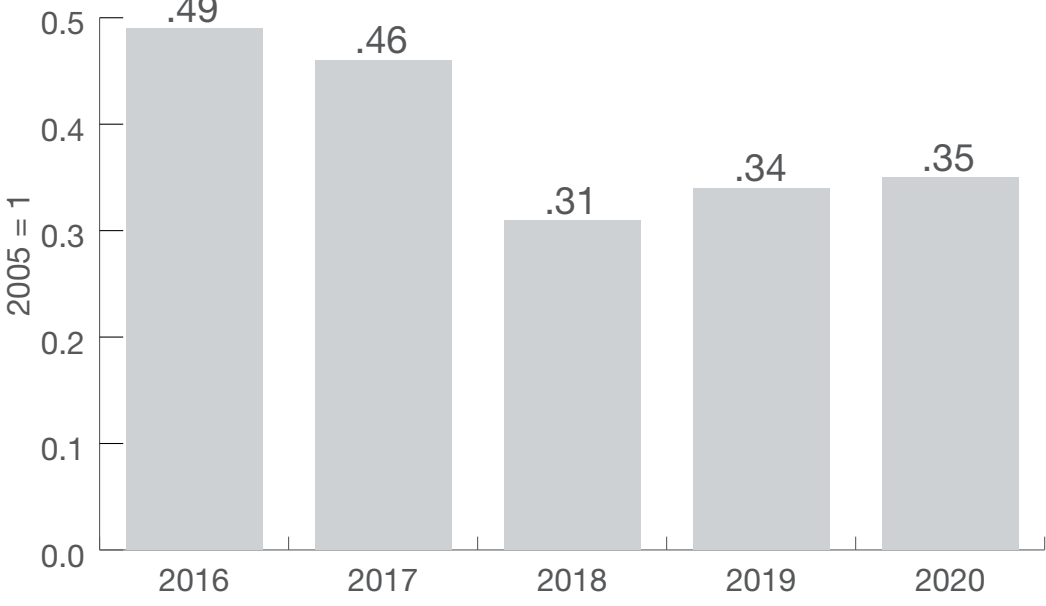
TI は 2020 年に発生した合計 42,220 トンの廃棄物と余剰原材料のうち 90% 近くを再利用またはリサイクルしました。そのために、余剰原材料の売却、エネルギー回収の目的で特定の廃棄物のリサイクル、および廃棄物になった木材、紙、ガラス、金属、有機原材料のリサイクルを実施しました。リサイクルや再利用ができない廃棄物や原材料は、連邦政府、州政府、および地元の該当する法令に従って適切に廃棄しています。

Total materials generated



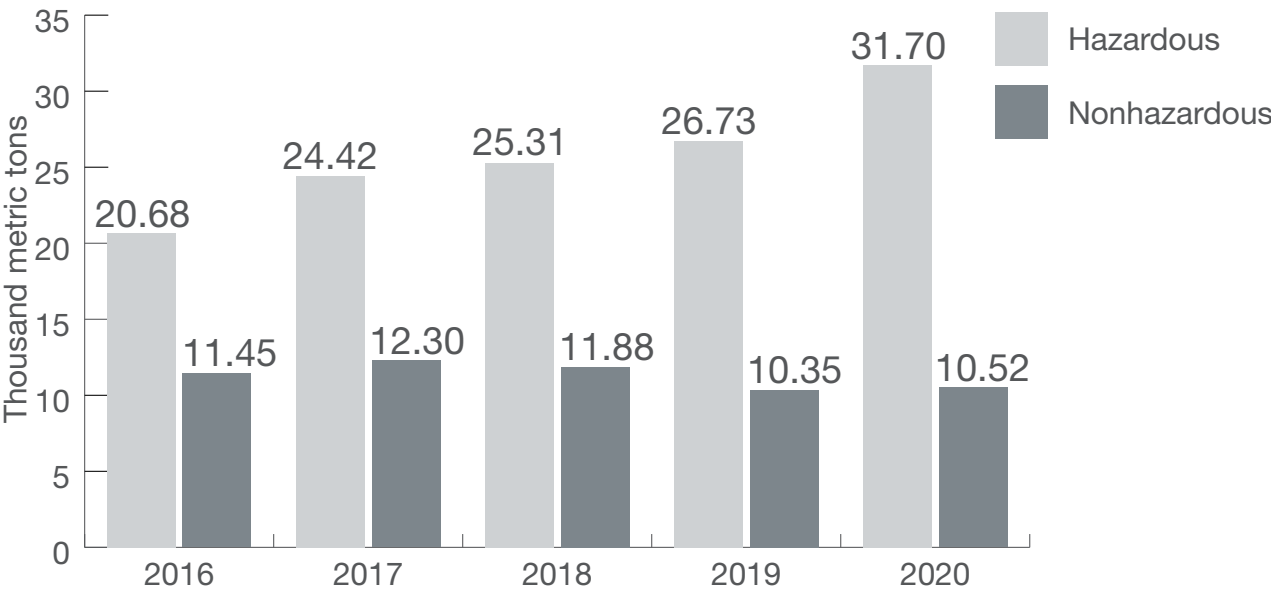
TI の製造数は 2016 年から 2020 年の間に 34% 増加しました。

Waste use per chip (normalized to 2005 = 1 baseline)

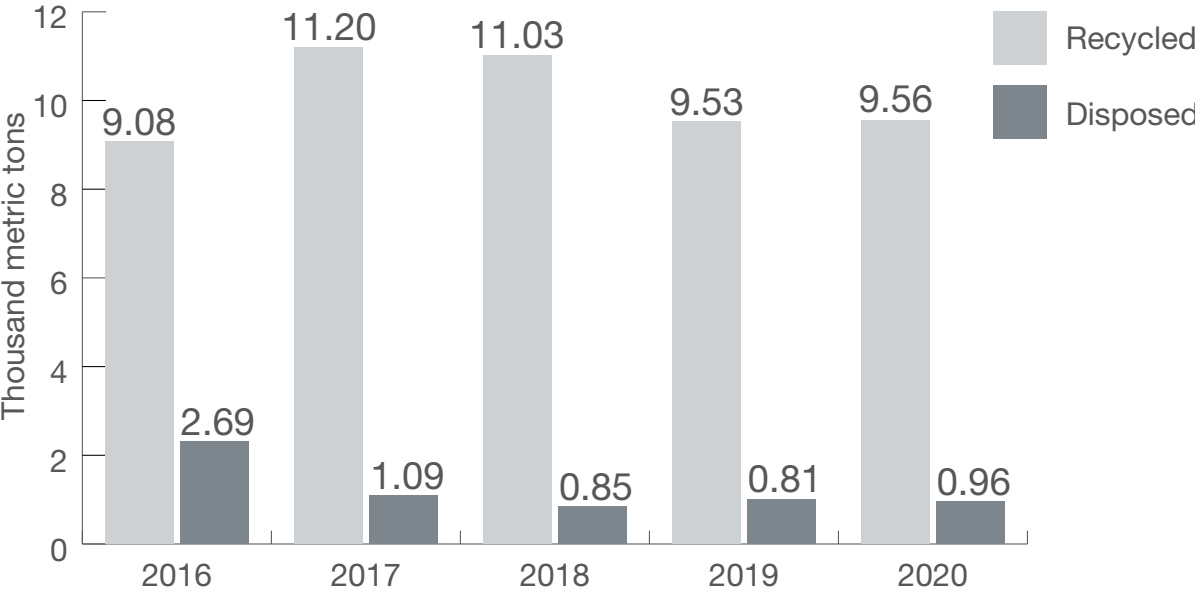


TI が原材料を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の ESH Management Approach (環境、安全、健康の管理に関するアプローチ) セクションと Materials (原材料) セクションをご覧ください。

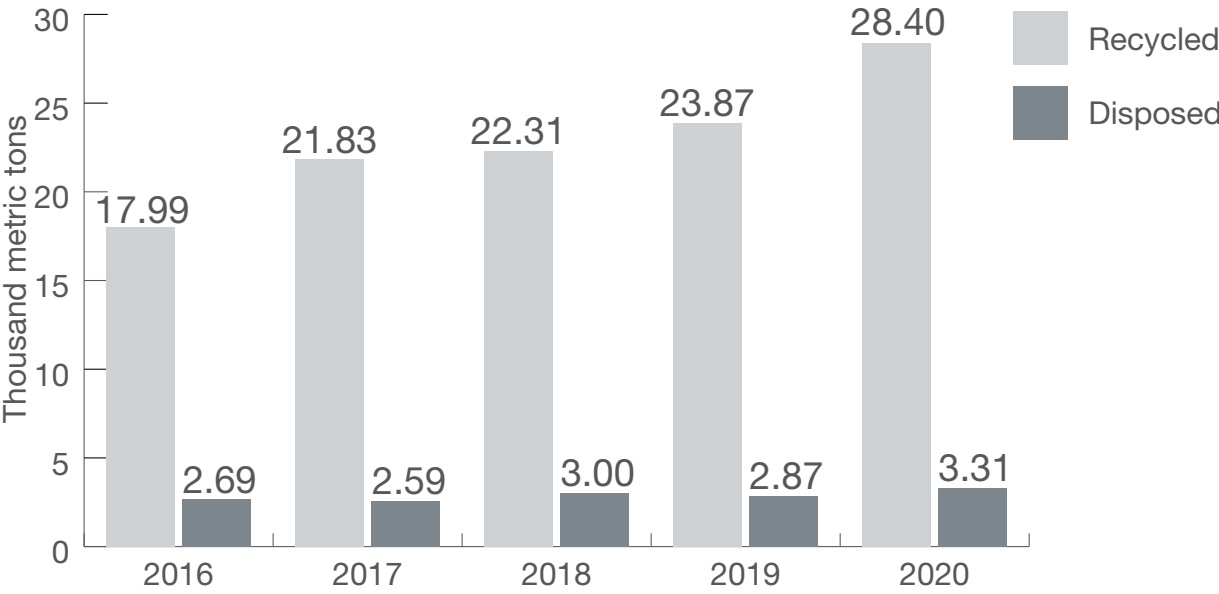
Waste by type



Nonhazardous waste



Hazardous waste



使用済み原材料と貴金属の再活用

TI の製造事業は、シリコンや IC から、製造機器とテスト機器や家具とコンピュータまで、大量の廃棄物と廃物利用可能な原材料を排出します。これらの品目を再活用するために、TI は多くの労力を費やし、社内での再利用、再生利用を意図した一般市場での再販売、大学や非営利団体などへの寄付を実施しています。TI は会社全体で、2020 年に発生した原材料と化学物質のうち 90% 近くを再利用またはリサイクルしました。TI の台湾拠点はすべての廃棄物を 100% リサイクルしており、他の 3 つの拠点も産業用以外の廃棄物すべてを 100% リサイクルしています。

TI は廃棄物と再生利用可能な原材料を、それらをリサイクル、回収、または再販売することができる団体に売却しています。2020 年に、米国にある TI の複数の拠点は、このような原材料を合計 540 トン売却しました。



製品の品質と信頼性

TI の技術の品質と信頼性を最適化すると、耐用期間を延長し、環境への影響を低減することができます。TI のアナログ半導体と組込み半導体は、より小型、より効率的、より高い信頼性、より手ごろな価格設定のエレクトロニクス製品の製作を可能にします。TI の目標は、お客様の問題を解決する製品を実現し、欠陥ゼロで納期通りに納入することです。

TI は世界各地にある合計 14 箇所の多様な製造拠点で、10 箇所のウェハー製造プラント、7 箇所のアセンブリおよびテスト拠点、複数のバンパ (突起形成などの加工) 施設とプローブ (検証) 施設を運営しています。TI は、自社で使用するウェハーの約 80% を社内で製造しています。TI は社内の製造能力に加えて、複数の外部ファウンドリや下請け業者との強固な提携を築く方法で、継続的に製品を供給できます。

TI の製造戦略は、需要に先立って製造能力を確保することを狙いとしており、300mm のアナログ・ウェハー製造プラントの能力を拡充するために戦略的な投資を実施し、長期的な成長に対応すると同時に、災害時などに継続的な供給を実現できるように、製品のうち 75% 以上は複数の拠点から出荷できる体制を維持しています。加えて、TI は注文履行と在庫管理に関する秩序だったアプローチを、回復力の優れた事業継続プロセスに組み合わせています。

品質と信頼性

品質という概念は、TI のあらゆる部門に浸透しています。製品開発、製造と組み立て、製品のテスト、カスタマー・サポートという、製品のライフサイクル全体で優れた品質を達成することを重視しています。

TI は、製品開発過程の各ステップで、品質と信頼性を作り込んでいます。この手法は、産業用 (半導体技術協会: JEDEC) と車載 (車載電子部品評議会: AEC の Q100) の厳格な認証規格に適合する高信頼性の技術の構築を可能にします。TI は特化型の原材料と制御手法を使用し、高品質の製品や、テスト用のシリコン技術とパッケージ技術を製作するほか、ウェハー・レベルの信頼性を継続的に監視しています。製品の認証を開始した時点で、TI の目標は製品が全面的に高信頼性で、長期的な品質という顧客のニーズに対応できるという、データに裏付けられた強い自信を抱けるようにすることでした。

品質とサポートへの取り組み

TI は顧客からの返品実績を測定しています。この数値に基づいて、解決のサイクル期間と 10 億個あたりの返品パーツ数という両方の実績を評価しています。これらの測定値は両方とも、高い水準の顧客サービスや、製品の品質と信頼性を維持するうえで重要です。

継続的な改良を推進するために、TI は個別の返却に関する理由の評価、分類、集約を実施し、全体的な改良の機会を見きわめています。過去 3 年の間に、TI 製品のうち 85% 以上は、どの顧客からも返品されたことはありませんでした。

TI の [品質管理マニュアル](#) は、TI の品質管理プロセスと管理システムについて記述しています。また、その [品質ポリシーと手順](#) は、品質に関連する課題を迅速に特定し、解決するための枠組みを実現します。TI は業界の要件と規格を採用しているほか、顧客の仕様とフィードバックも考慮に入れています。その結果、製品のライフサイクル全体でリスクを低減し、改善を推進することができます。

また、製品のいくつかの主な性能インジケータとサービスの品質を測定し、継続的な改善を実施しています。多数の業界規格と品質仕様に適合できるように、TI は複数の社内品質規格を策定済みです。それらの業界規格などに該当するのは、ISO 9001、ISO 14001、ISO 45001、International Standard for Automotive Quality Management Systems (自動車産業向け品質管理システムの国際規格) 16949 と、UL (Underwriters Laboratories) 定格です。

製品の耐用期間

TI は、[製品耐用期間](#) と顧客への製品供給の継続性を重視しており、10 年またはそれより長い期間にわたって製品の販売とサポートを実施できるように、ライフ・サイクル管理ポリシー、および在庫と製造に関する戦略を策定しています。また、TI は日常的に顧客の品質データを評価し、品質改良計画を策定するほか、四半期ごとの社内品質監査を実施して、TI 製品が確実に長期的に持続するようにしています。

梱包と出荷

TI は自社製品を効率的に梱包および配送し、適切な時間枠で顧客宛に流通させるとともに、出荷に関する国際的な規制と排出物関連の基準に確実に準拠できるようにしています。次に例を示します。

- 複数回の配送を防止する目的で、多数の製品も各出荷に収容できるように梱包しています。また実際の重量が、課金の対象になる寸法重量 (容積重量) に近くなるように、梱包密度を高めています。
- 梱包の際に、リサイクル可能かつ再利用可能でリサイクル済み物質を採用したエア緩衝材を使用しています。
- 重くて高額な、カスタム・カットの発泡材やリサイクル不可能な発泡材の使用、または発泡材とボール紙の廃棄物発生を排除しています。
- すべての新しい 300mm ウェハーは再利用可能なコンテナを使用して配送するようサプライヤに要求しています。コンテナが空になった後、再利用できるようにそれらのコンテナをサプライヤに返却するか、TI 社内で使用しています。2020 年単年で、TI はそのようなコンテナを約 28,000 個再利用し、サプライヤから約 80 万ドルの払い戻しを受け取ることができました。
- 配送時に製品を保護する梱包材 (発泡エア・パッキンやフォーム緩衝材など) や、配送資材 (箱、木枠、パレットなど)、貴金属を回収できる品目を外部業者宛に配送するためのケース、および製品の配置に使用するプラスチック製リールを再利用しています。

加えて、TI は欧州連合 (EU) の Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE、廃電気電子製品) と EU の Packaging and Packaging Waste (包装廃棄物) リサイクル・プログラムに参加しており、EU 管轄地域に輸入する評価基板に適用しています。

TI は顧客に近い地域に自社の流通センターを配置しています。その結果、配送期間の短縮、効率の向上、また天災発生時の製品配送の確保が可能になります。TI は顧客と協力し、配送に関する顧客のニーズを理解し、可能な場合は一括で配送を実施しています。この慣行の採用により、航空便を使用する場合でも、より手ごろな出荷オプションが使用できる時期を想定して、優先順位の低い航空便を使用する方針に相互で合意することができます。

2020 年に TI は自社のファクトリ (工場) から組み立て / テスト拠点への配送を、従来の 13 枚のウェハーを収容した 2 個のパックを使用する方式の代わりに、25 枚のウェハーを収容した 1 個のパックを使用する方法を採用し、配送のサステナビリティを改善しました。この結果、プラスチック梱包材を 50% 削減できました。



責任ある事業慣行



責任ある事業慣行

TI の目標、価値基準、および行動規範

『[Living our values – TI’s ambitions, values and code of conduct](#)』(TI の価値基準に基づく行動 – TI の目標、価値基準、および行動規範) という資料は、TI における業務の規範に関する複数の標準の概要を掲載しています。すべての TI 従業員は TI の価値基準に従った行動を実施し、それらの原則を支持するうえで重要な役割を負っています。会社は、リーダーの関与や、従業員の参加とトレーニングを通じて、この意識を強化しています。

TI の目標

TI は数十年にわたり、半導体によってエレクトロニクスをだれもが手に届く手ごろなものにし、より良い世界を作り上げる、という熱意をもって事業を運営してきました。長年にわたって、TI は 3 つの目標を念頭に置いて事業を運営してきました。

- 私たちは、数十年にわたって会社を所有するオーナーと同様の立場で行動します。
- 私たちは、絶えず変化を続ける世界に適応し、成功を収めます。
- 私たちは、社員であることを誇りに思える会社、地域の隣人として望ましい会社であることを目指します。

私たちがこれらの目標の達成に成功すれば、TI の従業員、顧客、コミュニティ、ステークホルダーはいずれも勝者になることができます。

TI の価値基準と行動規範

TI の価値基準は、TI 従業員の在り方と行動方針について定義します。これらは、自らが信頼でき、包摂的で、革新を進め、競争力が高く、結果を重視するという要素にも該当します。また、TI 従業員 1 人 1 人は、行動規範について理解することも期待されています。この行動規範は、TI の目標や価値基準を、私たちが支持する必要のある基準へと作り替え、私たちが許容することのない言動を明確に提示することになります。

信頼

最初に、信頼できる人間になります。誠実な行動をとり、常に正しいことを実行します。TI は、社会的責任に沿った事業運営を行います。信頼されるということは、会社として、個人としての私たちの基礎です。

多様性

多様性は成功へと導きます。全員の能力を引き出し、敬意をもって互いに接し、互いの違いを尊重するとともに、考えやアイデアを出し合うよう促す環境を作り上げます。

革新性

革新性を高めると、成功につながります。私たちは、魅力的な製品を製造し、新しい市場を開拓し、競争力を高める新しいテクノロジーを想像しています。私たちは好奇心を維持し、永続性を実現すると同時に、障壁を克服するために決意を抱いています。

Competitive (競争力)

私たちは競争が不可欠であることを理解しています。私たちは敗北を望みません。そのため、最善を尽くせるように、自らに対して継続的に課題を課します。私たちは、持続可能な成長を実現できるように、最善の機会に投資します。競争力を維持するために、TI は優秀な人材を採用し、能力開発を進め、維持します。

結果重視

TI は結果を重視し、責任ある言動を心がけています。お客様には複数の選択肢があります。TI は緊急性を持って行動し、お客様が TI を継続的に選択してくださるよう物事に取り組みます。お客様の成功を支援するために、私たちは業務を継続的に改善します。

トレーニング

TI の拠点はさまざまな地理的領域に位置しており、腐敗、社会的圧力、法律や規制に関するさまざまなリスクを抱えています。TI 従業員、マネージャ、リーダーがそのような状況で正しい判断を下せるように、会社はトレーニングとツールを提供しています。

従業員は毎年、エシックスとコンプライアンスのトレーニングを受けます。トピックは年ごとに異なる可能性があります。複数年を 1 つのサイクルとして、1 サイクルのうちに TI の行動規範、環境、安全と健康、秘密情報の保護、情報技術とセキュリティ、職場での嫌がらせやセクシャル・ハラスメントの防止、その他のコンプライアンス関連トピックを取り扱います。加えて、特定の役割にある従業員は、ターゲット設定型トピックに関するトレーニングを受けます。これに該当するのは、人権に関するポリシー、輸出管理、腐敗防止、インサイダー取引、グローバルな競争法、RBA Code of Conduct (責任ある事業同盟の行動規範) です。

また、「TI の価値基準に基づく行動」の意味を理解し、倫理的な行動に関する会社の各種規格を支持することができるよう、上級マネージャの関与を求め、適切なツールを提供しています。この結果、各マネージャは自らが管轄する部門で、社内文化、倫理、コンプライアンスに関する期待という考え方を強化できます。

TI の GRI Index は、TI の Ethics (倫理)、Anti-corruption (腐敗防止)、Anti-competitive (反競争的行為)、および Nondiscrimination (差別排除) の慣行に関する詳細情報を掲載しています。

問題点の報告

目標、価値基準、行動規範、方針のいずれかに相いれない行動を目にしたとき、そのことを表明するのは TI 従業員の責任です。それを行うためには、マネージャまたは HR (人事) 担当者に相談する、TI エシックス部門に直接または匿名で連絡を取ることができます。

直接の連絡先:

- E メール: ethics@ti.com。
- 私書箱宛の郵送 Box 830801, Richardson, TX 75083-0801.

匿名ヘルプライン:

- オンライン・アクセス先: texasinstruments.alertline.com。
- 米国内の無料通話: 888-590-5465.



ガバナンス

TI は、長期的な成功を達成するには優れたコーポレート・ガバナンスが不可欠であると確信しています。1973 年以来、TI は文書化したガバナンス・ガイドラインを使用しており、会社と株主のニーズに合わせて長年にわたって改正を実施してきました。TI の目標と価値基準は、会社を運営し、長期間にわたって体質を強化するための中心的な役割を果たしています。

TI の取締役会は、責任能力と効果的なコーポレート・ガバナンスを具体化するための活動に取り組んでいるほか、会社のグローバル事業戦略を監督しています。取締役は豊富な経験を持ち、多様な背景と考え方を共有しています。取締役会は、ガバナンスの慣行が現在の事業環境に適しているか確認するために、少なくとも 1 年に 1 回はガバナンスの慣行について話し合います。

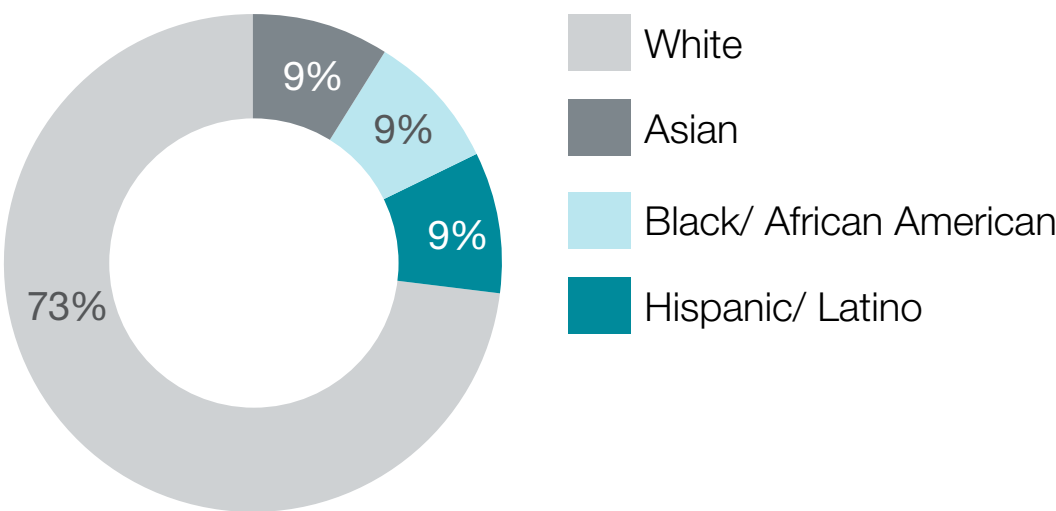
TI のコーポレート・ガバナンスの詳細：

- [TI の取締役会と委員会のご紹介](#)
- [Board Oversight of Environmental, Social and Governance \(ESG\) Matters \(環境、社会、ガバナンス \(ESG\) 関連事項に関する取締役会の監督](#)
- [ガバナンス資料](#)
- [2021 Proxy Statement \(2021 年の株主総会招集通知\)](#)
- [2020 U.S. Securities and Exchange Commission \(SEC\) Form 10-K \(2020 年の米国証券取引委員会 \(SEC\) の Form 10-K 年次報告書\)](#)
- [2020 Annual Report \(2020 年の年次報告書\)](#)

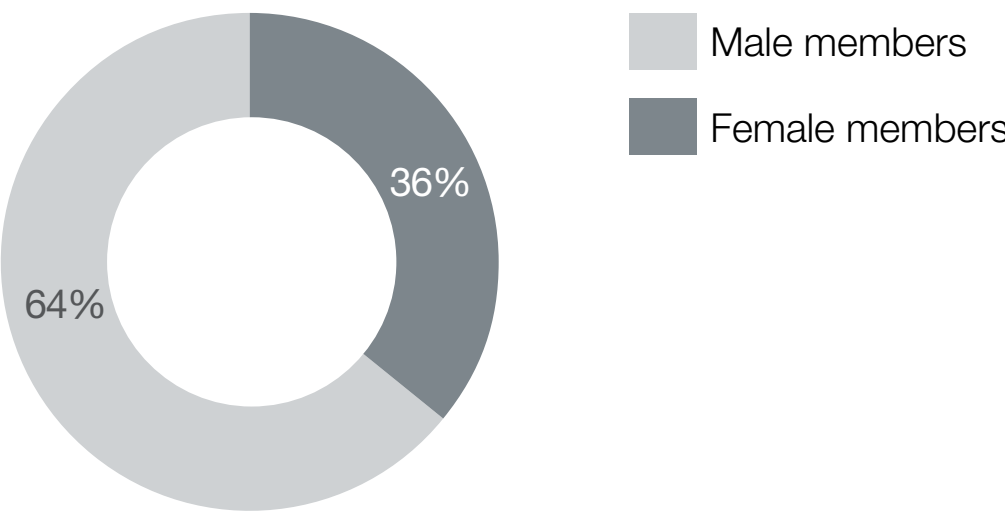
TI の取締役会の概要

2020 年末の時点で、TI は 1 階層の取締役会を採用していました。取締役会のメンバーは 11 人で、そのうち 91% は独立取締役でした。職務の定年は 70 歳です。

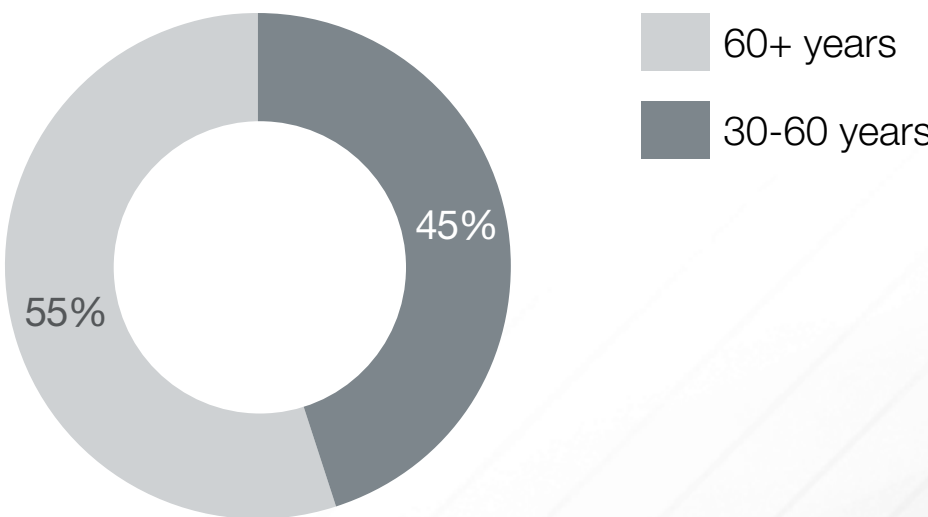
Board members by race



Board members by gender



Board members by age



責任あるサプライ・チェーン

TI は、種類や規模が異なる約 11,000 社のサプライヤから、製造プロセス、工場設備、メンテナンス、流通サービス、および非生産のサービスのための各種原材料や資材を購入します。責任ある業務慣行を TI のサプライ・チェーンに導入すると、TI のベンダーの業務、労働者、環境に関連する慣行のリスクを低減できます。

責任ある調達

TI のワールドワイド調達チームは、さまざまな物品とサービスの購買をグローバルに調整します。この業務に該当するのは、調達戦略の設定、資格あるサプライヤの特定と詳細検査、納期と価格設定の交渉、最善の履行方法の判断です。

- TI は、調達を決定する前に、サプライヤの人権に関する慣行や、環境と安全性の記録を集め、注意深く考慮します。TI の価値観、行動規範、他のガバナンス文書に違反するサプライヤとは意図的に関わりを持たないようにしています。
- TI は、自社のポリシー、[supplier website](#) (サプライヤ向け Web サイト)、契約書、注文書の中で、自社の業績要件と期待を明記します。責任ある業務慣行を TI のサプライ・チェーンにも導入する方法で、リスクを軽減しています。
- TI は、成長を拡大することによって株主の長期的な利益に貢献するサプライヤーを求めています。その目的でサプライヤが実現できる具体的な手段は、成長のためのスケール化対応、全体的なコストの削減と廃棄物の低減、効率の向上、革新的なサービス、原材料、および製品サポートの提供です。
- TI は、グローバル・サプライ・チェーンにおける企業の社会的責任に取り組む業界団体である RBA に所属しています。また、RBA Code of Conduct (RBA 行動規範) の中で規定されている各種基準に適合しています。
- TI はまた、RBA、Semiconductor Industry Association (米国半導体工業会)、Semiconductor Equipment and Materials International (国際半導体製造装置材料協会) などの業界団体のメンバーであり、それらの団体に定期的に協力し、サプライチェーンのベスト・プラクティスと基準について協議しています。

サプライ・チェーン管理システム

TI のサプライ・チェーン管理システムは、調達、在庫、製造、品質、流通の各プロセスを体系的に管理するための枠組みを実現します。このシステムは、TI が運用規格と規制の標準に準拠し、コストの追跡とリスクの監視を実施するのに役立ちます。TI の管理システムは、以下の業界標準化機構によって認証されています。

- ISO (International Organization for Standardization: 国際標準化機構) の品質マネジメント・システムである ISO 9001 は、企業の操業を支援し、顧客満足度の向上につながります。
- ISO/TS (Technical Specification: 技術仕様) 16949 は、自動車製造と関連するサービス担当組織向けの品質マネジメント・システムです。
- IATF (International Automotive Task Force: 国際自動車作業部会) 16949 は、自動車製造と関連するサービス担当組織向けの品質マネジメント・システムです。

TI は社内の管理システムに対して定期的に社内監査を実施し、潜在的なリスクの特定とギャップの縮小を図っています。加えて、ISO は再認証プロセスの一環として、TI の調達管理システムの評価を毎年実施しています。TI が自社のサプライ・チェーンを管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI 指標) の Procurement Practices (調達の慣行)、Supplier Environmental Assessment (サプライヤの環境評価)、Supplier Social Assessment (サプライヤの社会評価)、および 102-9 と 102-10 の各指標をご覧ください。

サプライ・チェーンの透明性

TI は、サプライヤに対して期待するのと同等の透明性を確保できるように努力しています。次に例を示します。

- 毎年、独立系の第三者監査担当者が、RBA の Validated Assessment Program (検証済み評価プログラム) 条項の基準に基づき、選択された TI の施設を評価しています。TI は、お客様がこれらのレポートを入手できるようにしています。
- TI は、サプライヤの管理と監視に関するプログラムの詳細を公開しているほか、TI の Anti-Human Trafficking Statement (非人道的な人身売買に関する声明) で年間の実績を開示しています。
- TI は、RBA/Global E-Sustainability Initiative (RBA / グローバル E サステナビリティ構想) の Conflict Minerals Reporting Template (紛争鉱物報告テンプレート) をお客さまに開示しています。

サプライヤの多様化に関する取り組み

TI は数十年にわたり、サプライ・チェーンに従事するマイノリティや女性が経営する企業 (MWBE) が、独特かつ革新的でコスト効率の優れた製品とサービスを TI に提供することの価値を認めてきました。

サプライヤの多様化に関する TI の取り組みは、TI 本社といくつかの主要な製造施設があるテキサスを中心とする米国に集中しています。TI と MWBE の取り組みは、地域社会の経済に貢献しています。毎年、TI は自社が計画したプロジェクトのタイプと、資格ある MWBE の有効性に基づいて、支出目標を設定しています。2020 年に、TI の米国国内における契約のうち 12.1% は多様なサプライヤに割り当てました。この数値は、TI の目標である 8.5% を上回る値でした。

マイノリティ (少数民族) や女性が経営する企業 (MWBE) との関係を数十年にわたって推進

30 年以上にわたって、TI の Worldwide Procurement and Logistics (ワールドワイドの調達と物流) チームは、米国テキサス州ダラスの TI 本社の周辺にある各種団体と協力し、TI が MWBE から購入を増やしてきました。TI が Dallas Together Covenant (ダラス協力契約) に最初に参加したときから、Women's Business Council – Southwest (女性経営企業協議会 – 南西部) と Dallas/Fort Worth Minority Business Development Council (ダラス / フォートワース・マイノリティ企業開発評議会) に継続的に提携している現在まで、TI は各種 MWBE への投資と協力に取り組んでいます。TI は毎年、以下を実施しています。

- MWBE への支出目標を設定します。10 年以上にわたって、実際の支出金額は目標を上回ってきました。
- TI と同じ地域コミュニティに属する MWBE の経営者を指導し、契約への入札、在庫の管理、サプライヤとの協力関係の構築、顧客ベースの多様化に関するスキルを強化できるように支援します。
- Women's Business Council – Southwest (女性経営企業協議会 – 南西部) を通じて、Lillie Knox Investment Award (リリー・ノックス投資賞) を財務面から支援しています。この賞は受賞者に対して最大 2 万ドルを投資し、業容の拡大や事業の成長を促進しています。
- 現時点で TI と協力関係にある MWBE の経営者と面会し、契約を拡大する機会について判断するほか、TI 以外の顧客ベースに対してそれらの会社が安定性を確保できているかどうかを検証します。
- Dallas LGBTQ+ Chamber (ダラス LGBTQ+ 会議) といった団体に参加し、TI のサプライヤ・ベースのいっそうの多様化を図ります。



サプライヤに対する TI の期待

TI は、サプライヤが TI の価値観と行動規範に沿って事業を運営することを期待しています。該当するすべての法令と規制に従い、合意した水準の業績を達成し、環境、社会、ガバナンスに関する各規準に従って事業を進めることも期待します。TI は、すべてのサプライヤが以下のガバナンス資料に従うことを求めます。

- [Living our values – TI’s ambitions, values and code of conduct \(TI の価値基準に基づく行動 – TI の目標、価値基準、および行動規範\)](#)
- TI の[サプライヤ行動規範](#)：社会、環境、企業の運営に関する業界の基準との整合性があります。
- TI の [Supplier Environmental and Social Responsibility Policy \(環境と社会へのサプライヤの責任に関するポリシー\)](#)：ESH (環境、安全、健康) 保護に関する TI の期待の概要を記載しています。
- TI の [Anti-Human Trafficking Statement \(非人道的な人身売買に関する声明\)](#)：奴隷と人身売買を TI のサプライ・チェーンや業務から根絶するための TI の取り組みに関する情報を掲載しています。TI は、いかなる種類の人身売買も許容しません。
- TI の [Conflict Minerals Policy \(紛争鉱物ポリシー\)](#)：戦争や人権侵害を助長けする精錬業者が、TI の製品向け金属を供給することを防止するための TI の期待を明記しています。
- TI の [一般的な品質に関するガイドライン](#)：品質に関する TI の期待を裏付ける各種プロセスとシステムの概要を掲載しています。これらのガイドラインの中で、直接の原材料サプライヤが国際品質規格の認証を受けたことを確認する点も記載しています。
- TI の [ESH Policy and Principles \(環境、安全、健康に関するポリシーと原則\)](#)：サプライヤが準拠する必要のある、該当する規制に関する TI の期待と、TI の ESH ポリシー、規格、仕様の概要を掲載しています。

加えて、TI は自社のサプライヤ各社がサステナビリティに関するサプライヤ独自のポリシー、基準、手順、およびプロセスを策定し、TI とサプライヤが事業を営む国や地域で倫理的かつ合法的にビジネスを行うことを求めます。これらのポリシー、基準、プロセスは場所によって異なりますが、サプライヤは地域の法令を監視し、確実に準拠する責任を負います。TI はまた、サプライヤ各社が信頼性の高い ESH ポリシーと管理システムを用意するとともに、リスクの特定や統制、および関連する法令や規制に準拠していることを実証することも求めます。

サプライ・チェーンのリスクの評価

TI は、予期されるリスク (新しい規制など) や、予期できないリスク (自然災害など) を含め、サプライ・チェーンのリスクを継続的に評価します。TI はまた、自社の調達プロセスとサプライヤ管理プロセスが、評判に関わる問題、注文履行処理の問題、出荷の遅延、コストの増大を防ぐために十分な厳格性を確保できるように、サプライヤの財務の健全性や、特定の地域への集中度も評価します。

そのため、サプライヤが業務停止の事態に備えて適切な事業継続計画を整備すること、および必要に応じて計画の内容を TI に提供することを求めます。また、供給の継続性を維持できるように、TI はサプライヤに対し、原因となるインシデントが発生した場合は 24 時間以内に TI に連絡することと、事業継続計画 (BCP) を実施することを求めています。

TI は自社の財政的投資、重要度、サプライヤが提供する製品やサービス、およびサプライヤの地理的位置に基づき、優先順位を付けてサプライヤを検討します。補助労働者または請負労働者の派遣業者を利用する場合、TI は包括的なデュー・デリジェンス (注意義務) を果たし、労働者との面談を実施して、労働搾取の可能性の有無を判定します。TI はまた、定期的な監査を実施し、雇用契約、労働時間、寄宿舎の状態を評価しています。

TI が評価するサプライ・チェーンのリスクは以下のとおりです。

- 部品と完成品の入手時期。
- 企業の倫理。
- 紛争鉱物。
- 環境、安全、および健康。
- 財務の健全性。
- 労働と人権。
- 価格設定と取引の変動性。
- 原材料の品質。
- 供給管理システム。

評価ツール

TI は、サプライヤを定期的に評価するために、3 つの評価ツールを導入しています。

- **評価。**RBA の自己評価アンケート (SAQ)、または RBA Code of Conduct (RBA 行動規範) のセクションを基準とした既存の施設ポリシーと人口統計を検討するために TI 内部で開発した評価方法を使用して、直接的な原材料を供給するサプライヤとサービス提供サプライヤのリスクと管理システムを調査します。(2 年周期で実施する) この評価は、人権や強制労働を含め、倫理、環境、社会に関するリスクを特定するのに役立ちます。
- **監査。**これらの評価や他のリスク要因の分析に基づき、RBA Code of Conduct (RBA 行動規範) の全セクションまたは対象となるセクションを基準として、TI または独立した第三者監査人のいずれかによる監査の対象となるサプライヤを特定します。TI の担当者は、Transparency International の Corruption Perceptions Index (腐敗認識指数) を使用して特定したハイリスク地域で事業を実施しているサプライヤの監査を実施し、RBA 規範の労働関連セクションに対するコンプライアンスを毎年測定しています。この監査の一部として、現場での検査も実施します。文書の査読を通じて、サプライヤが労働者に借金や手数料を負担させていないことを確認するほか、労働条件、労働時間、賃金、移動制限の有無を評価するために労働者や管理者との面談を実施し、寄宿舍を検査します。TI 側がこのプロセスで懸念事項を見つけた場合、TI の調達マネージャとサプライ・チェーン・チームはサプライヤと連携して是正措置の行動を策定します。懸念事項を解消できるまで、この行動を追跡します。
- **実績測定プログラム。**重要なサプライヤについては、コスト、環境と社会に対する責任、技術、納入の確実性、品質の略称である CETRAQ (cost, environment and social responsibility, technology, assurance of supply, and quality) という、TI が策定した隔年のサプライヤ実績測定プログラムに、上記で説明した評価に関するサプライヤの実績を含めます。TI の CETRAQ プログラムは、新規または継続中の企業に対する授賞の検討に使用するツールであり、TI が以下のことを実施するのに役立ちます。
 - TI とサプライヤ双方の管理チームによるレビューを必要とする、供給と品質に関するリスクを特定します。
 - サプライヤの実績に関する定期的な協議を通じて、継続的な改善を促します。
 - サプライヤの改善計画の進捗状況を確認します。

年次評価を完了するために、TI のサプライ・チェーン管理チームが結果をレビューし、プロセスとポリシーを改善する方法を検討します。

評価結果

2020 年に、TI は 250 社以上のサプライヤを評価しました。これらの評価の一環として、332 箇所に上る工場の所在地で TI の製造事業を支援している 140 社の製造サプライヤを評価し、95% が TI の期待を満たしていることが明らかになりました。残りの 5% は是正措置を講じる必要がありました。是正措置の内容は、給与と賃金の源泉徴収の説明についての追加トレーニングと労働者への説明の実施、寄宿舍の状態の改善、ポリシーと記録管理の強化、勤務スケジュールと時間記録の管理などでした。

それぞれのリスク評価に関係なく、重大または潜在的なリスクの懸念 (雇用活動、労働時間数、賃金と福利厚生など) があるサプライヤに対して、TI は是正措置を講じることを求め、その懸念が解消するまでは状況を監視します。

目標と結果

	2016		2017		2018		2019		2020	
	目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標	結果
評価対象のサプライヤのうち、環境的責任と社会的責任の評価が完了した割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
環境的責任と社会的責任の SAQ 評価で、すべての施設が低リスクに分類された製造サプライヤ	80%	86%	85%	88%	85%	87%	90%	89%	90%	95%

紛争鉱物

私たちは、コンゴ民主共和国や周辺地域の武装グループへの資金または利益になる鉱物を自社製品が含有しないようにするための取り組みを実施しています。TI は、違法な鉱山から採掘した鉱物を購入することは世界的に重大な懸念事項であると考え、企業がそのような鉱山から鉱物を購入してはならないという考え方に賛同します。

TI のアプローチ

下請けメーカーを含むサプライ・チェーンと緊密に協力し、不適合な原材料の発生源を特定し排除するために努力しています。

TI は [Conflict Minerals Policy \(紛争鉱物ポリシー\)](#) を策定済みであり、紛争鉱物を使用する製錬所を特定して自社のサプライ・チェーンから排除しています。これらは、ポリシー、構造、手順、リスク管理、コミュニケーション体制の確立を求める OECD のデュー・デリジェンス・ガイダンス (注意義務) に適合しています。TI は、自社の Conflict Minerals Policy (紛争鉱物ポリシー) を 1 次サプライヤと 2 次サプライヤの両方に配布し、TI が情報を要求した際にサプライヤが全面的かつ迅速に対応できるように強化を図っています。

TI が紛争鉱物を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI 指標) の [SEC Form SD filing](#) セクションと Supplier Social Assessment (サプライヤの社会評価) セクションをご覧ください。

進捗の具体化

過去数年間にわたって、TI は自社のサプライ・チェーンから紛争鉱物を排除するために、精錬所を注意深く監査してきました。これらの鉱物に該当するのは、紛争地域の武装グループに直接または間接的な資金提供や援助を行っている精錬所が採掘した錫、タンタル、タングステン、金です。

TI は継続的に自社の監査プロセスを改善し、不確定な精錬所に関するギャップを毎年減らしてきました。TI の調査と情報収集によると、現在までに、武装グループに資金提供や援助を行ったという評価を受けた精錬所はありません。



TI の IC 向けサプライ・チェーンに関与している可能性のある精錬所

	2018	2019	2020
紛争鉱物不使用	100%	100%	99.6% ¹⁹
監査対象として指定	0%	0%	0.4%
不確定	0%	0%	0%

¹⁹ TI の IC 向けサプライ・チェーンに関与している可能性のある 236 箇所の精錬所のうち 235 箇所は、紛争鉱物の処理に関し、紛争鉱物不使用の供給源から入手した鉱物を取り扱っているという RMI 認証を取得済みです。残る 1 箇所の精錬所である Heraeus Germany GmbH Co. KG, (ドイツのヘレウス有限合資会社) は管理に関連する要因が原因で、認証の獲得までに期間を要しましたが、認証を再度有効にするために、RMI と協力して積極的に活動していました。2021 年 7 月 23 日現在、この精錬所は RMI の RMAP プロセスに準拠しています。

TI における労働と人権

TI は自社の事業と自社のサプライ・チェーン全体で、人権を支持し、個人の尊厳、自由、尊重を確保するための取り組みを実施しています。TI の業務と製造事業で、すべての雇用は自発的なものであり、労働時間数と賃金は公正かつ地元の労働規定と法令に準拠しています。TI は、どの事業分野でも児童労働を利用することはありません。

TI の従業員には、地域の法令で認められている結社の自由や団体交渉の権利の両方が認められています。また、TI は世界各地の従業員への調査と、オンラインおよび対面での話し合いを定期的実施しており、各拠点特有の労働環境をより的確に把握できるよう努めています。

人権に関するリスクを事前対応形式で管理

人権を管理し、違反を排除するために、TI は OECD Guidelines for Multinational Enterprises (OECD 多国籍企業行動指針) に従って、定期的なリスク評価とサプライヤに対するデュー・デリジェンス (注意義務) を実施しています。TI はまた、リスクの高い地域で、第三者機関による監査や、オンサイトでの面接と評価を実施し、従業員、サプライヤ、契約社員の権利を確実に保護しています。TI は、労働規定、研修、意識向上活動、結社の自由、インシデント報告ツールを評価します。

TI が人権を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI 指標) の Human Rights Assessment (人権評価) セクションと Human Rights Security Practices (人権とセキュリティに関する慣行) セクションをご覧ください。

TI が懸念事項に対処する方法

職場の懸念事項と改善の機会を表明するために、従業員は社内にある複数の関係部門に連絡をとるための複数のチャネルを使用できます。人権侵害や差別などを報告するために、従業員の誰もが、直属の上司、人事部門の担当者、TI のエシックス・ディレクターを通じて懸念事項を表明すること、または匿名でエシックス・ラインに接触することを奨励されています。TI はその懸念事項を把握した時点で、会社側がただちに状況を評価して対処に努めます。



リスク管理と事業継続性

TI のリスクに関する理解

TI は、サイバー攻撃、天災、異常気象、パンデミック、地政学的問題、社会不安、テロリズム、またはサプライ・チェーンや製品流通の遅延など、予期せぬ業務運営リスクおよび新たなリスクの両方を継続的に監視し、計画を立て、トレーニングを実施しています。TI は事業の中断を低減するために、これらのリスクの継続的な監視、対処するための計画の策定と修正、危機への対応に関する従業員のトレーニングを実施しています。TI はまた、環境、サプライ・チェーン、グローバルな規制、政策面の全体像に関する変化を継続的な方法で監視しています。

リスク管理

プロセスと計画

TI には、秩序だった事業継続計画 (BCP) 管理システムとポリシーがあり、リスクに対する体系的な準備と管理を進めるための枠組みとして活用できます。このシステムは、ISO 22301 の事業継続マネジメント規格に基づいてモデル化したもので、事業の中断に対して TI が保護策の計画立案、実現、監視、保守を実施するのに役立ちます。また、TI は事業のモデル化や、シナリオと影響の分析を実施して、管理戦略、ポリシー、規格、コンティンジェンシー・プラン (緊急事態対処計画) の策定と改訂を実施します。これらは、以下のことを決定するのに役立ちます。

- TI の事業を構成する重要な業務プロセスと、それらの実行可能性の確保に責任を負う担当者。
- 潜在的な脅威とリスク、およびそれらを管理するために統制を実現するかどうか。
- 適切なリソースを使用して、効率の良い対応と復旧を確実に実施するためのプロセス復旧期間。
- 人材、会社の売上、評判に高いリスクをもたらす可能性のある、すべての重要な事業プロセスに対応するコンティンジェンシー (緊急事態対処) 戦略。
- 対応と復旧、製品とサービスの継続に関する優先順位設定のすべての側面を網羅するための包括的な復旧戦略。

TI の Readiness 2 Recover プログラムは、TI の事業継続管理の要件の有効性と準拠性を測定するのに役立ちます。2 年ごとに (または必要に応じて) TI はリスク評価を実施し、既存の統制とギャップの特定および改訂を行います。

トレーニング

TI は定期的に、役員と従業員に対して、即座または将来影響を及ぼす可能性があるさまざまな問題を特定する管理責任のトレーニングを実施しています。TI は各種リーダーに対し、TI の従業員または製品に対する深刻さと潜在的な影響に基づき、各リスクの評価と優先順位設定を実施する方法を教育しています。また、実際の出来事やシナリオに基づく演習から学んだ教訓に基づき、コンティンジェンシー・プランの評価と更新を行うように各種リーダーに伝えます。不測の事態に備え、訓練、研修、図上訓練、現場レベルの演習を実施しています。

不測の事態に対処するための計画

TI は 24 時間 365 日、通年で稼働しているセキュリティ・コミュニケーション・センターを運営しています。インシデントの性質と深刻さに応じて、TI は社内の緊急対応システムを起動します。インシデントが発生している間、TI の緊急対応チームは、潜在的な損失を低減するのに必要とされる、適切なリソース、サービス、インフラを迅速に特定します。また、社内の対応とコミュニケーションに関する調整を実施します。TI の各拠点には緊急対応連絡員が複数人配置されています。これらの連絡員は、各拠点で、または必要な場合はグローバルで、対応業務を調整するためのトレーニングや最善の対応戦略を展開するためのトレーニングを受けています。また、天災や他の大災害が発生した場合、TI は操業地域のコミュニティで人道的支援や災害救助を実施します。

供給の継続性に対する TI の取り組み

TI は多様な地域に製造拠点を配置しているので、75% 以上の製品を複数の製造拠点から供給できるフレキシビリティを確保しています。それらの製造拠点の多数派は TI の自社所有であり、顧客の需要に対応し、予測不可能な市場の動向や一部の拠点での操業停止などの事態に対して、よりの確に対処するのに役立ちます。

加えて、TI の秩序だった危機管理体制と事業継続プログラムは、地政学的な変動、天災、パンデミック (世界的流行病) を含め、社内または世界的な規模で突発的な事態が発生した場合でも、製品の流通や顧客へのサービス提供に及ぼす影響を最小化するのに役立ちます。

情報保護

TI は、ITインフラおよび TI 独自の技術と秘密情報に対する潜在的な脅威の特定と排除に継続的に取り組んでいます。これらの保護は、事業の成長と収益性の鍵であり、EU の GDPR (一般データ保護規則) や中国の Cybersecurity Law (サイバー・セキュリティ法) などの規制の遵守を維持するために必要です。

TI の会社組織、技術、および知的財産 (IP) をサイバー・セキュリティの潜在的な脅威から保護するために、TI は業界の枠組みとサイバー・セキュリティの基準に基づき、さまざまな防衛手段と監視手段を導入済みです。また、さまざまなエキスパートや業界パートナーと協力し、脅威、ベスト・プラクティス、トレンドに関する情報を交換します。

サイバー・セキュリティ・リスクの低減

コンピュータ・ベースの脅威と脆弱性が継続的に増加し、高度化が進む中、グローバル・パートナー、サプライヤ、顧客の間で、情報保護に関する懸念が生じています。TI のリスク管理プロセスは、ISO、NIST (National Institute of Standards and Technology: 米国国立標準技術研究所)、COBIT (Control Objectives for Information and Related Technologies) などのベスト・プラクティス管理手法やガバナンスの枠組みに基づいています。

これらの組織のガイダンスと、TI が実施した評価から収集した情報を使用してリスクを低減し、TI のセキュリティ体制を強化するためのサイバー・セキュリティ計画、ポリシー、条項を策定しています。TI のポリシーは、当社の情報資産の受け入れ可能な使用方法に関する定義、特定の IP (知的財産) または技術にアクセスするための要件、TI が個人情報と[プライバシー](#)を保護する方法を明記しています。



TI のグローバル情報セキュリティ・チームは、潜在的な脅威の特定と対処、各事業部やサポート・チームと連携した作業を通じて、社内のセキュリティを改善しています。その一環として、TI は以下を実施しています。

防御

- TI のコンピュータ、サーバー、ネットワーク、その他の IT システム上にあるデータへのアクセスを制限。
- TI.com での製品のオンライン注文を含め、外部の攻撃から TI の Web サイト (TI.com や TIJ.co.jp など) を保護する技術的対策を実施。
- 多要素認証、マルウェア防御、アクセス・レビュー・プロセスなど業界標準の保護機能を導入。
- TI の IT リソースと情報へのアクセスを要求するサード・パーティーに対し、リスク評価とコンプライアンス評価を実施。

監視

- USB またはサム・ドライブ、外付けハード・ドライブの使用に関する監視と制限を実施。
- IT システムを監視し、不適切なアクティビティに関するアラートに対応。

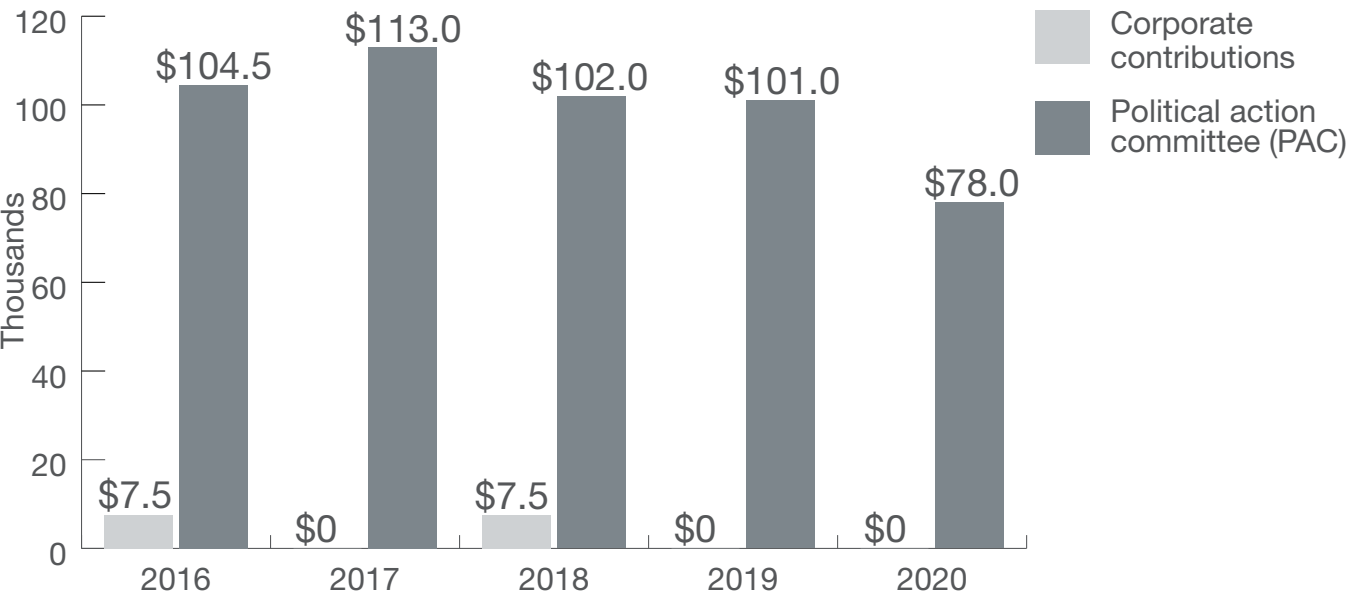
トレーニング

- フィッシングやスパイ型フィッシングをシミュレートした E メール (実際は脅威ではない、テスト目的の疑似的な有害 E メール) を従業員宛に定期的に送信し、関連する教育と注意喚起に関する情報を発信。
- サイバー・セキュリティ意識と機密情報保護に関するトレーニングを TI の全従業員に提供するほか、社内の IT チームに専門的なセキュリティ・トレーニングを提供。

政策提言

TI は各地の政府や自治体と協力して働き、TI の成長、革新、競争力強化に寄与するポリシーを提唱しています。TI は、多数の[団体](#)に所属し、さまざまな政策目標に協力しています。特定の団体での TI の活動は、他の団体における活動よりも活発です。TI は、すべての団体のあらゆる事項に賛同しているとは限りません。TI の提唱プロセスの詳細については、GRI Index (GRI 指標) の Public Policy (パブリック・ポリシー) をご覧ください。

Political expenditures²⁰



TI の [Government Relations \(政府との連携\)](#) Web サイトは、当社の政治的活動、TI の PAC (Political Action Committee: 政治活動委員会)、従業員による政治的活動、関連する政策と期待に関する詳細情報を掲載しています。TI の PAC は 100% 従業員の資金提供によるものであり、秩序だっており、透明性が高く、どの党派にも属していません。従業員は TI の PAC を通じて自発的に結集し、会社の事業目標と整合性の高い位置付けにある政治的候補者を、連邦、州、地域レベルで支持します。



²⁰ 2017 年、2019 年、および 2020 年に、TI は地域の無記名投票イニシアティブへの企業献金を行わない方針を選択しました。2020 年の PAC への貢献は、COVID-19 による影響を受けました。

職場環境



職場環境

TI 従業員は、日常的に TI の価値基準に基づく行動を実施し、半導体を通じてエレクトロニクス製品をより手ごろな価格で購入できるようにする方法で、より良い世界を作り出そうとする会社の熱意を具体化しようとしています。

多様性と包摂性

TI は、アイデアが尊重され、アイデアの提案が奨励され、さまざまな障壁を取り除き、従業員自らが成功を遂げ、長期的なキャリアを築くことができる社内文化の創造に取り組んできました。TI は、従業員の意識を向上させ、インクルージョンを促進させるためのツールとリソースを各種リーダーに提供しています。さらに能力開発と計画的な異動を含めたキャリアの構築を可能にして、多様な人材の募集と雇用の定着を行うことを重点的に取り組んでいます。

「私たちは、包摂的な社内文化を構築できるかどうかは、各 TI 従業員次第だと確信しています。日頃の意思決定から、会社に影響を及ぼす大掛かりな行動まで、私たちは協力して、多様性および包摂の社内文化を作り出しています。その結果、より強固な TI を作り出しています」。

– Yesenia Moore。ダイバーシティ & インクルージョン 担当バイス・プレジデント



多様性と包摂性に関する TI の取り組みは、2020 年に以下の方法で認知されました。

- CAREERS and the disABLED 誌の Top 50 Employers。
- Human Rights Campaign (ヒューマン・ライツ・キャンペーン) の Corporate Equality Index (会社別機会均等インデックス) で 100% の得点。
- マイノリティエンジニア誌の Top 50 Employers。
- National Association for Female Executives (全米女性企業家協会) の Top Companies for Executive Women (女性重役に最も適した米国企業)。
- 女性エンジニア誌の Top 50 Employers (上位 50 社)。
- ワーキングマザー誌の 100 Best Companies for Working Mothers (働く母親に優しい上位企業 100 社)。

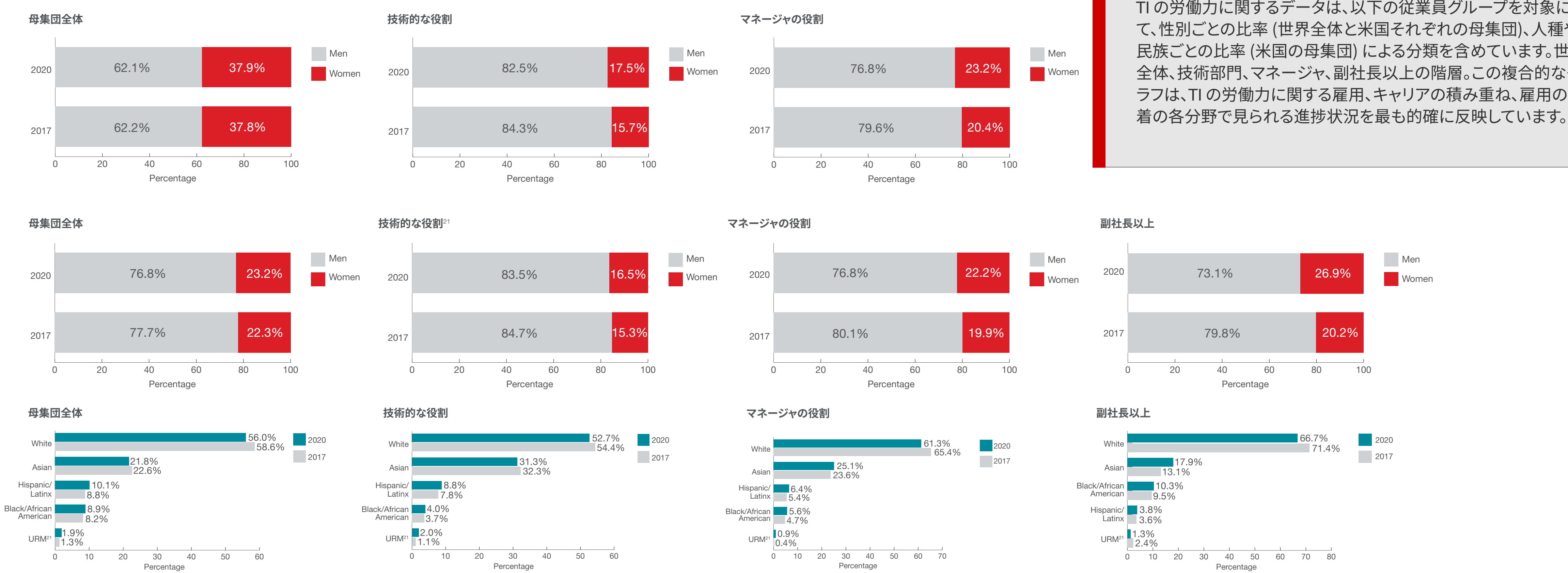


労働力の比率

TI はダイバーシティとインクルージョンに関する取り組みを数十年にわたって継続してきました。TI はこの継続的な取り組みの一環として、性別、人種、民族という人口学的な観点で、労働力の相対的な比率を定期的に評価しています。この分析の結果、TI はどこにギャップがあるかを把握し、あらゆる階層で多様性を具体的に表現できるように、対策をより強化する必要のある分野に関する情報を得ることができます。ダイバーシティとインクルージョンに関する TI の活動は、長期的な取り組みを意味しており、やるべきことはまだ多くありますが、近年実現してきたことは、その過程が有望であることを示しています。

外部の労働力の比率、特にエンジニアリング部門を評価すると、工学専攻とキャリアに関し、女性および不利な環境にある少数派が、男性や非少数派と同じ水準に達していないという事実が明らかになります。この理由で、TI は大学や非営利団体との間でエンジニアリング関連の連携を拡大することを重視しています。TI の採用戦略と教育への投資に関する詳細をお読みください。

TI の労働力に関するデータは、以下の従業員グループを対象にして、性別ごとの比率 (世界全体と米国それぞれの母集団)、人種や民族ごとの比率 (米国の母集団) による分類を含めています。世界全体、技術部門、マネージャ、副社長以上の階層。この複合的なグラフは、TI の労働力に関する雇用、キャリアの積み重ね、雇用の定着の各分野で見られる進捗状況を最も的確に反映しています。



²¹ TI の定義する「不利な環境にあるマイノリティ」(underrepresented minorities: URM) は、ネイティブ・ハワイアンやその他太平洋諸島の出身者、ネイティブ・アメリカン (アメリカン・インディアンやインディオ) またはアラスカ・ネイティブ (エスキモーやイヌイト)、あるいは複数の民族に属している人を指しています。データの合計が 100% に達していない場合、ここで未開示のデータがわずかなパーセンテージを占めていることが原因です。

インクルージョンへの注目

TI は、15 の草の根団体や、従業員が主導する従業員リソース・グループ (employee resource groups: ERG) とプログラム参加を通じて、TI 従業員への関与と支援を実施しています。

ERG

30 年以上にわたって、TI Diversity Network (TIDN: TI 多様性ネットワーク) は、ERG (従業員リソース・グループ) を通じて、従業員の教育、および従業員にとって重要なトピックが表面化されることを支援してきました。1989 年に発足した女性の ERG、および Hispanic/Latinx (ヒスパニック系とラテンアメリカ系) の ERG が TI における発端であり、現在はメンバー数が数千人に達し、会社の複数の役員から後援を得た従業員主導の強力な多様性ネットワークを形成しています。

ERG は世界中のすべての TI 従業員に開かれています。従業員は、課題について話し合い、アイデアを共有し、メンバーと地域コミュニティの両方を支援する能力開発、キャリア・アドバイス、コミュニティ活動参加の機会を創出することが奨励されています。すべての TI ERG は、会社の価値基準と会社の目標との整合性を維持しており、またそれらの価値基準と目標を支持しています。各 ERG を主導するのは複数の従業員によって構成されたチームであり、各 ERG を少なくとも 1 人の TI 役員が後援しています。

TI の各 ERG は進捗を継続し、包摂的な環境を拡大しています。以下に 2020 年のいくつかの例を示します。

- TI Pride (LGBTQ+) ネットワークは拡大しており、インドに新しい支部を設立しました。この支部は、インドで TI の LGBTQ+ 従業員やその理解者が包摂的な環境を作り上げるのに役立ちます。
- TI の Black employee network (黒人従業員ネットワーク) と TIDN (TI 多様性ネットワーク) は、Courageous Conversations (勇気ある対話) という多数参加型の一連の会議を後援し、複数の社会的な問題や人種平等に関連する事項や、それらのトピックが TI にとって重要な理由に関する理解を深められるようにしてきました。これらのセッションは、TI 従業員が対話に参加する開かれた機会を提供し、互いの意見に耳を傾け、異なる意見を学び、TI の中に存在する違いが強さにつながるという知見を得るのに役立ちます。

TI が多様性と包摂性を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI 指標) の Diversity and Equal Opportunity (多様性と機会均等) をご覧ください。



TI の各種従業員リソース・グループ (ERG)

- Able (才能) 従業員ネットワーク
- Bangladeshi (バングラデシュ人) 従業員ネットワーク
- Black (黒人) 従業員ネットワーク
- Chinese (中国人) 従業員ネットワーク
- Christian (キリスト教徒) 従業員ネットワーク
- Indian (インド人) 従業員ネットワーク
- Jewish (ユダヤ人) 従業員ネットワーク
- Korean (韓国人) 従業員ネットワーク
- Muslim (イスラム教徒) 従業員ネットワーク
- New (新入社員) 従業員ネットワーク
- Pride (誇り) 従業員ネットワーク
- Unidos (スペイン語で「団結」) 従業員ネットワーク
- Veterans (退役軍人) 従業員ネットワーク
- Vietnamese (ベトナム人) 従業員ネットワーク
- Women's (女性) 従業員ネットワーク

採用とグローバル・ローテーション

人材を採用し、業界で最高クラス的能力を有する人材の雇用を継続することが、TI の成長と発展を左右します。応募者は次のような理由で TI を選択しています。

- 複数の市場、企業、製品ラインにわたり、刺激的で影響力を及ぼすことのできる仕事。
- 優れた技術者たちと共に働く機会。
- 従業員の生活向上に役立つ、競争力のある給与と福利厚生パッケージ。
- 従業員が自分のキャリア・パスを自ら選択できると感じられるキャリア開発の機会。
- すべての従業員が自分らしく働き、最善を尽くすことができる包摂的で多様性のある社内文化。

TI の採用戦略は、世界各地で多数の大学新卒者を採用することを中心としています。多くの学生が TI で開始するキャリアは、TI のインターン・プログラムです。あるいは、新卒または既卒で就職した新入社員の多くは、TI が多数用意しているグローバル・ローテーション・プログラムのいずれかに参加することになります。このプログラムは、セールスとアプリケーション、財務や総務、IT、人事、製品マーケティング・エンジニア、アプリケーション・エンジニア、デジタル・マーケティング、コミュニケーションのような複数の役割の間で異動を経験し、何が最適なのか判断するのに役立ちます。

これらのローテーション・プログラムで、新入従業員は就職初日から実践的で有意義な経験を積むことができ、トレーニングや能力開発の機会を活用して、TI の即戦力として活躍できる力を短期間で身に付けることができます。

高度に専門的な技術職と会社運営職については、経験豊富な応募者を対象にした求人と採用の戦略があり、TI が求める業界で特に優れた人材の特定、関係構築、採用に役立っています。経験者の採用については、TI は通常はエントリレベルの管理職として雇用し、より高度な職位や上級職位を目指してトレーニングと能力開発を進める方針を選択しています。

TI の採用パートナー

TI は強力なネットワークを活かし、以下の連携を通じて、女性、不利な環境にあるマイノリティ、LGBTQ+ の候補者の中から多様性のある人材を採用しています。

- Advancing Minorities in Engineering (AMIE: エンジニアリング分野でのマイノリティの躍進)。
- Association of Cuban American Engineers (キューバ系米国人エンジニア団体)。
- Black Engineer of the Year Awards (BEYA: 黒人エンジニア・オブ・ザ・イヤー賞)。

- Hispanic Engineering Awards Achievement Ceremony (ヒスパニック系エンジニアリング賞獲得表彰式)。
- INROADS (新規開拓)。
- IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers: 電気電子技術者学会) の Women in Engineering (エンジニアリング部門の女性)。
- NABA (National Association of Black Accountants: 全米黒人会計士協会)。
- NBMBAA (National Black MBA Association: 全米黒人 MBA 協会)。
- NSBE (National Society of Black Engineers: 全米黒人技術者協会)*。
- Out & Equal (カミングアウトと機会均等)。
- oSTEM (Out in Science, Technology, Engineering and Math: 科学、技術、工学、数学分野でのカミングアウト経験者)。
- Recruit Military (軍出身者の採用)。
- SHPE (Society of Hispanic Professional Engineers: ヒスパニック系プロフェッショナル・エンジニア協会)*。
- SWE (Society of Women Engineers: 全米女性技術者団体)*。
- ArmyPaYS (U.S. Army Partnership for Youth Success: 米国陸軍との提携による若い年代での成功)。

* TI はまた、会社の顧問委員会でも対応を進めています

現役軍人、退役軍人、障がい者向けのキャリア形成

不利な環境にあるグループに属する、資格のある個人を採用するために、TI は数十年にわたってさまざまな組織に対して積極的に関与してきました。TI は米国の各大学にある複数の退役軍人サービス団体と連携し、2 年間の技術教育を実施して、キャリアを積む機会を推進しています。

TI はまた、複数年にわたって Getting Hired と連携し、退役軍人と障がい者がキャリアを積む機会を推進してきました。さらに、TI は障がい者の雇用を支援する、EmployAbility Dallas と長期間にわたって連携しています。

詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の 401-1 インジケータ (指標) と Labor/Management Relations (労使関係) セクションをご覧ください。

雇用の定着

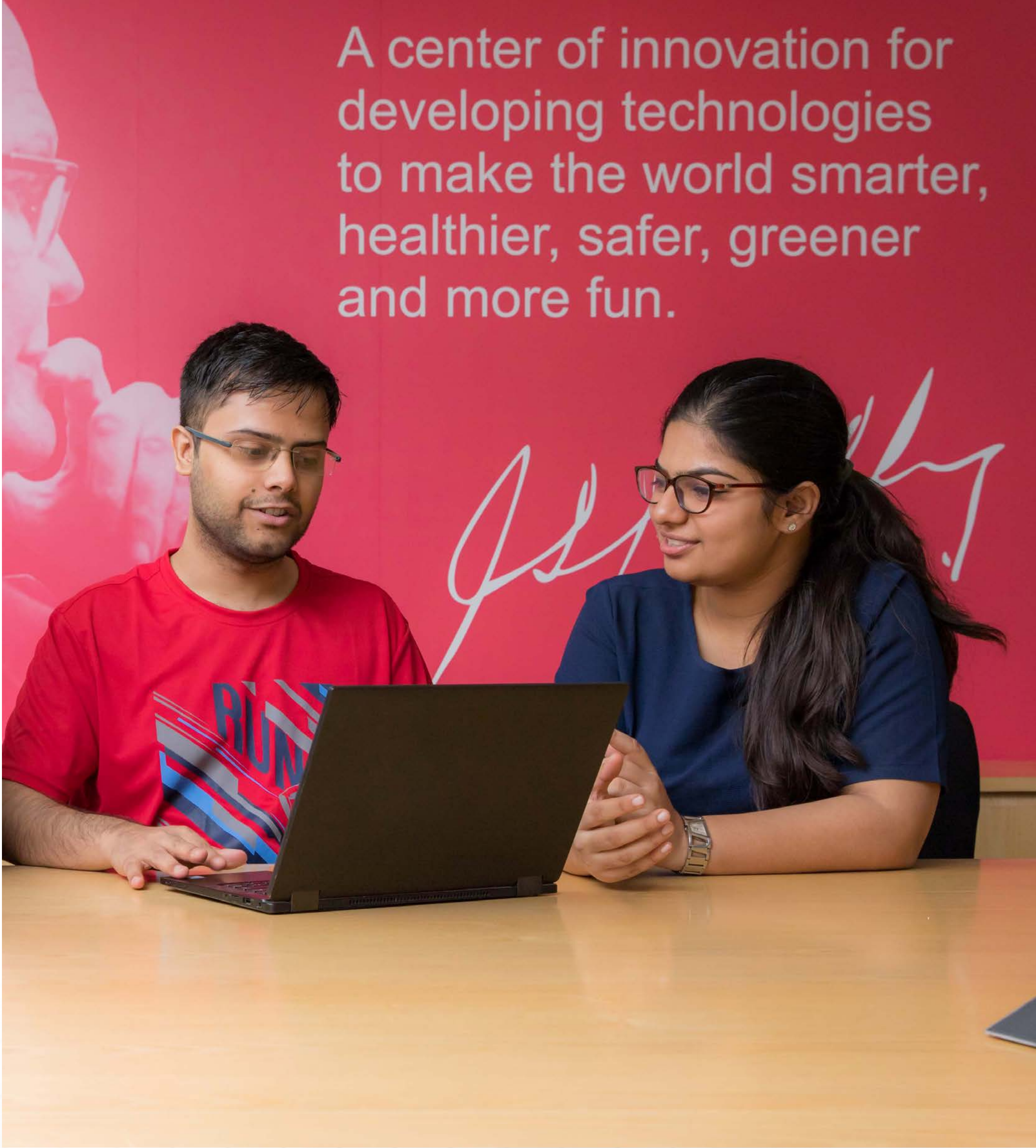
組織に関する知識のある従業員、技術や会社運営に関する専門知識のある従業員、適切な関係を構築した従業員の雇用を定着させることは、TI の最優先事項です。TI はまた、伝統的に技術分野で過小評価されている女性やマイノリティの雇用を定着させることも重要であると認識しています。TI は、これらのグループに合わせてカスタマイズしたキャリア開発計画、メンター・プログラム (メンターを割り当てる教育計画)、役員との接触という形で投資を行い、専門職としての成長を支援しています。

また、事態を改善する目的で構想をカスタマイズできるように、地域別の離職率も追跡しています。2020 年の離職率は 7.1% であり、2019 年の 8.5% を下回りました。労働力の長期継続を表すインジケータとして使用される、TI で 20 年以上働いてきた従業員の比率は、2020 年は 26% でした。

リーダーの包摂性意識の向上

TI は新規マネージャに、Creating an Inclusive Environment (包括的な環境づくり) というコースを履修しています。このコースは、以下の点に注目します。

- 職場での決定影響を及ぼす可能性のある偏見とステレオタイプを認識。
- これまで排除される傾向にあったが、現在は組織の一員として迎えられている個人を特定。
- 全員の参加を促し、意見の表明と貢献を奨励。
- 異なる見解を持つ人々を支持し、それらの人々の個人的成功を支援。



能力開発

TI で、実績、能力開発、キャリアに関する話し合いは、従業員のキャリア形成過程を支援する活動と互いに重なり合っています。最初の話し合いで目標を設定し、その後は実績に関するフィードバックを行う話し合いを定期的 to 実施して、従業員の強みと能力開発の分野を特定します。また、現在と将来の役割に対応できる能力を築き上げる目的で、個人の能力開発計画を策定します。ほかに、キャリアに関する目標と、その目標を達成するために実施する必要のあるステップについて、従業員が表明しやすい方法で、キャリアに関する話し合いを実施することも重要です。

TI は、個人の能力を早い時期に特定して社内で成長させるための厳格なプロセスとツールを作成しています。そのため、重要な役割に対応できる一連の多様な人材を育成することができ、適切なリーダーシップが必要な場面に備えて、リーダーの候補者を複数用意しておくことも可能です。これらには、以下が該当します。

- 能力を判定する際の偏見を低減するのに役立つ複数の能力評価手法は、組織内にいる人材の能力をより広い観点で見つけ出し、能力開発の迅速化に寄与。
- 各部門内で能力に関する確認の話し合いを隔年で実施。
- 重要点を設定したリーダー能力開発プログラムは、技術的な役割や特定の会社運営の役割に就いている女性の能力開発を迅速化。

従業員は、人事部門、マネージャ、TI が提供するプログラムやリソースによる支援を受け、自身のキャリア形成と能力開発を行っています。TI は、学習と能力開発を進めるためのプログラムやリソースに投資し、従業員の処理能力とスキルの向上や能力開発を支援しています。

実績管理

TI の各マネージャは自分が担当するチーム・メンバーの実績を定期的に評価し、公式および非公式な形でフィードバックを提供する話し合いを実施します。TI は、毎年 3 回公式な話し合いを実施することを奨励しています。年の初めにその年の目標を設定し、その年の中間にそれまでの実績を確認した後、年末に最終的な確認と評価を行います。マネージャと従業員は、それらの話し合いに関する文書を作成し、記録します。

キャリア形成と能力開発の早期関与

Make an Impact プログラム

Make an Impact プログラムは、TI が大学新卒者向けに策定したグローバルな 1 年間の能力開発プログラムです。参加者は、事例研究、グループ・プロジェクト、研究課題の読了を通じて、進行役、同僚、マネージャ、メンターから学習します。2020 年は 1,515 人の新卒者が参加しました。

Early Career Pivotal Learning Roles (早期キャリア・ピボット・ラーニング・ロール) プログラム

Early Career Pivotal Learning Role (早期キャリア・ピボット・ラーニング・ロール) プログラムは、キャリア初期にある従業員の希望者を対象にした 10 ヶ月間のプログラムであり、特定の中心事項を設けているのが特長です。参加者はさまざまな役割や新しいスキル・セットを座学の形で学ぶと同時に、TI の多様な分野のリーダー、技術エキスパート、スタッフと緊密に連携して実践的な学習も行います。このプログラムが重視しているのは、実績の優れた従業員を複数選抜し、比較的大きい課題を割り当て、それらの従業員がソリューションを見つけて結果を発表する機会を提供する方法で、業務に影響を及ぼせるようにすることです。



マネージャの参加

LEADERSHIPmatters (リーダーシップの重要事項)

TI は、LEADERSHIPmatters (リーダーシップの重要事項) カリキュラムを通じて、新任のスーパーバイザ、現場マネージャ、上位管理者がリーダーシップの役割に効果的に移行できるように支援しています。TI はそれらの従業員に、トレーニング、360 度の評価方法、ピア・コーチング、チーム構築活動の機会を提供し、リーダーシップ・スキル、コミュニケーション、コラボレーションに関する能力を強化できるようにしています。

ビジネス・リーダー能力開発プログラム

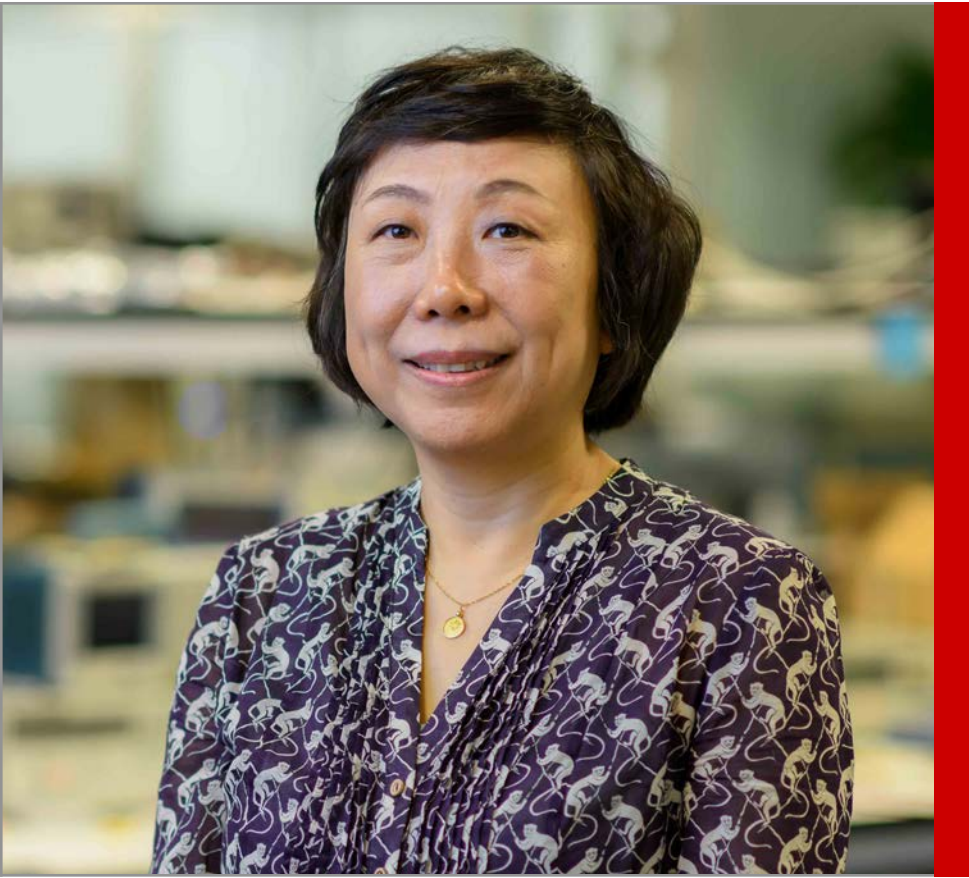
TI の Business Leader Development (ビジネス・リーダー能力開発) プログラムは、製品分野と会社運営分野でのリーダーシップの役割に対応できるように、能力開発と対応準備を迅速化するのに役立ちます。このプログラムは、参加者が事業の収益と損失に影響を及ぼすリーダーシップの役割をより深く理解するための設計を採用した 4 つのインタラクティブなセッションで構成されており、最後に 2 日間にわたる会社運営シミュレーションの演習があります。

技術開発の奨励

1968 年に初めて導入された TI Tech Ladder (TI テクニカル・ラダー) は、TI の技術的発展の方向に関する責任と影響力をもつ技術的キャリア・パスです。TI の目標達成に寄与するリーダーシップ、革新性、主導的役割の実績に基づいて選定されます。

女性の能力開発と向上を支援する指導

TI で技術リーダーを務める Xiaolin は、次世代の女性イノベーターを支援する活動に取り組んでいます。Xiaolin は、女性が自身のキャリアで能力開発と向上を実現できるように、女性社員をサポートしています。「これまで、多くの人が私の成長を支援してくれました。今度は、私が他の人の成長の実現をサポートする役割です。『私が影響を及ぼす』という従来の考え方から、『私が他の人と協力して影響を及ぼす』というアプローチへと切り替えています。私が個人として貢献できるのは限定的ですが、私が若い社員に成長の機会を提供することで、いっそう大きな成果を期待できます。成長を支援するはしごの役割を果たし、彼らがはしごを上るように自らの目標を実現して影響を及ぼすことができます」



TI はまた、自社のエンジニアが基礎的なエンジニアリング分野で自らのスキルを向上させることができるように、技術的な能力開発を実施しています。ほかに、リーダーシップ、コミュニケーション、影響力など、ソフト・スキル、つまり対人分野の能力開発を進める機会も提供しています。TI 従業員はまた、技術会議、ワークショップ、講義、シンポジウムに参加することができます。

現在と将来に対応できるように女性の能力に投資

TI は女性の才能の開発および育成に注力する中、TI で技術的な役割を負う女性の数は増加しています。これらの取り組みの結果、管理の役割を負う女性の数も増加しています。

Women for Technical Leadership (女性のための技術的リーダーシップ) のような公式の能力開発プログラムは、リーダーシップの役割で女性の定着、能力開発、才能の育成をするのに役立ちます。TI はまた、女性の従業員リソース・グループ (Women's Initiative) を通じて意図的に機会を提供するほか、ピア・ツー・ピアのつながりやメンター・プログラムも推進しています。これらの機会を通じて、技術的な役割でキャリア初期にある女性を含めた女性全般は、重要な関係を形成する機会を活用するほか、技術者または管理者としてのキャリア・パスを追い求めてきた TI の他の女性がどのように成功を遂げてきたかという全体像を把握することができます。

TI はまた、将来に備えて科学、技術、工学、数学 (STEM) の能力に投資する方法で、能力のある人材を互いに結び付けるタレント・パイプラインの構築と充実にも取り組んでいます。米国テキサス州ダラスで、TI は Girl Scouts of Northeast Texas (テキサス州北東部のガール・スカウト) と戦略的に連携しています。この団体は STEM 教育、キャリア形成、リーダーシップを重視し、STEM 教育を活用することをより多くの児童に奨励しています。また 2001 年に TI の複数の女性役員は High-Tech High Heels (ハイテク・ハイヒール) という非営利団体を設立しました。この団体は、STEM 分野の専門職で性別の格差を縮める目的で活動しています。現在、多くの TI 従業員はボランティアやメンターの役割を引き受け、教育の現場で活躍しています。

TI が従業員の能力開発を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI 指標) の Training and Education (トレーニングと教育)、Employment (雇用)、Labor/Management Relations (労使関係) の各セクションをご覧ください。

報酬

将来の成長を牽引する主要な人材を確保するために、TI は競争力のある報酬を支払っています。TI の報酬理念は、業績に対する報酬に基づいています。

TI の成功に対する従業員の貢献と会社の業績の両方を考慮して、個人の報酬を決定します。

TI の報酬戦略に関する独自の戦略の 1 つは、会社の財務的成功に寄与した TI 従業員全員に報酬を支給するグローバル利益分配プログラムです。TI は各年の収益性に基づき、対象の収入に対する一定の割合で報奨額を決定します。

TI の利益分配に関する計算式は営業利益に基づいており、TI の営業利益が 10% 以上に達した場合に適用されます。営業利益が 35% に達した場合、最大支払い比率は 20% になります。すべての TI 従業員が、対象の収入に対する同じ支給割合を基本として報奨金を受け取ります。最近 5 年間にわたって、TI の利益配分計画は、資格ある従業員すべてに対して最大限の報奨金である 20% に相当するボーナスを支払いました。

TI が報酬を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI 指標) の Market Presence (市場でのプレゼンス)、Nondiscrimination (非差別) の各セクション、および 202-1、405-1、405-2 の各指標をご覧ください。

パンデミック期間に TI 従業員とその家族を支援する福利厚生の拡充

TI の従業員全員の健康と福利厚生は最優先事項の 1 つです。COVID-19 パンデミック期間に、TI 従業員に対する個人的支援と業務支援の両方を実現するために、TI は以下の給付を実施しました。

- COVID-19 に関連して個人的な事情に対処する必要が生じた従業員に対する 4 週間の追加有給休暇。
- 在宅勤務中に子供たちの教育や育児に追われる親を支援するためのオンライン教育リソース。
- 精神的安定を支援する、8 回の無料カウンセリング・セッション。
- 無償の対話型フィットネス・アプリを通じた、オンライン・エクササイズ・クラスと栄養管理リソース。

賃金の平等

TI は従業員に対して公正かつ平等に報酬を支払っています。TI は、性別、人種、民族など保護対象特徴に関係なく、競争力のある、公正な報酬の支払いに長期的に取り組んできました。現在は、社内の報酬支払いシステムの一環として、詳細かつ定期的な分析機能を含めたチェック / バランス機能を設計し、この目標を確実に達成できるように取り組んでいます。

2020 年に個別の報酬分析を実施し、職種、職位、国や地域を考慮して (基本給、賞与、株式を含めた) 性別と人種ごとの支払いの同等性を検討しました。TI の分析によると、米国内と世界各地で、米国内および世界各国で男性と同額の賃金が女性に支払われており、また米国ではマイノリティへの支払額も非マイノリティへの支払額と変わりがないことを確認しました。



ワークライフ・バランスとリソース

TI は、ワークライフに関わるサポートを提供することで、優秀な人材を引き付け、雇用を定着させることに役立つと確信しています。TI は従業員がさまざまなプログラムを活用し、職場の満足度と生産性に悪影響を及ぼす可能性のある日常的なストレスを軽減することを奨励しています。イニチアチブおよび目標は、各国や地域の労働文化と政府の助成プログラムによって異なりますが、以下のような例があります。

- フレキシブルな勤務制度とリモートワーク対応能力。
- 休暇の計画、その他の個人的な活動に利用できるコンシェルジュ・サービス。
- TI の Employee Assistance (従業員支援) プログラムを通じた、オンデマンド・リソースや託児所と介護施設の紹介。
- カウンセリング・セッション。
- 養子縁組の支援と経済的補助。

パンデミックに伴う事業所閉鎖中の高齢者介護という課題への対応

米国北東部のニューハンプシャー州に勤務する TI 従業員の Thomas は、自分の父親の余命が数か月前後であることを知りました。Thomas とその姉妹は週末休暇を長めに取り、道のりで 1,200km 以上離れた米国ウェスト・バージニア州にある父親の家に行き、介護を分担することを計画しました。パンデミックが発したとき、彼らは予期していなかった別の課題にも直面しました。彼らが介護を実施できない場合に、代わりに介護サービスを提供することに同意していたサード・パーティー企業がそのサービスを縮小したからです。幸い、COVID-19 が原因で直面することになった個人的事情に対処できるように、TI は従業員に 4 週間の有給休暇という福利厚生を支給しています。Thomas は自分の父親の家に滞在し、毎日の時間の一部を仕事に割り当て、他の時間を自分の父親の介護に割り当てることができました。

「TIのおかげで、私の父親は残り6か月の余命期間を自宅で過ごすことができました」と、アプリケーション / マーケティング・マネージャである Thomas は語ります。「これは非常に貴重な制度です。私は深く感謝しています」。

TI は米国で、以下のようなさまざまな方法で従業員の家族を支援しています。

- 出産 / 育児休暇 – TI は出産休暇と出産後の育児休暇を通じて、従業員を支援しています。育児中の女性従業員と男性従業員は、有給の育児休暇を 4 週間取得できます。出産する女性従業員は合計 12 週間の有給休暇を取得できます。内訳は、8 週間の出産休暇と 4 週間の育児休暇です。
- 扶養家族対応 – TI 従業員は自らのフレキシブル支出口座を利用して、資格ある扶養家族の医療費を支払うために、税引前金額から資金を使うことができます。
- 託児サービス – TI は Learning Care Group (学習対応グループ) と提携し、早期教育サービスと託児サービスに関する割引を TI 従業員に提供しています。これに該当するのは、生後 6 週間から 12 歳の子供を対象にした就学前プログラム、学童保育プログラム、サマー・キャンプなどです。この託児サービス・ネットワークでは、米国全体で 900 箇所以上の拠点を設置しています。
- 個室形式の授乳室 – TI は出産後、職場復帰する女性従業員を支援するために、電話、快適な座席、冷蔵庫、医療グレードのポンプを設置した個室の授乳室を用意しています。

ワーク・ライフ・プログラムの選択肢をいっそう向上させるために、従業員参加型のプログラムの監査を毎年実施しています。この方法で、業界内での競争力を維持し、従業員の意見に基づいてサービスの改善を実施することができます。



安全と健康

TI は、職場での怪我や病気はすべて予防可能であると考えています。そのため、TI は従業員の日常業務に対する投資と管理を実施し、安全と健康に関する慣行を取り入れています。

安全性

私たちは、すべての従業員にとって安全で健康的な職場環境を実現するために、全世界の拠点で安全要件とベスト・プラクティスを規定するなど、安全重視の社内文化を確立済みであり、これからも継続的に推進します。安全に関する業界最高水準の記録を維持できるように、次のことを実施しています。

- 安全な職場環境を作り出して運用し、適切かつ安全で人間工学に沿った条項と管理を維持。
- 社内基準の策定と維持。多くの場合、この基準は法規制の要件を上回っている。
- 本質的に安全な建物の設計と建築を実施し、機器のリスクに対処。
- 業務に関連する必要なトレーニングを提供するほか、個人用防護機器を提供。
- 機器の検査、継続的なプロセス監査、コンプライアンスと実績の評価を実施。

健康

健康リスクにさらされる可能性を低減するために、TI は厳格な産業用衛生基準を適用しています。これらの基準は、有害化学物質とその他の原材料の安全な使用と適切な保管にとって必須の最小要件を確立します。これらの基準に該当するのは、危険性に関する通知とトレーニング、化学物質へのラベル貼付、危険廃棄物の管理です。

加えて、有害な可能性のある物質の使用の排除または制限、換気管理装置と隔離管理装置の設置、衛生と個人の全般的な評価の実施に取り組んでいます。また、必要な場合は、個人用保護器具の使用を義務付け、支給しています。TI は自社の監視プログラムを通じて、労働者の健康状態を定期的にモニターしています。



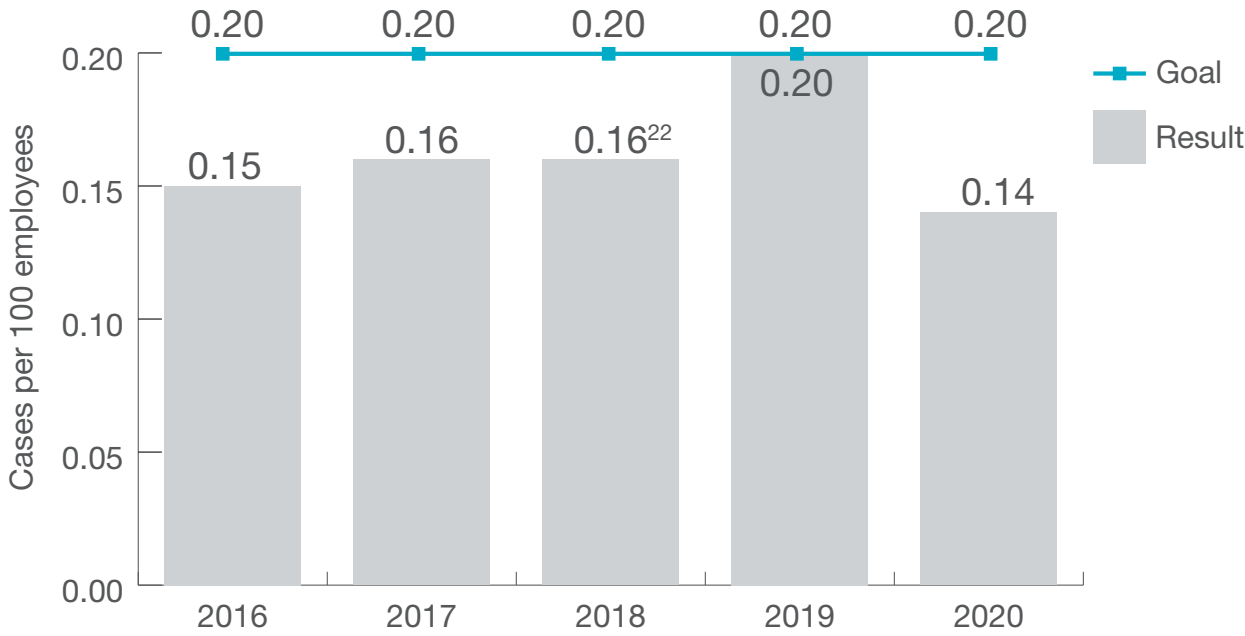
会社が TI 従業員に提供しているリソースは、政府から得られる健康関連の給付に基づき、国や地域によって違いはありますが、従業員の健康を管理するのに役立ちます。米国の場合、TI が提供するリソースに該当するのは、会社拠点内での無料のインフルエンザ・ワクチン予防接種、予防策となるスクリーニング・プログラム、フィットネスと栄養のプログラム、従業員支援プログラム、カウンセリング、教育サービスなどです。

TI の健康管理サービスは、医療上の重大な出来事を経験した TI 従業員、長期にわたって休職していた TI 従業員、複数の診断施設、治療施設、医療機関を利用している TI 従業員を対象として、健康状態を改善できるように指導と監督を行います。TI の福利厚生支援サービスは、医療処置の費用見積もりや、手ごろで質の高い医療機関の検索を支援します。詳細については、GRI Index (GRI 指標) の Occupational Health and Safety (労働安全衛生) セクションをご覧ください。

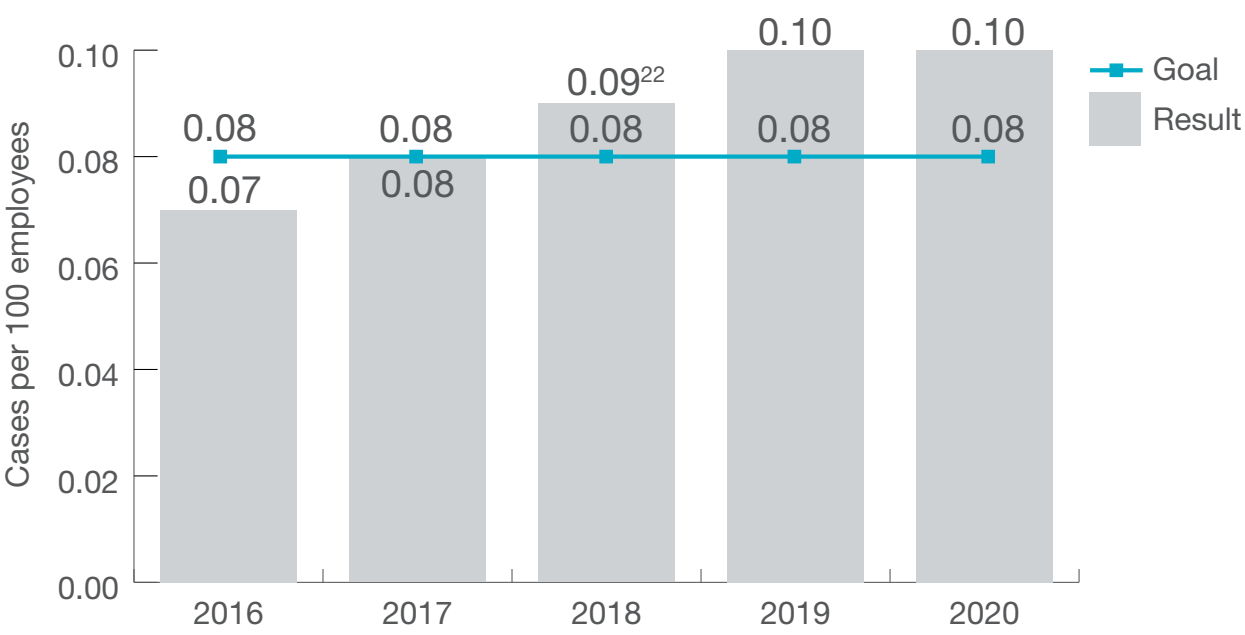
2020 年の実績

TI は具体的な安全目標を設定し、重篤とされる休業・作業転換・作業制限を伴う傷病 (days away, restricted or job transfer: DART) の事例率を 0.08 以下、要記録事例率を 0.20 以下に設定しました。2020 年に、TI は要記録事例率に関する自社の目標を上回り、DART に関する自社の目標に近い水準を達成しました。米国労働安全衛生局 (OSHA) と米国の労働統計局によると、TI の DART と要記録事例率は、米国半導体業界の中で引き続き最低水準にあります。TI の DART 事例率は 0.10 でした。それに対し、2019 年の業界平均は 0.40 でした。

Recordable case rate



Days away, restricted or job transfer (DART) rate



²² 以前のシティズンシップ・レポートでは、TI の 2018 年の事例率を 0.15、DART を 0.08 と、いずれも誤って報告していました。TI の 2020 年のレポートで、これらの事例率を訂正しました。

²³ TI のマネージャから毎日の業務指示を受ける契約社員に関する。

²⁴ 「業務に関連した非常に重大な傷害件数」の指標は、障害の重大度を判定するための基準として、失われた時間数ではなく、回復に要した時間数を使用しています。失われた時間数は、業務に関連した障害の結果、組織で発生した生産性の損失を表す指標です。これは必ずしも、労働者がこうむった障害の重大度を表すものではありません。

²⁵ 時間数の報告は世界全体を対象にしています。TI の従業員を意味しており、契約社員は対象外です。

健康と安全に関するその他のデータ

説明	2018	2019	2020
要記録事例数 (従業員)	0.15 (48 件)	0.16 (48 件)	0.14 (41 件)
要記録事例数 (請負業者) ²³	0.36 (6 件)	0.27 (5 件)	0.19 (3 件)
業務に関連した傷害に起因する死亡件数 (従業員)	0	0	0
業務に関連した傷害に起因する死亡件数 (請負業者)	0	0	0
業務に関連した疾病や体調不良に起因する死亡件数 (従業員)	0	0	0
業務に関連した疾病や体調不良に起因する死亡件数 (請負業者)	0	0	0
非常に重大な傷害件数 (従業員) ²⁴	0.007 (2 件)	0.007 (2 件)	0.01 (3 件)
非常に重大な傷害件数 (請負業者)	0	0	0
労働時間数 (従業員) ²⁵	58,253,519	59,425,882	59,410,887
労働時間数 (請負業者のみ)	3,335,737	3,658,678	3,084,874
業務に関連した疾病や体調不良の要記録事例数 (従業員)	4	9	10
業務に関連した疾病や体調不良の要記録事例数 (請負業者)	1	0	1

寄付とボランティア活動

寄付とボランティア活動

TI の 3 つの目標の 1 つは、社員であることを誇れる会社、および地域の隣人として望ましい会社であることです。TI の創設者による模範から始まり、TI、TI Foundation、および TI の社員は数十年にわたって困難に立ち向かい、時間と費用を惜しまず地域コミュニティに望ましい影響を及ぼしてきました。TI は、強力な企業は強力なコミュニティの育成を支援し、強力なコミュニティは強力な企業の構築を支援すると確信しています。

寄付

TI は会社からの寄付と TI Foundation を通じて、自社の主要拠点が位置するコミュニティ内で優先順位の高い課題を対象にしたプログラムに投資しています。TI Foundation は TI の会社規則 501(c)(3) が規定する、1964 年に米国内に設立された慈善団体であり、基金は TI のみから供給されています。発足以来、助成金とマッチング・ギフトを通じて 3 億ドル近い金額を支払ってきました。TI Foundation は、TI 本社が位置する米国テキサス州ダラスを中心に、生活とコミュニティの質を向上させることを目的としており、教育、人的サービス、人種平等、芸術の各分野で、十分考慮して適切に配分した投資を行います。これらの分野はいずれも、公正かつ多様性に富み繁栄しているコミュニティにとって不可欠なものです。

TI の慈善目的の寄付のうち、金額の大きい分野の 1 つは、教育の改善を対象にしています。米国で TI が重視している教育への投資は、科学、技術、工学、数学 (STEM) 分野であり、不利な環境にある学生に特に注目しています。グローバル規模で TI が支援している活動は、教育へのアクセス機会を増やし、STEM 教育を強化することです。TI はまた、従業員主導のコミュニティ参加チームからの奨励、地域のニーズ、戦略に基づいて、TI の主な拠点が位置するコミュニティへの寄付も実施しています。

TI Foundation も、TI 従業員と退職者によるコミュニティ重視の活動を支援するために、それらの人々の金銭的貢献に対して同額を寄付するマッチング・プログラムを実施しています。寄付の上限は毎年 3 万ドル、およびボランティア活動を金銭的価値に換算した金額の上限は毎年 1,000 ドルです。



TI Foundation が重視する分野

教育

すべての生徒を優れた K-12 (日本での高校 3 年までの学習全般) STEM の成果に導くことに精通し、能力があり、情熱を持つ、幼稚園から高校までの優れた STEM 教師と校長の数、有効性、定着率を高めることで、数学と科学のスキルが高い黒人、ラテン系、女性の高校卒業生の数を増やします。

福祉

人種的および経済的に疎外された人々の間で重視されるニーズに対応できるプログラムとサービスを強化します。TI の拠点が位置するコミュニティや、自然災害または人災の被害者となった従業員向けに、緊急資金を確保します。

人種平等

人種平等という概念を妨げるさまざまな障壁を打破するための各種サポート・プログラムは、説明責任を強化する警察の訓練と慣行を重視しています。その結果、すべての人々は警察によって平等に扱われ、TI が拠点を置くコミュニティは、生活と業務にとっていっそう安全な場所になります。

芸術

米国テキサス州ダラスの文化的で包摂性と活気を高める芸術を維持するため、活動地域とプログラム設定の点で多様性を強調する優れた団体に対して複数年にわたる寄付を行うほか、幅広く影響力を拡大させる多様なグループに対して変化につながる寄付を行います。

世界各地にいる TI の従業員は、TI の拠点が位置するコミュニティに変化をもたらす非営利団体への寄付を寛大に実施しています。組織的な取り組みとして、米国にある TI の各オフィスは United Way とキャンペーンを毎年実施しています。TI、TI Foundation、従業員、退職者は、2020 年に合計 1,200 万ドル以上の金額を United Way に寄付しました。TI のコミュニティ参加チームは、COVID-19 の救命活動を最重視して、グローバル規模で募金キャンペーンを開催しました。

TI がコミュニティ・シティズンシップを管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI 指標) の Local Communities (地域コミュニティ) と、201-1 の指標をご覧ください。

グローバル規模のパンデミックへの対処

TI Foundation は、TI の拠点が位置するコミュニティや、自然災害または人災の影響を受けた従業員向けに、緊急資金を確保しています。COVID-19 による世界規模のパンデミックによる壊滅的な影響の結果、またそれに伴って発生したニーズを考慮し、2020 年は通常より高い比率で TI が投資を実施した年になったからです。

2020 年に、TI、TI Foundation、従業員、および退職者は、以下の目的への資金供給を含め、TI が事業を営む世界各地のコミュニティで実施されている COVID-19 救命活動に合計 1,000 万ドル以上を寄付しました。

- 救命、回復、再構築の活動向けに、TI Foundation がダラス都市部の United Way に寄付した 500 万ドルを含め、United Way の各地域組織。
- テキサス州北部のフード・バンクとシリコン・バレーのセカンド・ハーベスト。
- 中国、ドイツ、インド、イスラエル、メキシコ、マレーシア、フィリピンでの対処と回復の活動向けに、直接的な財政的支援と医療関連消耗品の寄付。



ボランティア活動

TI の従業員は数十年にわたり地域社会へ還元してきた歴史があり、地域でも根付いています。2020 年は COVID-19 のパンデミックが原因で、TI 従業員が時間とリソースを提供する方法や場所が制限されましたが、より強力なコミュニティを育成するために TI 従業員が寄付とボランティア活動を実施する理由は変わりませんでした。

TI が対面でのボランティア・イベントとオンサイトの寄付活動を取りやめ、多くの従業員はオンラインでの活動によるエンゲージメントに目を向けました。たとえば、従業員は学生や生徒とのテレビ会議を開催して、数学や科学の宿題をサポートし、キャリアに関する質問に答えました。

貧しい児童のために誕生日を祝うビデオの制作、学生や生徒のためのビデオを通じた本の音読、衛生袋の製作、長期保存が効く食品の収集とフード・バンクへの寄付、高齢者や引きこもりの人の話し相手になるための電話対応、教員や医療機関職員に感謝と励ましの言葉を伝えるメッセージ作成・発送などに携わりました。

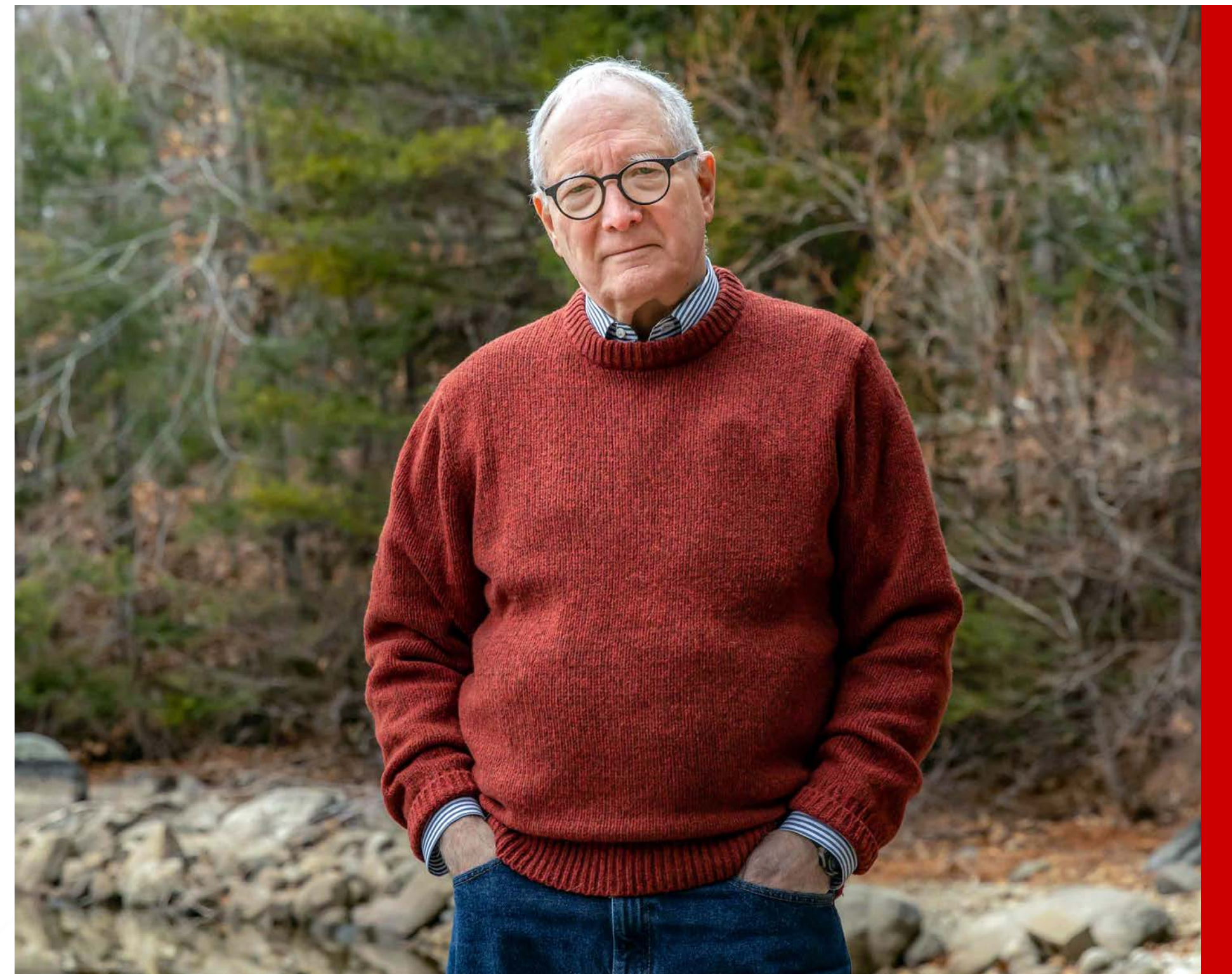
コミュニティへの顕著な貢献に対する授賞

TI で副社長兼上級税務顧問を務める Bill は、2020 TI Founders Community Impact Award (2020 年 TI 創設者コミュニティ影響賞) を受賞しました。毎年授与されるこの賞は、TI 創設者が示したコミュニティ重視の価値実現を具体化した従業員の名誉をたたえるものです。

Bill は寛大な方法で、多数の市民団体、芸術団体、慈善団体への寄付を行い、それらの団体が必要としている法務サービスも提供しました。Bill はまた、Dallas Opera (ダラス歌劇団) と Museum of the American Railroad (米国鉄道博物館) の評議会にも参加しています。

「コミュニティとのつながりに対して寄付という形で恩返しをすることで、コミュニティを改善し、自分個人のスキルと人脈を開発することができます」と、彼は語ります。「TI の各種プログラムにより、ボランティア活動などの取り組みがしやすくなります」。

Bill は 1 万ドルの賞金を受け取りましたが、自らその金額を 1 つの非営利団体に寄付しました。自らの意思で非営利活動に携わった 5 人のファイナリストも、2,500 ドルの賞金を受け取りました。

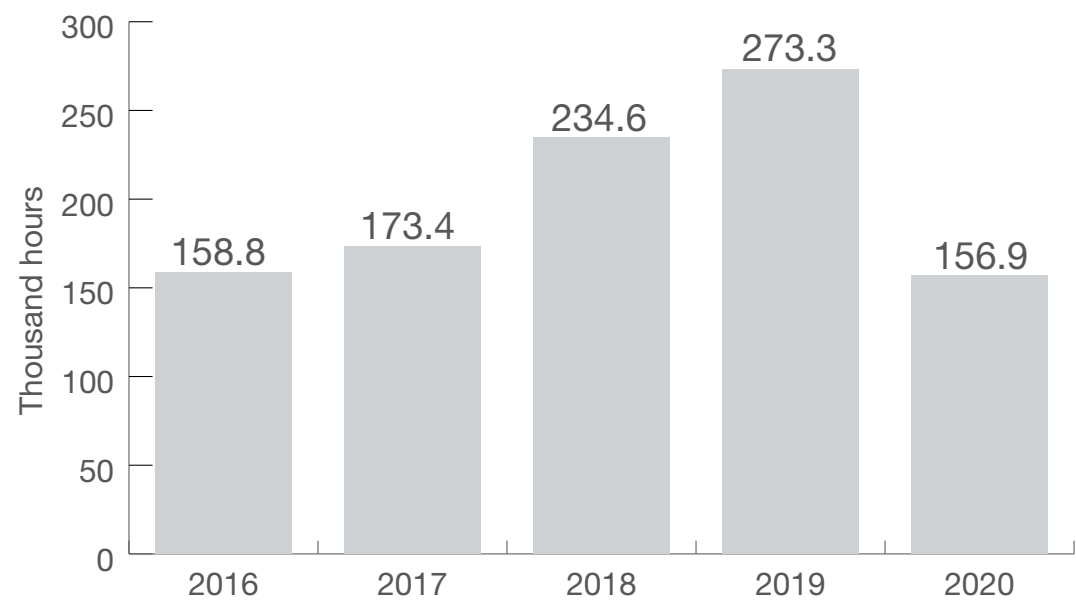


従業員の寛大さに対するマッチング・プログラムで影響の拡大

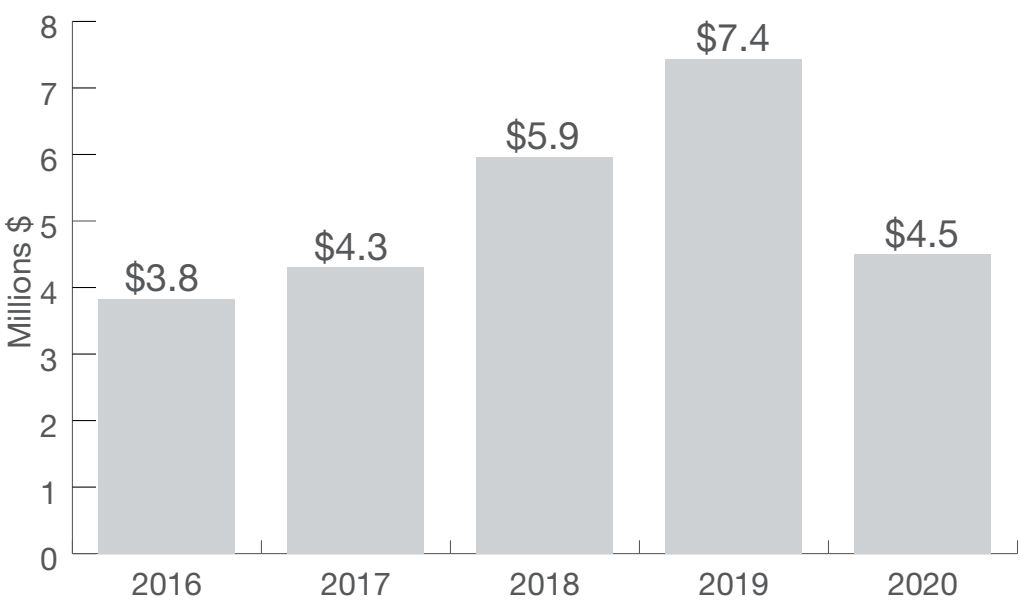
TI Foundation からの寄付と従業員による寄付やボランティアを組み合わせることでより強力な影響を及ぼすことができると TI は確信しています。2020 年に TI と TI Foundation は 約 2,600 万ドルを寄付し、従業員と退職者はさまざまな組織を支援するために約 1,400 万ドルを寄付しました。TI の従業員が米国内で実施した寄付の影響を倍にするために、従業員と退職者が適格な非営利団体に寄付した金額に対し、TI Foundation はマッチング・プログラム (従業員の金銭的貢献に対して同額を寄付する) を実施しています。2020 年に、TI Foundation は従業員などの寄付とボランティア活動に対するマッチング・プログラムの形で、1,040 万ドル以上を提供しました。

2020 年に、TI Foundation はマッチング・ギフトとして 1,040 万ドル以上を提供しました。この中には、TI 従業員がボランティア活動に携わった時間を経済的価値に換算してマッチングを実施した 36 万 5,000 ドル以上の金額も含まれています。2020 年は COVID-19 のパンデミックが原因で、対面でのボランティア活動を実施する機会が減り、TI の従業員がボランティア活動に費やした時間も減少しました。しかし、従業員が最も必要な時に必要な場所で貢献したことを誇りに思います。

Volunteer hours



Value of volunteer hours²⁶



²⁶ この換算金額は、Independent Sector という独立団体が算出した値に基づいています。同団体は、2020 年の各従業員ボランティアの時間単価を 28.54 ドルと推定しました。

教育への投資という生きた遺産

テキサス州北部の学生を支援するために、TI Foundation は過去 10 年間で合計 5,000 万ドルを投資し、高校を卒業し、数学と科学のスキルが高い黒人、ラテンアメリカ系、および女性の数を増やしました。

このような投資の 1 つの特長は、ダラス地域の K-12 学区に対して複数年にわたる寄付を行ったことです。この学区では STEM 教育へのニーズが高い一方で、そのような教育を受けられる機会が少ないです。TI は、生涯にわたって雇用される機会を確保するうえで STEM 教育は非常に重要であると確信しています。このような寄付の結果、この学区全体がいわば STEM 重視地域と呼べる状態になり、すべての学習課題とあらゆる学年に STEM の概念が組み込まれるようになりました。

2012 年に [initiative with Educate Texas and the Lancaster Independent School District](#) (テキサス州の教育イニシアティブ、ランカスター独立学区協力構想) を通じて、TI Foundation と Educate Texas は 1,000 万ドル以上の投資を行い、学区全体のモデルを作り上げました。このモデルは、あらゆる生徒が STEM 教育にアクセスできるように、STEM の教育、考え方、問題解決スキルを学区に組み込みました。ランカスターの生徒のうち 97% は黒人またはラテンアメリカ系であり、89% は経済的に不利な状況にあります。

2020 年までに、ランカスターで Algebra 1 (代数 1) の科目に熟達した生徒は 51% 増加し、テキサス州の標準化されたテストスコアを上回りました。これは、スコアを 24% 下回っていた以前の状態とは対照的です。また、この学区の生徒は、選抜重視の入学試験を課すさまざまな単科大学と総合大学の多様な学部に、以前より高い比率で入学を認められるようになりました。

TI Foundation は 2018 年から 3 年間にわたってこの STEM 学区モデルを他の地区にも導入し、テキサス州北部のリチャードソン独立学区に属するロイド・V. バークナー高校、および同高校への進学を目的とする他の複数の学校に対して、総額 460 万ドルを寄付しました。この地域には 16 の学校と合計 1 万人以上の生徒がいます。そのうち 64% が黒人またはラテンアメリカ系で、59% は経済的に不利な状態にあります。



将来の予測に関する記述の注意事項

この通知には、1995 年に成立した民事証券訴訟改革法により規定される法的責任からの免責条件を満たすことを意図した「将来の予測に関する記述」が含まれています。一般的に、これら将来に向けた記述は、TI とその経営陣による、「believes」(確信する)、「expects」(期待する)、「anticipates」(予測する)、「foresees」(予見する)、「forecasts」(予期する)、「estimates」(推定する)、などの単語から明らかです。

同様に、TI の事業戦略、見通し、目的、計画、意図、目標に関する記述は、将来の見通しに関する記述です。将来の見通しに関する記述はいずれも特定のリスクや不確定要素を含む可能性があり、実際の結果が予測と大きくかけ離れる可能性があります。これらの要因に関する詳細な説明については、SEC が保管している 2021 年第 1 四半期の Form 10-Q (英語) に記載されている「リスク要因」をご覧ください。この通知に含まれている「将来の見通しに関する記述」は、この通知を作成した時点で作成したものです。TI は、その後の出来事や状況を反映する目的で、「将来の見通しに関する記述」を更新する義務を負いません。

© Texas Instruments Incorporated 2021